

第58回日本公衆衛生学会総会

演 題 集

平成 11 年 10 月 20 日・21 日・22 日

大 分

第58回日本公衆衛生学会総会

学会総会事務局

○開催期間中(10月20日・21日・22日)

別府コンベンションビューロー(ビーコンプラザ)

〒874-0828 別府市山の手町12番1号

電話 : 0977-25-4035

○その他の日

第58回日本公衆衛生学会総会事務局

大分県福祉保健部健康対策課内

〒870-8501 大分市大手町3-1-1

電話 : 097-532-7794 FAX : 097-534-9131

第58回日本公衆衛生学会総会学術部会

大分医科大学公衆・衛生医学講座(第一)内

〒879-5593 大分郡挾間町医大ヶ丘1-1

電話 : 097-586-5735 FAX : 097-586-5739

第58回日本公衆衛生学会総会代行事務局

〒870-0037 大分市東春日町1-8(株)大宣内

電話 : 097-535-1636 FAX : 097-535-1692

○宿泊・弁当予約申込、お問い合わせ

日本旅行大分支店 第58回日本公衆衛生学会総会 係

〒870-0026 大分市金池町2-1-10

電話 : 097-532-6166 FAX : 097-536-4882

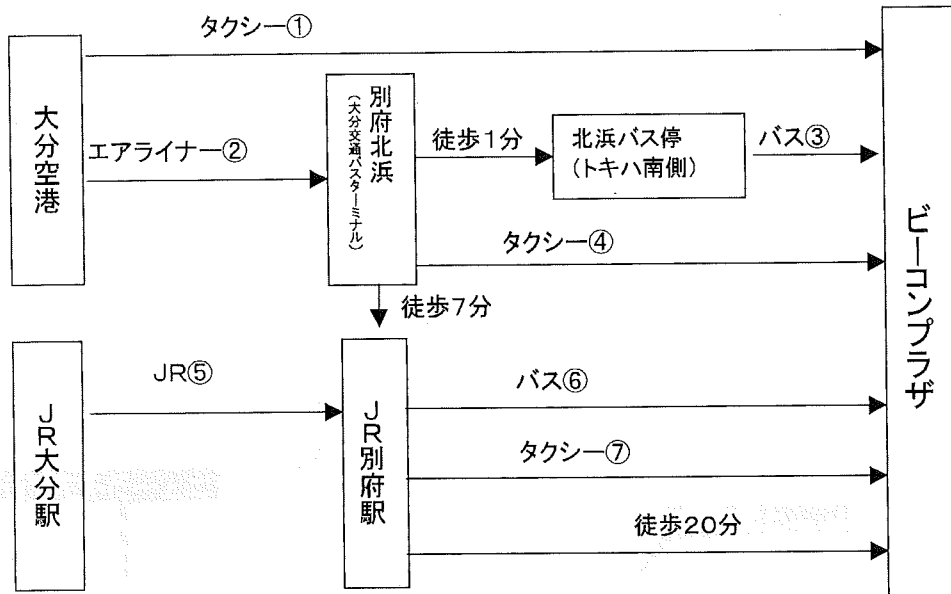
目 次

1. 学会総会会場案内	4
2. 学会総会概要	7
3. 総会日程	8
4. 学会長講演・特別講演プログラム	11
5. シンポジウムプログラム	12
6. 教育講演プログラム	15
7. 奨励賞受賞者講演プログラム	16
8. 総会会場案内図	17
9. 会場別日程一覧	18
10. 分科会別会場及び日程一覧	20
11. 示説会場パネルレイアウト	22
12. 学会に参加される方へのお知らせ	26
13. 関連・付随行事の日程	28
14. 自由集会日程	29
15. 第58回日本公衆衛生学会総会 運営委員	32
16. 一般演題一覧	35

学会総会会場案内

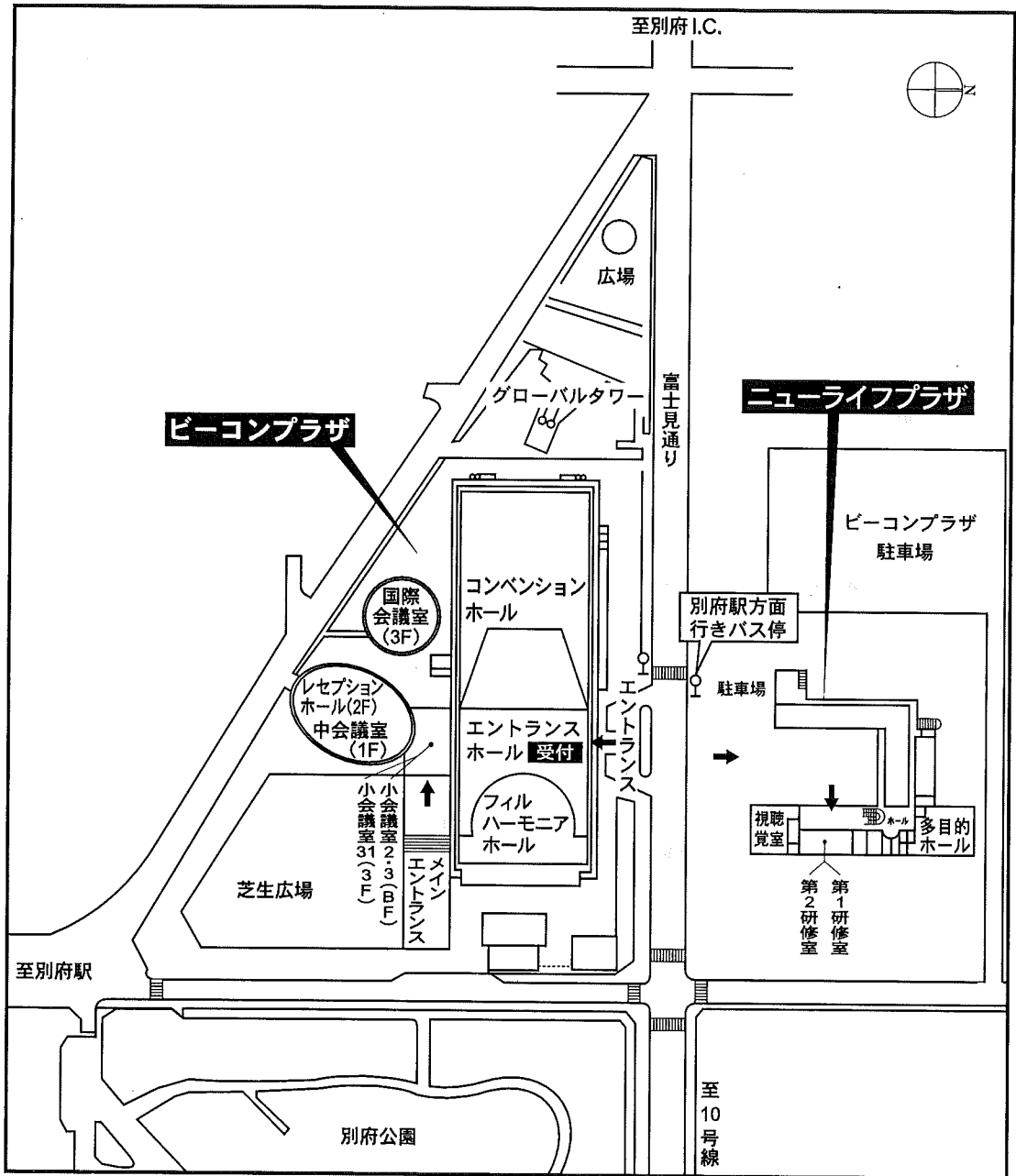


■ 交通案内



	交通機関	乗り場	降り場	所要時間	料 金
①	タクシー	大分空港	ビーコンプラザ	約50分	約1万円
②	エアライナー	大分空港	別府北浜	約50分	1450円
③	亀の井バス	北浜バス停 <系統番号> 16・17・31・33 34・36・37・41 43・51・53	ビーコンプラザ前	約15分	220円
④	タクシー	別府北浜	ビーコンプラザ	約10分	約720円
⑤	JR	JR大分駅	JR別府駅	約12分	270円
⑥	亀の井バス	西口駅バス停 <系統番号> 3・8	ビーコンプラザ前	約10分	160円
⑦	タクシー	別府駅西口	ビーコンプラザ	約7分	約560円

■第58回 日本公衆衛生学会総会 会場配置図
 [ビーコンプラザ(メイン会場)・ニューライフプラザ]



第58回日本公衆衛生学会総会概要

1. 開催日

平成11年10月20日(水) 開会挨拶、学会長講演、総会議事、学会奨励賞贈呈、特別講演、
シンポジウム1・2、奨励賞受賞者講演、自由集会
21日(木) シンポジウム3・4、教育講演、分科会一般発表、自由集会
22日(金) シンポジウム5、分科会一般発表

2. 開催地 大分県 別府市

3. 会場 ビーコンプラザ ・ ニューライフプラザ

4. 事務局

第58回日本公衆衛生学会総会事務局 大分県福祉保健部健康対策課内

〒870-8501 大分市大手町 3-1-1

電話 : 097-532-7794

FAX : 097-534-9131

第58回日本公衆衛生学会総会学術部会 大分医科大学公衆・衛生医学講座(第一)内

〒879-5593 大分郡挾間町医大ヶ丘 1-1

電話 : 097-586-5735

FAX : 097-586-5739

第58回日本公衆衛生学会総会代行事務局 (株)大宣内

〒870-0037 大分市東春日町 1-8

電話 : 097-535-1636

FAX : 097-535-1692

総会日程

★第1日 平成11年10月20日(水) 9:15～16:30

☆会場 ビーコンプラザ

9:15～9:30 開会式 (コンベンションホール)

- ・開会挨拶 学会長 小澤秀樹(大分医科大学公衆・衛生医学教授)
- ・挨拶 名誉学会長 平松守彦(大分県知事)
- ・挨拶 副学会長 吉川 暉(大分県医師会長)

9:30～10:00 学会長講演 (コンベンションホール)

10:00～10:30 平成11年度総会(コンベンションホール)

1. 総会議事
2. 日本公衆衛生学会奨励賞授与式

10:30～11:20 特別講演1 (コンベンションホール)

11:20～12:10 特別講演2 (コンベンションホール)

12:10～13:30 昼食・休憩

13:30～16:30 シンポジウム1 (コンベンションホール)

13:30～16:30 シンポジウム2 (フィルハーモニアホール)

13:30～16:30 奨励賞受賞者講演 (国際会議室)

★第2日 平成11年10月21日(木) 9:00～17:00

☆会場 ビーコンプラザ

9:00～12:00 シンポジウム3 (フィルハーモニアホール)

13:30～16:30 シンポジウム4 (フィルハーモニアホール)

9:00～12:20 分科会=示説 (コンベンションホール)

13:30～16:50 分科会=示説 (コンベンションホール)

9:00～12:20 分科会=口演 (小会議室2・3)

13:30～16:50 分科会=口演 (小会議室2・3)

9:00～12:20 分科会=口演 (中会議室)

13:30～16:50 分科会=口演 (中会議室)

9:00～12:20 分科会=口演 (国際会議室)

13:30～17:00 分科会=口演 (国際会議室)

9:00～12:20 分科会=口演 (小会議室31)

13:30～16:50 分科会=口演 (小会議室31)

☆会場 ニューライフプラザ

9:00～12:00 教育講演1～5 (多目的ホール)

9:00～12:20 分科会=口演 (第1・2研修室)

13:30～16:50 分科会=口演 (第1・2研修室)

9:00～12:20 分科会=口演 (視聴覚室)

13:30～16:50 分科会=口演 (視聴覚室)

★第3日 平成11年10月22日(金) 9:00～15:10

☆会場 ビーコンプラザ

9:00～12:00 シンポジウム5 (フィルハーモニアホール)

9:00～12:20 分科会＝示説 (コンベンションホール)

13:30～15:10 分科会＝示説 (コンベンションホール)

9:00～12:20 分科会＝口演 (小会議室2・3)

13:30～15:10 分科会＝口演 (小会議室2・3)

9:00～12:20 分科会＝口演 (中会議室)

13:30～15:10 分科会＝口演 (中会議室)

9:00～12:20 分科会＝口演 (国際会議室)

13:30～15:10 分科会＝口演 (国際会議室)

9:00～12:20 分科会＝口演 (小会議室31)

13:30～15:10 分科会＝口演 (小会議室31)

☆会場 ニューライフプラザ

9:00～12:20 分科会＝口演 (第1・2研修室)

13:30～14:20 分科会＝口演 (第1・2研修室)

9:00～12:20 分科会＝口演 (視聴覚室)

13:30～15:10 分科会＝口演 (視聴覚室)

学会長講演・特別講演プログラム

☆学会長講演

10月20日(水) 9時30分～10時00分(ビーコンプラザ コンベンションホール)

「健康確保のための社会的施策の展開」

小澤 秀樹(大分医科大学公衆・衛生医学教授)

座長 鈴木 庄亮(群馬大学医学部公衆衛生学教授)

☆特別講演

10月20日(水) 10時30分～12時10分(ビーコンプラザ コンベンションホール)

特別講演1 10時30分～11時20分

「21世紀の感染症対策と感染症新法」

竹田 美文(国立感染症研究所長)

座長 小町 喜男(筑波大学名誉教授)

特別講演2 11時20分～12時10分

「知性、感性の活力 情緒を呼び戻せ」

大島 清(京都大学名誉教授 愛知工業大学客員教授)

座長 三角 順一(大分医科大学公衆・衛生医学教授)

シンポジウムプログラム

シンポジウム1 10月20日(水) 13時30分～16時30分
(ビーコンプラザ コンベンションホール)

「疫病予防対策の成果と評価」

座長 嶋本 喬(筑波大学社会医学系教授)
川口 毅(昭和大学医学部公衆衛生学教授)

- 1、疫学研究を基盤にした脳卒中予防対策の展開とその評価
小西 正光(愛媛大学医学部公衆衛生学教授)
- 2、わが国における虚血性心疾患予防対策の展開
田中 平三(東京医科歯科大学難治疾患研究所疫学教授)
- 3、糖尿病対策の経過と課題
永井 正規(埼玉医科大学公衆衛生学教授)
- 4、東京都における糖尿病を中心とした生活習慣病予防対策について
藤永 健太郎(東京都衛生局健康推進部成人保健課)
- 5、循環器疾患に及ぼす糖尿病の影響ー世界各地の追跡研究における検討ー
清原 裕(九州大学第二内科学講師)

シンポジウム2 10月20日(水) 13時30分～16時30分
(ビーコンプラザ フィルハーモニアホール)

「国際保健における地域保健の推進」

座長 大谷 藤郎(国際医療福祉大学学長)
三舟 求真(大分医科大学副学長)

- 1、途上国における地域保健医療システムの質について
上原 鳴夫(東北大学大学院医学系研究科国際保健学教授)
- 2、国際協力における伝統的PHC活動の検証と将来のPHC活動
林 謙治(国立公衆衛生院保健統計人口学部長)
- 3、国際保健における地域保健の推進:結核対策
森 亨(結核予防会結核研究所長)
- 4、NGOによるカンボジア農村における総合的な地域保健活動
～7年間の経験とその完了～
石松 義弘(シェア・元カンボジア現地代表)
- 5、21世紀の健康とWHOの進むべき道
川口 雄次(WHO健康開発総合研究センター所長
<WHO神戸センター>)

シンポジウム3 10月21日(木) 9時00分～12時00分
(ビーコンプラザ フィルハーモニアホール)

「介護保険の発足と保健・医療・福祉の役割」

座長 松田 朗(国立医療・病院研究所長)

- 1、介護保険制度を通じて保健婦に期待されること
小野 奉子(大分県中央保健所保健指導課長)
- 2、介護保険制度の課題:サービスの質の確保と住民参加
黒田 研二(大阪府立大学社会福祉学部教授)
- 3、高齢社会をよくする女性の会代表者として
樋口 恵子(東京家政大学教授)
- 4、介護保険における医師・医療の役割
青柳 俊(日本医師会常任理事)
- 5、介護保険と保健・医療・福祉の連携
—御調町における在宅ケアと介護予防(寝たきりゼロ作戦)を中心として—
山口 昇(老人保健施設協会会長)

シンポジウム4 10月21日(木) 13時30分～16時30分
(ビーコンプラザ フィルハーモニアホール)

「環境汚染化学物質のひろがり健康障害」

座長 鈴木 継美(元国立環境研究所長)

櫻井 治彦(労働省産業医学総合研究所長)

- 1、産業活動と環境汚染
竹内 康浩(名古屋大学大学院環境労働衛生学教授)
- 2、油症(PCB中毒)患者 30 年のダイオキシン類及び症状
増田 義人(第一薬科大学教授)
- 3、農薬の毒性と環境汚染
安藤 満(国立環境研究所総合研究官)
- 4、内分泌かく乱物質(環境ホルモン)
井口 泰泉(横浜市立大学理学部大学院総合理学研究科教授)
- 5、大気等環境中有害化学物質に関する施策と課題
野田 広(環境庁大気保全局企画課課長補佐)

シンポジウム5 10月22日(金) 9:00~12:00
(ビーコンプラザ フィルハーモニアホール)

「地方分権における地域保健の問題点」

座長 北川 定謙(埼玉県立大学学長)

大原 啓志(高知医科大学公衆衛生学教授)

- 1、地域保健への取組みー地方都市(中核市)の立場からー
木下 敬之助(大分市長)
- 2、島根県隠岐地域における保健・医療・福祉提供体制の整備について
外山 千也(島根県健康福祉部長)
- 3、地方自治体の姿勢と役割
櫃本 眞一(愛媛県保健福祉部健康増進課長)
- 4、地方分権の推進と保健所の役割
小倉 敬一(千葉県船橋保健所長)
- 5、公衆衛生行政と地方分権
岩尾 總一郎(厚生省保健医療局地域保健・健康増進栄養課長)

教育講演プログラム

☆教育講演 10月21日(木) 9時00分～12時00分

(ニューライフプラザ 多目的ホール)

教育講演1 9時00分～9時35分

「水俣が映す世界」

原田 正純(熊本学園大学社会福祉学部教授)

座長 土井 陸雄(横浜市立大学医学部衛生学教授)

教育講演2 9時35分～10時10分

「体力、免疫、栄養」

菅原 和夫(弘前大学医学部衛生学教授)

座長 杉田 肇(大分県医師会副会長)

教育講演3 10時10分～10時45分

「行動医学」

荒記 俊一(東京大学大学院医学系研究科公衆衛生学教授)

座長 二塚 信(熊本大学医学部公衆衛生学教授)

教育講演4 10時45分～11時20分

「都市化と健康」

高野 健人(東京医科歯科大学医学部公衆衛生学教授)

座長 上田 厚(熊本大学医学部衛生学教授)

教育講演5 11時20分～11時55分

「職業のメンタルヘルスとストレス対処」

渡辺 三枝子(筑波大学心理学系教授)

座長 上野 徳美(大分医科大学社会心理学教授)

奨励賞受賞者講演プログラム

☆奨励賞受賞プログラム 10月20日(水) 13時30分～16時30分

(ビーコンプラザ 国際会議室)

座長 吉村 健清(産業医科大学教授)

青野 裕士(大分医科大学医学部助教授)

受講者講演1 13時30分～14時05分

「悪臭の評価方法と脱臭対策に関する研究」

高原 康光(岐阜県畜産試験場環境部)

受賞者講演2 14時05分～14時40分

「地域・職域における循環器疾患の動向とリスクファクターに関する実践的疫学研究」

北村 明彦(大阪府立成人病センター集団検診第一部)

受賞者講演3 14時40分～15時15分

「健康文化の思想的展開とその公衆衛生的機能に関する研究」

瀧澤 利行(茨城大学教育学部公衆衛生学)

受賞者講演4 15時15分～15時50分

「PRECEDE-PROCEED Modelによる

ヘルスプロモーションの実践」

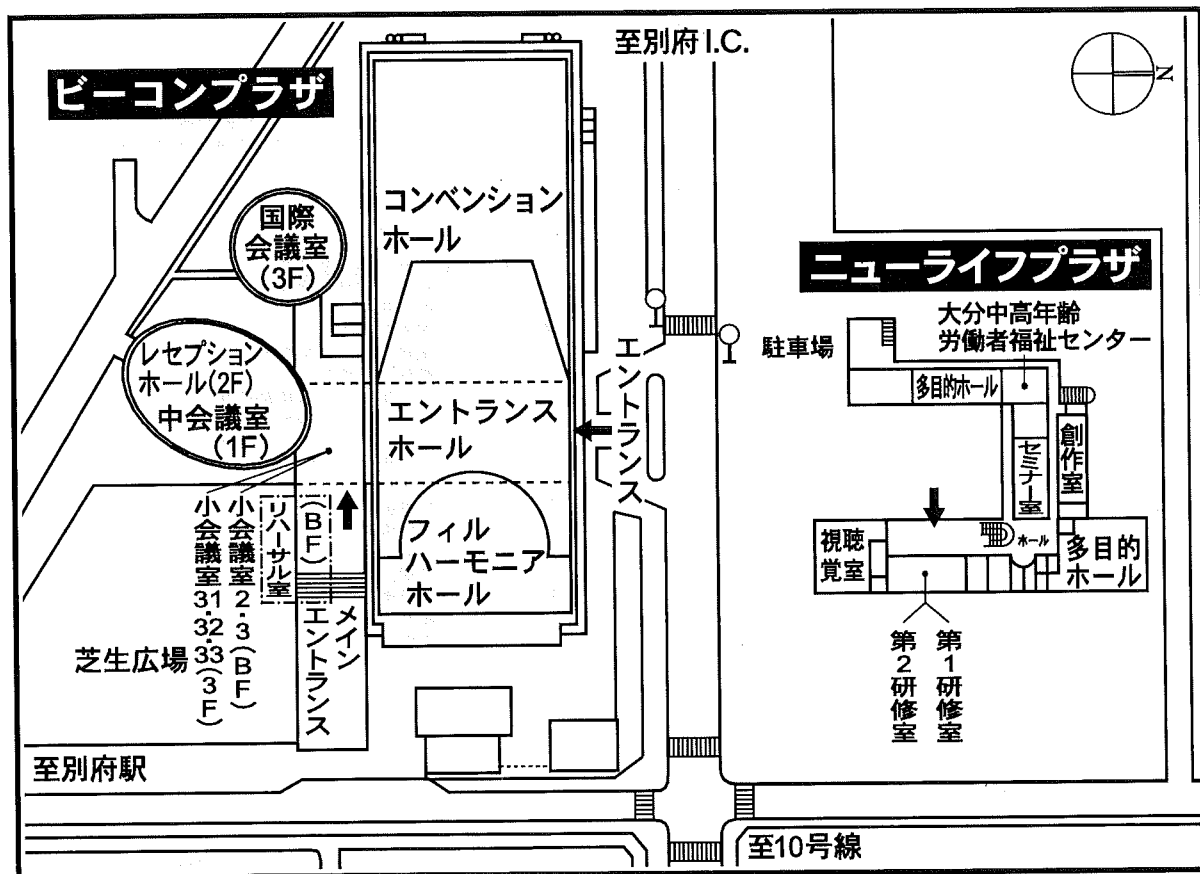
藤内 修二(大分県佐伯保健所)

昨年度奨励賞受賞者講演 15時50分～16時25分

「血清ペプシノーゲン及びガストリンを用いた胃癌スクリーニング方法の開発と地域への応用」

青木 一雄(大分医科大学公衆・衛生医学)

■第58回 日本公衆衛生学会総会 会場案内図
 [ビーコンプラザ(メイン会場)・ニューライフプラザ]



会場別一覧

口演 415題 示説 753題 計 1168題

会場名		席数	10/20 (水) 午前 3時間	10/20 (水) 午後 3時間
ビーコンプラザ	コンベンションホール	2,500	9:15 開会挨拶 学会長講演 総会議事 学会奨励賞贈呈 特別講演1・2	13:30 シンポジウム1 疾病予防対策の成果と評価 16:30
	フィルハーモニアホール	1,190		13:30 シンポジウム2 国際保健における地域保健の推進 16:30
	国際会議室	166+132		13:30 奨励賞受賞者講演 16:30
	中会議室	192		
	小会議室2・3	120		
	小会議室31	150		
	多目的ホール	300		
	第1・2研修室	100		
ニューライフプラザ	視聴覚室	100		

分科会番号と分科会名、対照表

第1分科会	疫学・保健医療情報
第2分科会	健康教育・ヘルスプロモーション
第3分科会	保健所・衛生行政
第4分科会	地域保健・地域医療
第5分科会	難病・医療福祉
第6分科会	成人保健Ⅰ（循環器疾患）
第7分科会	成人保健Ⅱ（悪性新生物）
第8分科会	成人保健Ⅲ（その他の成人病）
第9分科会	母子保健・学校保健
第10分科会	老人保健
第11分科会	精神保健
第12分科会	歯科保健
第13分科会	感染症
第14分科会	公衆栄養
第15分科会	食品衛生・薬事衛生
第16分科会	産業保健
第17分科会	環境保健
第18分科会	国際保健

	10/21 (木) 午前 3時間20分	10/21 (木) 午後 3時間20分	10/22 (金) 午前 3時間20分	10/22 (金) 午後 1時間40分
	9:00	11:45	13:30	16:15
示説 A	第1分科会示説 P1-1~P1-33	第1分科会示説 P1-34~P1-51 第15分科会示説 P15-1~P15-15	第2分科会示説 P2-1~P2-35	第2分科会示説 P2-76~P2-93
	9:00	12:10	13:30	16:35
示説 B	第4分科会示説 P4-1~P4-38	第4分科会示説 P4-39~P4-76	第2分科会示説 P2-36~P2-75	第2分科会示説 P2-94~P2-112
	9:00	12:20	13:30	15:35
示説 C	第5分科会示説 P5-1~P5-29 第9分科会示説 P9-1~P9-11	第8分科会示説 P8-1~P8-25	第10分科会示説 P10-16~P10-41 第7分科会示説 P7-1~P7-11	第4分科会示説 P4-77~P4-96
	9:00	11:50	13:30	16:25
示説 D	第17分科会示説 P17-1~P17-34	第9分科会示説 P9-12~P9-46	第6分科会示説 P6-1~P6-24 第14分科会示説 P14-1~P14-12	第4分科会示説 P4-97~P4-116
	9:00	12:10	13:30	16:30
示説 E	第11分科会示説 P11-1~P11-21 第3分科会示説 P3-1~P3-17	第9分科会示説 P9-47~P9-82	第13分科会示説 P13-1~P13-40	第10分科会示説 P10-42~P10-59
	9:00	12:10	13:30	15:50
示説 F	第3分科会示説 P3-18~P3-43 第18分科会示説 P18-1~P18-11	第12分科会示説 P12-1~P12-28	第16分科会示説 P16-1~P16-21 第10分科会示説 P10-1~P10-15	第10分科会示説 P10-60~P10-79
	9:00	12:00	13:30	16:30
	シンポジウム3 介護保険充足と保健・医療・福祉の役割	シンポジウム4 環境汚染化学物質のひろがり健康障害	シンポジウム5 地方分権における地域保健の問題点	9:00 12:00
	9:00	12:20	13:30	17:00
	第2分科会口演 2-1~2-20	第2分科会口演 2-21~2-41	第11分科会口演 11-1~11-20	第12分科会口演 12-1~12-10
	9:00	12:20	13:30	16:50
	第4分科会口演 4-1~4-20	第4分科会口演 4-21~4-40	第4分科会口演 4-41~4-60	第14分科会口演 14-1~14-10
	9:00	12:20	13:30	16:50
	第9分科会口演 9-1~9-20	第3分科会口演 3-1~3-20	第9分科会口演 9-21~9-40	第15分科会口演 15-1~15-10
	9:00	12:20	13:30	16:50
	第10分科会口演 10-1~10-20	第10分科会口演 10-21~10-40	第8分科会口演 8-1~8-20	第7分科会口演 7-1~7-10
	9:00	12:00		
	教育講演			
	9:00	12:20	13:30	16:50
	第13分科会口演 13-1~13-20	第13分科会口演 13-21~13-40	第17分科会口演 17-1~17-20	第17分科会口演 17-21~17-25
	9:00	12:20	13:30	16:50
	第18分科会口演 18-1~18-5 第6分科会口演 6-1~6-15	第6分科会口演 6-16~6-25 第5分科会口演 5-1~5-10	第1分科会口演 1-1~1-20	第16分科会口演 16-1~16-10

会場別日程一覧

◆ビーコンプラザ		10月20日(水)		10月21日(木)		10月22日(金)	
		午前	午後	午前	午後	午前	午後
BF	・コンベンションホール	総会 ・開会挨拶 ・学会長講演 ・総会議事 ・奨励賞贈呈 ・特別講演1, 2	シンポジウム1	分科会(示説) 企業展示	分科会(示説) 企業展示	分科会(示説) 企業展示	分科会(示説) 企業展示
	・フィルハーモニアホール		シンポジウム2	シンポジウム3	シンポジウム4	シンポジウム5	
	・小会議室 2・3			分科会(口演9)	分科会(口演3)	分科会(口演9)	分科会(口演15)
	・小会議室 1・4	事務局	事務局	事務局	事務局	事務局	事務局
1F	・エントランスホール	受付	受付	受付	受付	受付	受付
	・中会議室			分科会(口演4)	分科会(口演4)	分科会(口演4)	分科会(口演14)
2F	・レセプションホール						
3F	・国際会議室		奨励賞受賞者講演	分科会(口演2)	分科会(口演2)	分科会(口演11)	分科会(口演12)
	・小会議室 31			分科会(口演10)	分科会(口演10)	分科会(口演8)	分科会(口演7)
◆ニューライフプラザ							
2F	・多目的ホール			教育講演			
	・第1・2研修室			分科会(口演13)	分科会(口演13)	分科会(口演17)	分科会(口演17)
	・視聴覚室			分科会(口演6・18)	分科会(口演5・6)	分科会(口演1)	分科会(口演16)

分科会別会場及び日程一覧(口演)

分科会番号 分科会名	(定員) 会場名	10月21日(木)		10月22日(金)	
		午前	午後	午前	午後
第1分科会 疫学・保健医療情報	視聴覚室 (100) ニューライフプラザ			1-1~1-20 (9:00~12:20)	
第2分科会 健康教育・ヘルスプロモーション	国際会議室 (166) ビーコンプラザ	2-1~2-20 (9:00~12:20)	2-21~2-41 (13:30~17:00)		
第3分科会 保健所・衛生行政	小会議室2・3 (120) ビーコンプラザ		3-1~3-20 (13:30~16:50)		
第4分科会 地域保健・地域医療	中会議室 (192) ビーコンプラザ	4-1~4-20 (9:00~12:20)	4-21~4-40 (13:30~16:50)	4-41~4-60 (9:00~12:20)	
第5分科会 難病・医療福祉	視聴覚室 (100) ニューライフプラザ		5-1~5-10 (15:10~16:50)		
第6分科会 成人保健Ⅰ	視聴覚室 (100) ニューライフプラザ	6-1~6-15 (9:50~12:20)	6-16~6-25 (13:30~15:10)		
第7分科会 成人保健Ⅱ	小会議室31 (150) ビーコンプラザ				7-1~7-10 (13:30~15:10)
第8分科会 成人保健Ⅲ	小会議室31 (150) ビーコンプラザ			8-1~8-20 (9:00~12:20)	
第9分科会 母子保健・学校保健	小会議室2・3 (120) ビーコンプラザ	9-1~9-20 (9:00~12:20)		9-21~9-40 (9:00~12:20)	
第10分科会 老人保健	小会議室31 (150) ビーコンプラザ	10-1~10-20 (9:00~12:20)	10-21~10-40 (13:30~16:50)		
第11分科会 精神保健	国際会議室 (166) ビーコンプラザ			11-1~11-20 (9:00~12:20)	
第12分科会 歯科保健	国際会議室 (166) ビーコンプラザ				12-1~12-10 (13:30~15:10)
第13分科会 感染症	第1・2研修室 (100) ニューライフプラザ	13-1~13-20 (9:00~12:20)	13-21~13-40 (13:30~16:50)		
第14分科会 公衆栄養	中会議室 (192) ビーコンプラザ				14-1~14-10 (13:30~15:10)
第15分科会 食品衛生・薬事衛生	小会議室2・3 (120) ビーコンプラザ				15-1~15-10 (13:30~15:10)
第16分科会 産業保健	視聴覚室 (100) ニューライフプラザ				16-1~16-10 (13:30~15:10)
第17分科会 環境保健	第1・2研修室 (100) ニューライフプラザ			17-1~17-20 (9:00~12:20)	17-21~17-25 (13:30~14:20)
第18分科会 国際保健	視聴覚室 (100) ニューライフプラザ	18-1~18-5 (9:00~9:50)			

分科会別日程一覧(示説)

会場:ビーコンプラザ コンベンションホール

分科会番号 分科会名	10月21日(木)		10月22日(金)	
	午前	午後	午前	午後
第1分科会 疫学・保健医療情報	P1-1～P1-33 (9:00～11:45)	P1-34～P1-51 (13:30～15:00)		
第2分科会 健康教育・ヘルスプロモーション			P2-1～P2-35 (9:00～11:55) P2-36～P2-75 (9:00～12:20)	P2-76～P2-93 (13:30～15:00) P2-94～P2-112 (13:30～15:05)
第3分科会 保健所・衛生行政	P3-1～P3-17 (10:45～12:10) P3-18～P3-43 (9:00～11:10)			
第4分科会 地域保健・地域医療	P4-1～P4-38 (9:00～12:10)	P4-39～P4-76 (13:30～16:35)		P4-77～P4-96 (13:30～15:10) P4-97～P4-116 (13:30～15:10)
第5分科会 難病・医療福祉	P5-1～P5-29 (9:00～11:25)			
第6分科会 成人保健Ⅰ			P6-1～P6-24 (9:00～11:00)	
第7分科会 成人保健Ⅱ			P7-1～P7-11 (11:10～12:05)	
第8分科会 成人保健Ⅲ		P8-1～P8-25 (13:30～15:35)		
第9分科会 母子保健・学校保健	P9-1～P9-11 (11:25～12:20)	P9-12～P9-46 (13:30～16:25) P9-47～P9-82 (13:30～16:30)		
第10分科会 老人保健			P10-1～P10-15 (10:45～12:00) P10-16～P10-41 (9:00～11:10)	P10-42～P10-59 (13:30～15:00) P10-60～P10-79 (13:30～15:10)
第11分科会 精神保健	P11-1～P11-21 (9:00～10:45)			
第12分科会 歯科保健		P12-1～P12-28 (13:30～15:50)		
第13分科会 感染症			P13-1～P13-40 (9:00～12:20)	
第14分科会 公衆栄養			P14-1～P14-12 (11:00～12:00)	
第15分科会 食品衛生・薬事衛生		P15-1～P15-15 (15:00～16:15)		
第16分科会 産業保健			P16-1～P16-21 (9:00～10:45)	
第17分科会 環境保健	P17-1～P17-34 (9:00～11:50)			
第18分科会 国際保健	P18-1～P18-11 (11:15～12:10)			

本学会総会は、日本内科学会認定内科医・認定内科専門医の認定更新単位、日本医師会生涯教育制度単位となり、日本医師会認定産業医認定講座ともなっております。
さらに、日本歯科医師会生涯研修事業分類3に該当する研修会となります。

示説会場 パネルレイアウト

ビーコンプラザ コンベンションホール 10月21日 午前

掲示準備／8:30～9:00

発表／9:00～12:20

ポスター撤去／12:20～12:50

A組：第1分科会

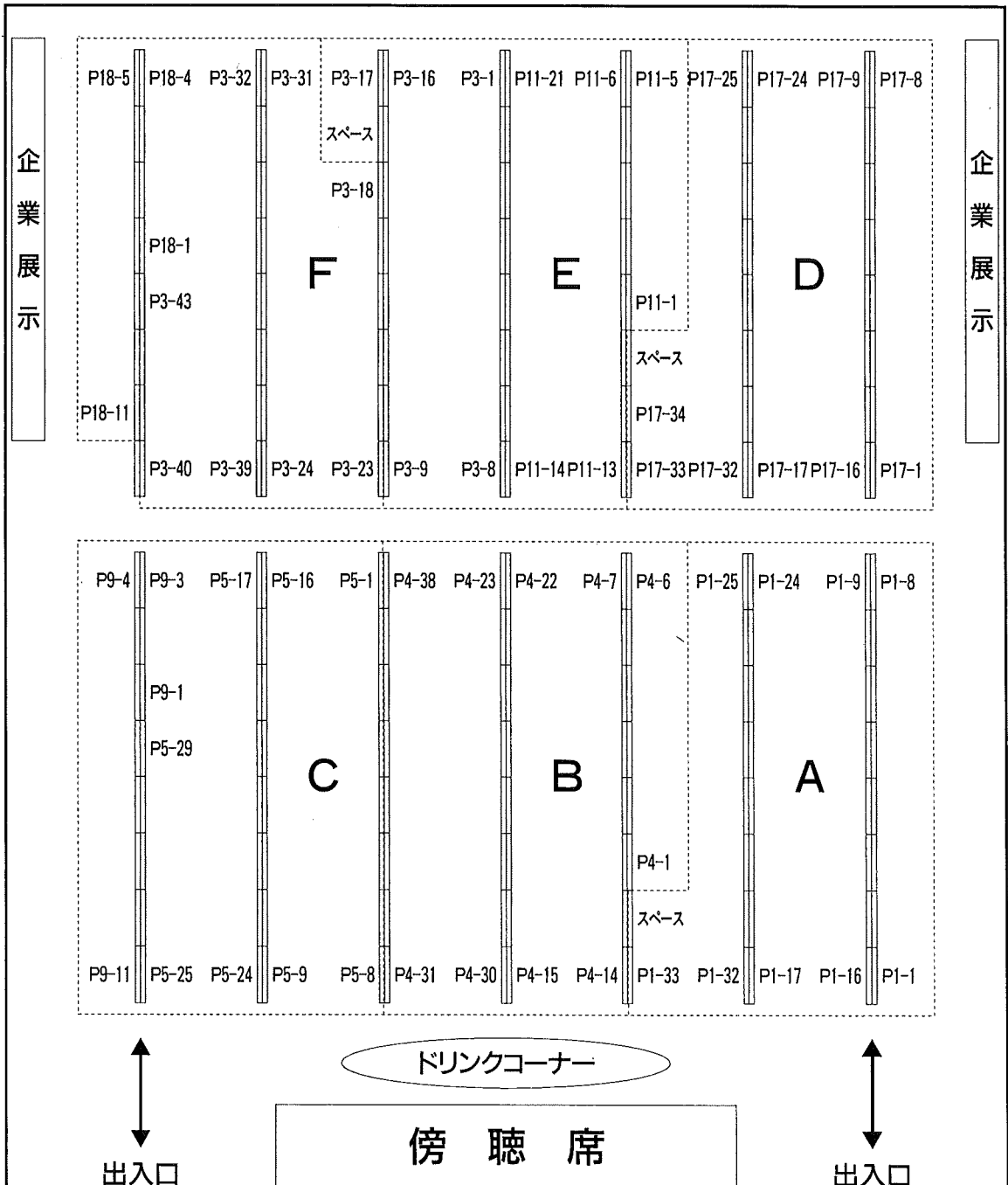
B組：第4分科会

C組：第5・9分科会

D組：第17分科会

E組：第3・11分科会

F組：第3・18分科会

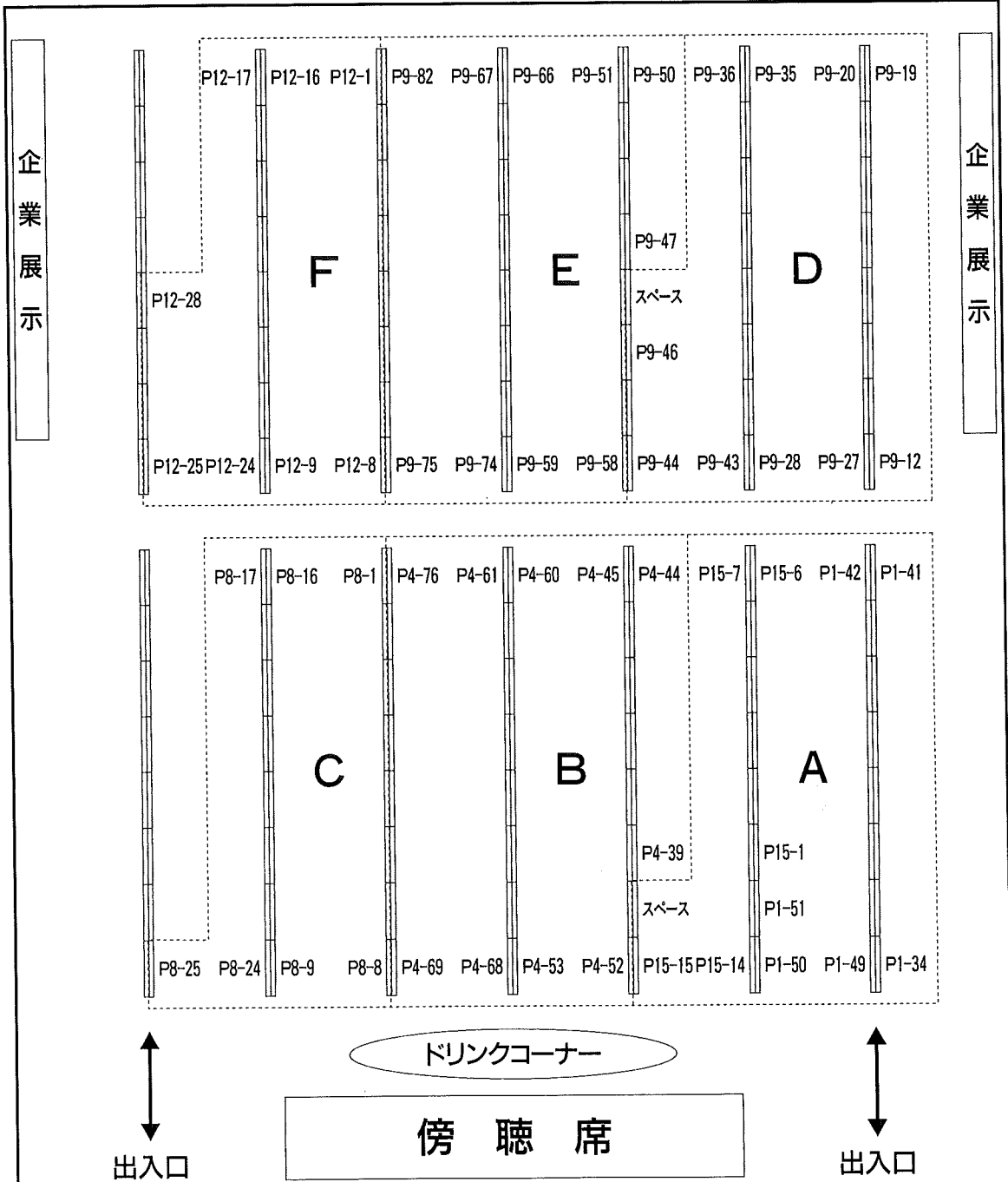


示説会場 パネルレイアウト

ビーコンプラザ コンベンションホール 10月21日 午後

掲示準備 / 12:50~13:30 発表 / 13:30~16:50 ポスター撤去 / 16:50~17:20

- A組: 第1・15分科会
- B組: 第4分科会
- C組: 第8分科会
- D組: 第9分科会
- E組: 第9分科会
- F組: 第12分科会



示説会場 パネルレイアウト

ビーコンプラザ コンベンションホール 10月22日 午前

掲示準備／8:30～9:00

発表／9:00～12:20

ポスター撤去／12:20～12:50

A組：第2分科会

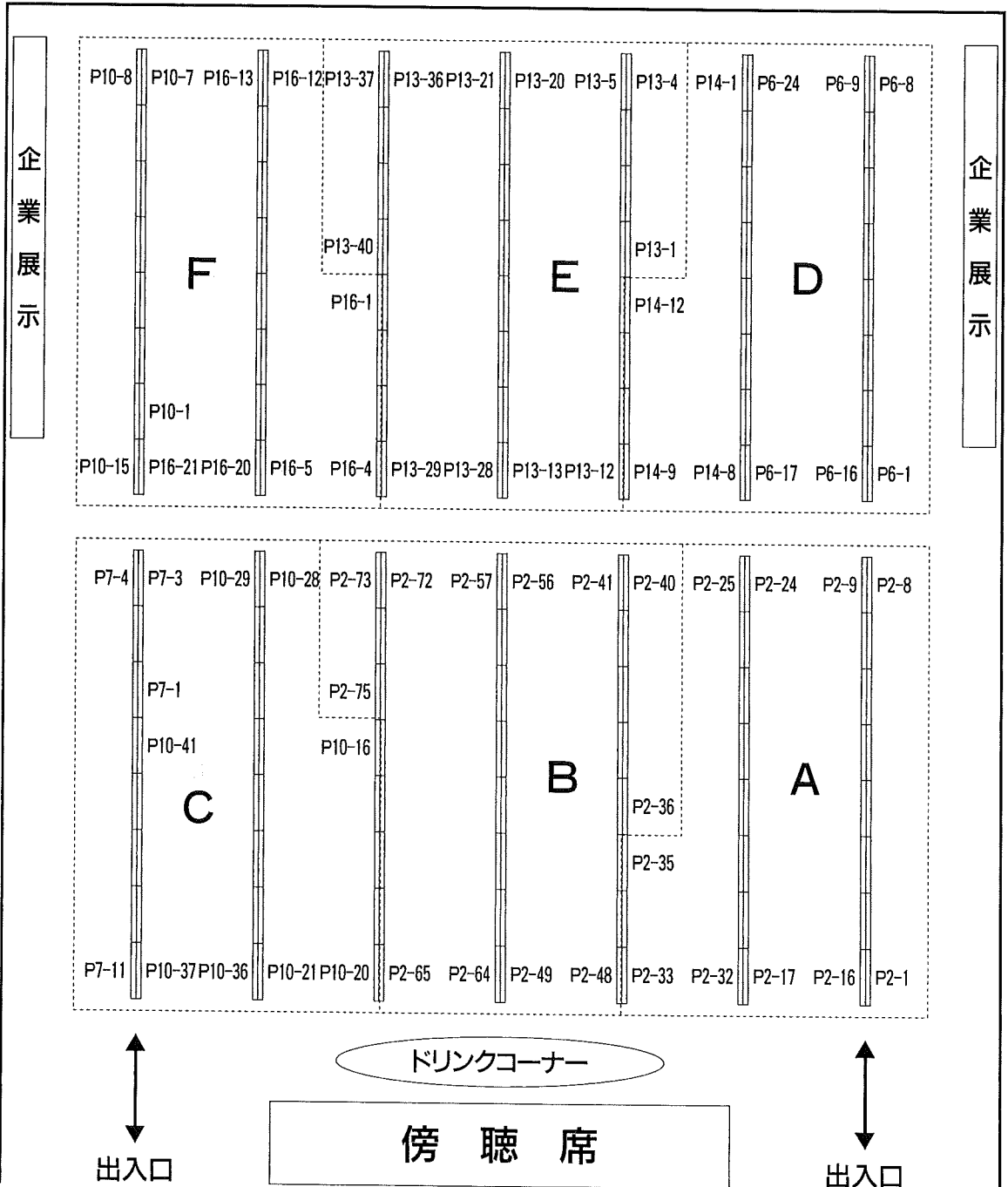
B組：第2分科会

C組：第7・10分科会

D組：第6・14分科会

E組：第13分科会

F組：第10・16分科会

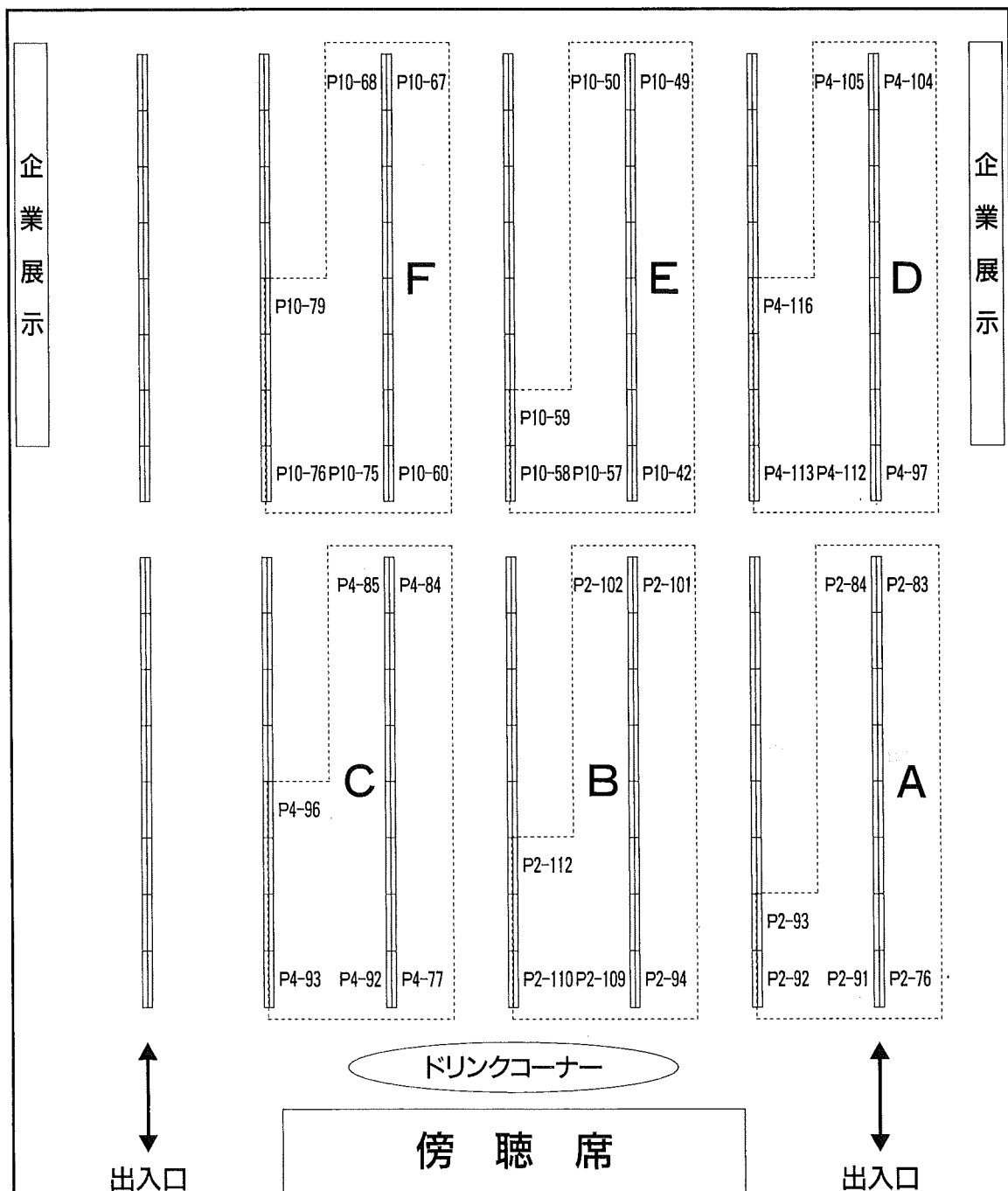


示説会場 パネルレイアウト

ビーコンプラザ コンベンションホール 10月22日 午後

掲示準備 / 12:50~13:30 発表 / 13:30~15:10 ポスター撤去 / 15:10~15:40

- (A組:第2分科会 B組:第2分科会 C組:第4分科会
 D組:第4分科会 E組:第10分科会 F組:第10分科会)



学会に参加される方へのお知らせ

1. 第58回総会にご参加の皆様へ

1) ネームプレートの着用について

- (1) 会場へ入場する際には必ず入場整理票(ネームプレート)をつけてください。ネームプレートのない方の入場はお断り致します。
- (2) ネームプレートは参加領収書を兼ねており、次の方法で交付致します。
 - a. 抄録集の事前入手を希望された方には、抄録集と一緒に送付致します。
 - b. 抄録集の当日受取りを予約された方には、「抄録集引換券」と一緒に郵送致します。
 - c. 抄録集を予約していない方は総合受付(10月20日(水)~22日(金)ビーコンプラザ・エントランスホール)で、抄録集代金6,000円を納め、抄録集と一緒に受取り下さい。

2) 抄録集の事前予約について

- (1) 詳しくは、「日本公衆衛生雑誌3月号」を御覧下さい。
- (2) 予約していない方には総会当日、総合受付にて6,000円で配布しますが抄録集が不足した場合にはお渡しできないことがあります。

2. 分科会座長の方へ

- 1) 本学会総会の分科会では、口演、示説の両発表とも座長制を採用しています。
- 2) ご担当の演題の開始30分前までに、各分科会会場で受付を済ませて下さい。
- 3) 口演発表会場には次座長席を設けていますので、前座長の登壇後、次座長席に着席して下さい。
- 4) 座長の担当時間内の運営は一任致しますが、終了が予定時間より遅れないよう、お願い致します。
- 5) 示説の発表・質疑応答は、座長の担当グループごとに、行います。各座長は、プログラムを参照の上、担当時間がきたら一齐に開始して下さい。原則として各発表者が約3分程度で概要の説明を行なった後、質疑応答を開始するようにして下さい。

3. 口演方式で発表する方へ

- 1) 発表の順序及び発表者の変更は原則として認めません。
- 2) 発表者は、発表の20分前までに各分科会会場で受付を済ませ、前演者の口演が始まりしだい「次演者席」に着席して下さい。
- 3) 一般分科会口演の発表は、OHC(書画カメラ)でお願いします。(OHPシート、印刷原稿がそのまま映写できます。スライド、掛け図等の使用はできません。)
- 4) 進行は座長に一任してありますが、1題につき口演7分以内、討論を含めて10分以内を原則とします。
- 5) 時間の経過は、ベルでお知らせします。口演予定時間を超過しないようご注意ください。
- 6) やむを得ず追加資料を使う場合には、当日受付に申し出た上で、各自の責任で配布して下さい。追加資料は会場の座席数(本誌の分科会別会場及び日程一覧に記載)に合わせて十分な数を準備して下さい。

4. 示説（ポスター）方式で発表する方へ

1) 事務局準備品

事務局では以下のものをご用意致します。

掲示板 : 1題ごとに、縦90cm×横210cmの横長パネルを用意します。

演題番号 : 掲示板上部に演題番号札を取り付け、表示します。

画鋏等 : ポスター貼付用画鋏を用意します。会場受付でお受け取り下さい。

リボン : 会場受付で発表者用リボンをお渡しします。掲示時間内は着用して下さい。

2) ポスターの掲示

演題番号ごとに指定された区画にポスターを掲示して下さい。

午前の発表は、8:30～9:00の間に掲示、12:20～12:50の間に撤去して下さい。

午後の発表は、12:50～13:30の間に掲示、16:50～17:20の間に撤去して下さい。

22日の午後の発表は、12:50～13:30の間に掲示、15:10～15:40の間に撤去して下さい。

3) 質疑応答

ポスター掲示時間は約3時間です。（22日の午後は、1時間40分）

座長の司会で約3分間の概要説明の後に質疑応答を行いますので、発表者は発表・質疑応答の時間帯を確認の上、必ず各自のポスターの前に待機して下さい。

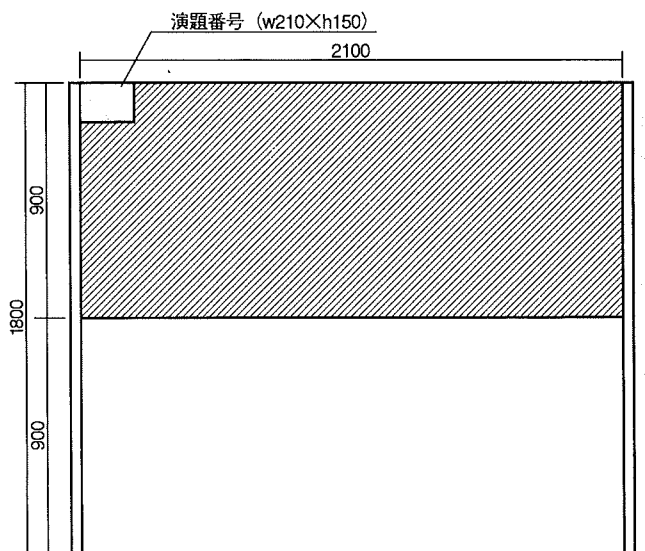
4) ポスターの作成要領

ポスター用のパネルの大きさは、縦90cm×横210cmの横長です。

掲示板上部に演題番号（縦15cm×横21cm）が取り付けられています。

掲示板の下端が床から90cmになるように設置しますので、ほぼ目の高さで横に長く掲示していただくことになります。

●示説発表用パネル



5. 喫煙について

会場内は禁煙となっております。

6. 会場での呼び出しについて

会場での呼び出しは行いません。ピーコンプラザ・エントランスホール受付の連絡板をご利用下さい。

第58回日本公衆衛生学会総会関連・付随行事の日程

行 事 名	日 程		会 場
	月 日	時 間	
【関連行事】			
1. 日本公衆衛生学会理事会	10. 19(火)	11:00~13:00	ビーコンプラザ
2. 日本公衆衛生学会評議員会	10. 19(火)	13:00~14:00	〃
3. 日本公衆衛生雑誌拡大編集会議	10. 20(水)	12:20~13:20	〃
4. 自由集会	10. 20(水)	18:00~20:00	ビーコンプラザ ニューライフプラザ他
	10. 21(木)	18:00~20:00	
【付随行事】			
1. 衛生学公衆衛生学教育協議会	10. 19(火)	14:00~17:00	ビーコンプラザ
2. 全国衛生部長会			
世話人会	10. 19(火)	12:00~13:30	杉乃井ホテル
総会	10. 19(火)	14:00~17:00	〃
情報交換会	10. 19(火)	17:30~19:30	〃
3. 全国保健所長会			
政令(中核)市部会	10. 18(月)	11:00~12:00	ビーコンプラザ
総会	10. 18(月)	14:00~17:30	〃
懇親会	10. 18(月)	18:00~20:00	杉乃井ホテル
分科会	10. 19(火)	9:00~12:00	ビーコンプラザ
全員協議会	10. 19(火)	13:00~16:15	〃
4. 全国精神保健福祉センター長会			
常任理事会・理事会	10. 18(月)	11:00~12:00	亀の井ホテル
センター長会	10. 18(月)	13:00~15:00	〃
研究協議会(特別講演)	10. 18(月)	15:30~17:00	〃
懇親会	10. 18(月)	18:00~20:00	〃
研究協議会(一般演題発表)	10. 19(火)	9:00~16:00	〃
5. 全国保健統計協議会			
役員会	10. 18(月)	16:00~17:00	ホテルサンバリー
懇親会	10. 18(月)	18:00~20:00	〃
総会	10. 19(火)	10:00~14:00	〃
6. 全国保健婦教育機関協議会			
理事会	10. 18(月)	15:00~17:00	別府バストラル
施設管理者部会	10. 19(火)	10:00~12:00	〃
教育担当者部会	10. 19(火)	10:00~12:00	〃
総会(記念講演)	10. 19(火)	13:00~17:00	〃
情報交換会	10. 19(火)	18:00~20:00	〃
7. 地方衛生研究所全国協議会			
理事会	10. 19(火)	12:00~13:00	ビーコンプラザ
総会	10. 19(火)	13:00~17:00	〃
情報交換会	10. 19(火)	17:30~19:30	杉乃井ホテル
次長・庶務課長会議	10. 20(水)	9:30~12:00	ビーコンプラザ

自由集会

平成11年10月20日(18:00~20:00)

	集 会 名	人 数	世 話 人	問い合わせ先	会 場
1	「結核集団発生の対策に関する集会」	100	森 亨 (結核予防会結核研究所) 野口 一也(大分県福祉保健部健康対策課)	結核予防会結核研究所 0424-93-5760	ピーコンプラザ 中会議室
2	全国衛生行政研究会	50	仲宗根 正(沖縄県北部保健所) 藤内 修二(大分県佐伯保健所)	沖縄県北部保健所 0980-53-0954	ピーコンプラザ 小会議室 2 小会議室 3
3	「家族をめぐる健康教育・ヘルスプロモーションの取り組み」	100	川田 智恵子(日本健康教育学会組織強化委員) 波川 京子(大分医科大学医学部看護学科)	岡山大学医学部保健学科 086-235-6841	ピーコンプラザ 小会議室31
4	「アルコール問題研究会」	50	角田 透(杏林大学医学部衛生学教室) 大本 美彌子(元東邦大学医学部)	杏林大学医学部衛生学教室 0422-47-5511	ピーコンプラザ 小会議室32
5	第6回高齢者の健康づくり研究会	100	種田 行男(<財>明治生命厚生事業団) 松田 晋哉(産業医科大学公衆衛生教室)	(財)明治生命厚生事業団 体力医学研究所 0426-91-1163	ピーコンプラザ リハーサル室
6	ヘルス・プロモーションを実践する会 MIDORI理論の実践適用と課題	100	小山 修(日本子ども家庭総合研究所) 甲斐 優子(大分県中央保健所)	日本子ども家庭総合研究所 地域保健担当 03-3473-8446	ピーコンプラザ 国際会議室
7	精神保健福祉法改正の移送制度の創設について考える	70	天野 宗和(埼玉県精神保健福祉総合センター) 小野 妙子(大分県精神保健福祉センター)	埼玉県精神保健福祉総合センター 048-723-1111	ニューライフプラザ 第1研修室 第2研修室
8	喫煙対策	50	斉藤 麗子(東京都文京区本郷保健所) 大神 貴史(大分県宇佐高田保健所)	東京都文京区本郷保健所 03-3821-5106	ニューライフプラザ 視聴覚室
9	「臨床検査・衛生検査に関する自由集会」	100	後藤 英雄(大分県立病院) 佐藤 久恒(国公共済新別府病院)	大分県立病院中央検査部 097-546-7142	ニューライフプラザ 多目的ホール
10	「公衆衛生に国境はない」	50	中村 安秀(東京大学医学部国際地域保健学)	東京大学医学部国際地域保健学 03-5841-3697	ニューライフプラザ 第1セミナー室
11	市町村保健婦交流会	50	今村 いずみ(鹿児島県大根占町役場)	鹿児島県大根占町役場保健福祉課 09942-2-0511(内線156)	ニューライフプラザ 第2セミナー室

自由集会

平成11年10月21日(18:00~20:00)

	集 会 名	人 数	世 話 人	問 合 せ 先	会 場
12	衛生学・公衆衛生学のアイデンティティと教授選考の ミニマム・リクエストメントに関するワークショップ -湯布院レポートを中心に-	80	三角 順一(衛生学・公衆衛生学教育協議会)	大分医科大学公衆・衛生医学(Ⅱ) 097-586-6742	ピーコンプラザ 中会議室
13	健康教育と自己表現 -生き方としての「癒し」-	50	百武 正嗣(神奈川県予防医学協会) 甲斐 優子(大分県中央保健所)	(財)神奈川県予防医学協会 健康教育センター 045-641-8505	ピーコンプラザ 小会議室 2 小会議室 3
14	多胎児を産み育てる家庭への保健サービスを考える集会	70	早川 和生(大阪大学医学部保健学科) 波川 京子(大分医科大学医学部看護学科) 加藤 則子(国立公衆衛生院母子保健学部)	国立公衆衛生院母子保健学部 03-3441-7111(内線297)	ピーコンプラザ 小会議室31
15	健康についての参加的理解	30	守山 正樹(福岡大学医学部公衆衛生学教室) 池辺 淑子(大分医科大学公衆・衛生医学(第1))	福岡大学医学部公衆衛生学教室 092-801-1011(内線3315)	ピーコンプラザ 小会議室32
16	第3回レセプト情報の活用を考える自由集会	20	岡本 悦司(近畿大学医学部公衆衛生学教室) 馬場 明(九州大学健康科学センター)	近畿大学医学部公衆衛生学教室 0723-66-0221(内線3271)	ピーコンプラザ 小会議室33
17	きらきら光る住民組織 -母子保健計画の実践を通して健康なまちづくりを考える-	50	吉田 真津子(大分県武蔵町役場住民福祉課) 田中 紗(大分医科大学医学部看護学科)	大分医科大学看護学科 地域・老人看護学 097-586-5095	ピーコンプラザ リハーサル室
18	「全国いきいき公衆衛生の会」	200	阿彦 忠之(山形県村山保健所) 藤内 修二(大分県佐伯保健所)	山形県村山保健所 023-622-2543	ピーコンプラザ 国際会議室
19	「循環器病予防自由集会」	60	足達 寿(久留米大学医学部第3内科) 澤井 廣量((社)日本循環器管理研究協議会)	(社)日本循環器管理研究協議会事務局 03-3989-0680	ニューライフプラザ 第1研修室 第2研修室
20	「第4回在宅ケアの現状とマルチメディア支援の 可能性に関するシンポジウム」	60	高野 健人(東京医科歯科大学医学部公衆衛生学) 西村 敏博(大分大学工学部)	東京医科歯科大学医学部公衆衛生学 03-5803-5190	ニューライフプラザ 視聴覚室

自由集会

平成11年10月21日(18:00~20:00)

	集 会 名	人 数	世 話 人	問 い 合 わ せ 先	会 場
21	地域歯科保健フォーラム -介護保険制度に対応したこれからの地域歯科保健活動-	100	首藤 洋治(大分県歯科医師会副会長) 梶原 眞理(大分県歯科衛生士会副会長) 大津 孝彦(大分県福祉保健部健康対策課)	大分県歯科医師会 097-545-3151	ニューライフプラザ 多目的ホール
22	性的指向と健康問題	50	風間 孝(動くゲイとレズビアンの会)	動くゲイとレズビアンの会 03-3383-5556	ニューライフプラザ 第1セミナー室
23	地域づくり型保健活動	50	岩永 俊博(国立公衆衛生院公衆衛生行政学部) 古閑 文代(熊本県立保健学院)	国立公衆衛生院公衆衛生行政学部 03-3441-7111	ニューライフプラザ 第2セミナー室
24	第15回運動と健康自由集会	40	野田 晴彦(川崎市川崎保健所) 小島 光洋(宮城県栗原保健所) 西岡 和男(福岡市健康づくり財団)	川崎市川崎保健所 044-201-3201	ニューライフプラザ 第1創作室
25	地域保健をかたる -保健婦活動の方法を中心に-	40	山田 和子(国立公衆衛生院公衆衛生看護学部) 松尾 則子(大分県福祉保健部健康対策課)	国立公衆衛生院公衆衛生看護学部 03-3441-7111	ニューライフプラザ 大分中高年労働者 福祉センター 研修室
26	住まいと健康フォーラム	30	松本 恭治(国立公衆衛生院建築衛生学部) 森 洋幸(大分県中央保健所衛生課環境衛生係)	国立公衆衛生院建築衛生学部 03-3441-7111	ニューライフプラザ 大分中高年労働者 福祉センター 講義室

第58回日本公衆衛生学会総会 運営委員

名誉学会長	平松 守彦	大分県知事
学会長	小澤 秀樹	大分医科大学医学部公衆・衛生医学教授
副学会長	吉川 暉	大分県医師会長
〃	安倍 一郎	大分県福祉保健部長
〃	秋吉 豊利	大分県生活環境部長
顧問	木下敬之助	大分市長
〃	井上 信幸	別府市長
〃	中山 巖	大分医科大学長
〃	野村 新	大分大学長
〃	草間 朋子	大分県立看護科学大学長

実行委員会

役 職 名	氏 名	所 属	備 考
委 員 長	小澤 秀樹	大分医科大学医学部公衆・衛生医学教授	学会長
副 委 員 長	三角 順一	大分医科大学医学部公衆・衛生医学教授	学術部会長
〃	杉田 肇	大分県医師会副会長	
〃	財前征一郎	大分県福祉保健部次長	事業部会長
〃	朝久野 浩	大分県生活環境部次長	
委 員	栗 檀 瑛子	大分県立看護科学大学教授	
〃	江崎 一子	別府大学教授	
〃	近藤 俊彦	大分県歯科医師会長	
〃	波田野 秦策	大分県獣医師会長	
〃	淵野 恒雄	大分県薬剤師会長	
〃	岡 宗由	大分県病院協会会長	
〃	高橋 敏人	大分県保健所長会長	
〃	池辺 頼子	大分県看護協会会長	
〃	安倍 本子	日本助産婦会大分県支部長	
〃	石田 徳	大分県市町村保健活動研究協議会長	
〃	星野 隆	大分県栄養士会長	
〃	藤原 伸行	大分県放射線技師会長	
〃	後藤 英雄	大分県臨床衛生検査技師会長	
〃	矢野 竹雄	大分県食品衛生協会会長	
〃	山崎 正巳	大分県環境管理協会理事長	
〃	田北 豊	大分県労働基準協会会長	
監 事	磯崎 賢治	大分市福祉保健部長	
〃	沼口 文男	別府市環境部長	

事業部会

役 職 名	氏 名	所 属	備 考
部 会 長	財前 征一郎	大分県福祉保健部次長	
委 員	池辺 廣司	大分県福祉保健部福祉保健課長	
〃	佐世 克元	大分県福祉保健部医務薬事課長	
〃	桑島 昭文	大分県福祉保健部健康対策課長	
〃	西山 正徳	大分県福祉保健部高齢者福祉課長	
〃	宮成 和子	大分県福祉保健部児童家庭課長	
〃	小森 雅一	大分県福祉保健部障害福祉課長	
〃	阿部 実	大分県福祉保健部介護保険準備室長	
〃	岩本 隆治	大分県生活環境部生活環境課長	
〃	井沢 堯	大分県生活環境部生活衛生課長	
〃	野上 文史	大分県生活環境部環境管理課長	
〃	柴田 直宏	大分県生活環境部廃棄物対策課長	

学術部会

役 職 名	氏 名	所 属	備 考
部 会 長	三角 順一	大分医科大学医学部公衆・衛生医学教授	
委 員	青野 裕士	大分医科大学医学部公衆・衛生医学助教授	
〃	杉田 聡	大分医科大学医学部基礎看護学助教授	
〃	倉掛 重精	大分医科大学医学部保健体育助教授	
〃	青木 一雄	大分医科大学医学部公衆・衛生医学講師	
〃	島岡 章	大分医科大学医学部公衆・衛生医学助手	
〃	斉藤 功	大分医科大学医学部公衆・衛生医学助手	
〃	池辺 淑子	大分医科大学医学部公衆・衛生医学助手	
〃	安部 テル子	大分大学教育福祉科学部栄養学教授	
〃	平野 互	大分県立看護科学大学保健管理学助教授	
〃	西村 靖史	別府大学情報科学助教授	
〃	溝口 直	大分県医師会常任理事	
〃	東保 みづ枝	大分県精神保健福祉センター所長	
〃	牧野 芳大	大分県衛生環境研究センター所長	
〃	永松 啓爾	大分県厚生学院長	

事務局

役 職 名	氏 名	所 属	備 考
事 務 局 長	桑島 昭文	大分県福祉保健部健康対策課長	
局 員	青野 裕士	大分医科大学医学部公衆・衛生医学助教授	
〃	青木 一雄	大分医科大学医学部公衆・衛生医学講師	
〃	島岡 章	大分医科大学医学部公衆・衛生医学助手	
〃	斉藤 功	大分医科大学医学部公衆・衛生医学助手	
〃	池辺 淑子	大分医科大学医学部公衆・衛生医学助手	
〃	高橋 賢一	大分県福祉保健部健康対策課課長補佐	
〃	内田 勝彦	大分県福祉保健部健康対策課課長補佐	
〃	田原 信夫	大分県福祉保健部健康対策課課長補佐	
〃	大津 孝彦	大分県福祉保健部健康対策課主幹	
〃	吉岡 薫	大分県福祉保健部健康対策課副主幹	
〃	松木 京子	大分県福祉保健部健康対策課主任	

分科会委員

分科会	氏名	所属
第1分科会	平野 亙	大分県立看護科学大学保健管理学助教授
第2分科会	島岡 章	大分医科大学医学部公衆・衛生医学助手
	藤内 修二	大分県佐伯保健所所長
第3分科会	倉掛 重精	大分医科大学医学部保健体育助教授
	後藤 俊夫	大分市保健所健康課課長補佐
	高橋 敏人	大分県中央保健所所長
第4分科会	安達 国良	大分県竹田保健所所長
	井手知恵子	大分医科大学医学部地域・老人看護学助教授
	木山 昌彦	大阪府富田林保健所河内長野支所長
	大神 貴史	大分県宇佐高田保健所所長
第5分科会	江崎フサ子	大分医科大学医学部臨床看護学助教授
	木下由美子	大分県立看護科学大学地域看護学助教授
	中里 興文	大分県三重保健所所長
第6分科会	新庄 文明	大阪大学医学部公衆衛生学助教授
	後藤 朗	大分県日田玖珠保健所所長
第7分科会	齊藤 功	大分医科大学医学部公衆・衛生医学助手
	吉村 健清	産業医科大学産業生態科学研究所教授
第8分科会	山下 剛	大分県中央保健所副所長
	工藤 修二	大分県中津保健所所長
第9分科会	田中 妙	大分医科大学医学部地域・老人看護学講師
	前田 泰久	大分県宇佐高田保健所高田保健部部長
第10分科会	青野 裕士	大分医科大学医学部公衆・衛生医学助教授
	波川 京子	大分医科大学医学部地域・老人看護学助教授
第11分科会	和田 秀隆	大分市保健所所長
	安部眞佐子	大分県立看護科学大学生体科学教授
	東保みづ枝	大分県精神保健福祉センター所長
	小野 妙子	大分県精神保健福祉センターデイケア課課長
第12分科会	影山 隆之	大分県立看護科学大学精神看護学助教授
	司城潤一郎	大分県国東保健所所長
	大津 孝彦	大分県福祉保健部健康対策課主幹
第13分科会	田中 一秀	大分県歯科医師会公衆衛生担当理事
	水城まさみ	大分医科大学保健管理センター講師
第14分科会	渡辺 英宣	大分県臼杵保健所所長
	星野 隆	大分県栄養士会会長
第15分科会	中島 久世	大分県三重保健所保健指導課長
	江崎 一子	別府大学短期大学部食物栄養科教授
	城井 堅	大分県中央保健所参事
第16分科会	大友 信也	平松学園臨床検査技師専門学校校長
	日隈 哲男	大分産業保健推進センター所長
第17分科会	深堀 勝	昭和電工大分工場健康管理センター所長
	牧野 芳大	大分県衛生環境研究センター所長
第18分科会	青木 一雄	大分医科大学医学部公衆・衛生医学講師
	杉田 聡	大分医科大学医学部基礎看護学助教授

一般演題一覧

		口演	示説
第1分科会	疫学・保健医療情報	1-1～1-20	P1-1～P1-51
第2分科会	健康教育・ヘルスプロモーション	2-1～2-41	P2-1～P2-112
第3分科会	保健所・衛生行政	3-1～3-20	P3-1～P3-43
第4分科会	地域保健・地域医療	4-1～4-60	P4-1～P4-116
第5分科会	難病・医療福祉	5-1～5-10	P5-1～P5-29
第6分科会	成人保健Ⅰ（循環器疾患）	6-1～6-25	P6-1～P6-24
第7分科会	成人保健Ⅱ（悪性新生物）	7-1～7-10	P7-1～P7-11
第8分科会	成人保健Ⅲ（その他の成人病）	8-1～8-20	P8-1～P8-25
第9分科会	母子保健・学校保健	9-1～9-40	P9-1～P9-82
第10分科会	老人保健	10-1～10-40	P10-1～P10-79
第11分科会	精神保健	11-1～11-20	P11-1～P11-21
第12分科会	歯科保健	12-1～12-10	P12-1～P12-28
第13分科会	感染症	13-1～13-40	P13-1～P13-40
第14分科会	公衆栄養	14-1～14-10	P14-1～P14-12
第15分科会	食品衛生・薬事衛生	15-1～15-10	P15-1～P15-15
第16分科会	産業保健	16-1～16-10	P16-1～P16-21
第17分科会	環境保健	17-1～17-25	P17-1～P17-34
第18分科会	国際保健	18-1～18-5	P18-1～P18-11

第1分科会 疫学・保健医療情報

口 演

第3日 10月22日(金) ニューライフプラザ 2F 視聴覚室

9:00 ~ 9:50

座長 高木 廣文 (新潟大学医療技術短期大学部)

1-1	ランダム化比較対照試験と観察データとの相互補完性に関する一考察	野口 晴子 (スタンフォード大・経済政策研究所)
1-2	睡眠時間の時系列解析	川田 智之 (群馬大・医・公衆衛生)
1-3	山陰地域における結節性硬化症の疫学調査	矢倉 紀子 (鳥取大・医療技術短大)
1-4	血液検査所見の性別・年齢別基準値に関する研究	村松 幸 (北海道大・医療短大)
1-5	問診票による受動喫煙曝露評価の妥当性	西野 善一 (東北大院・医・公衆衛生)

9:50 ~ 10:40

座長 加納 克己 (筑波大学社会医学系)

1-6	死亡率の将来予測—心疾患と脳血管疾患を例として	根岸 聖一 (自治医大・医学情報学)
1-7	東京における中年期死亡のトレンド	牧野 国義 (東京都立衛生研究所)
1-8	東京都特別区の二次医療圏別にみた健康水準の経年的変化	藤原 佳典 (京大院・医・成人老年病病態)
1-9	死亡、疾病、健康障害等についての新しい年齢調整法	井上 康二郎 (岡山県真庭保健所)
1-10	コホート生命表による平均余命の推移	渡辺 智之 (名古屋大院・多元数理)

10:40 ~ 11:30

座長 林 謙治 (国立公衆衛生院保健統計人口学部)

1-11	都市における健康決定要因の分析	福田 吉治 (東京医歯大・医・公衆衛生)
1-12	中国江西省における癌・循環器疾患罹患とライフスタイルに関する研究	簗輪 眞澄 (国立公衆衛生院・疫学)
1-13	生活習慣とBMIとの関連性	山根 美佐枝 (松下健康管理センター)
1-14	受療行動調査の関連分析の概要(1)	牧野 ゆり子 (厚生省)
1-15	受療行動調査の関連分析の概要(2)	佐久間 敦 (厚生省)

11:30 ~ 12:20

座長 永井 正規 (埼玉医科大学公衆衛生学)

1-16	健康日本21の早死指標、区間死亡確率の提唱	長谷川 敏彦 (国立医療・病院管理研究所)
1-17	女子平均余命の変化と県別格差の決定要因	松本 邦愛 (国立医療・病院管理研究所)
1-18	日本における医療の公平性の分析	石原 明子 (国立医療・病院管理研究所)
1-19	自殺及び事故に与える経済要因の分析	近藤 久禎 (国立医療・病院管理研究所)
1-20	日本の医療費の国際・国内比較分析	久保内 智子 (国立医療・病院管理研究所)

示 説

第2日 10月21日(木) ビーコンプラザ BF コンベンションホール

9:00 ~ 9:40

座長 福田 勝洋 (久留米大学医学部衛生学・公衆衛生学)

P1-1	John SnowからWilliam Farrにいたる疫学調査の社会的インパクト	廣岡 憲造 (旭川医大・公衆衛生)
P1-2	重回帰分析法を用いた感染症の発生と気候との関連の検討	和田 正道 (長野県衛生公害研究所)
P1-3	疫学モデルによるBCG接種効果の推定	内村 和広 (結核研究所疫学研究部)
P1-4	学級閉鎖時における累積患者割合からみたインフルエンザ流行動態の均一性	高井 一岳 (京都府宮津保健所)
P1-5	高知県における紅斑熱リケツシア症の発生状況(1983~1998年)	千屋 誠造 (高知県衛生研究所)
P1-6	大阪地区における川崎病の臨床疫学的調査	高瀬 俊夫 (大阪府医師会勤務医部会)
P1-7	3歳児健診受診者の両親におけるスギ花粉症の環境因子に関する研究	大木 いずみ (自治医大・公衆衛生)
P1-8	戦後の不慮の事故死の変遷とその要因	市川 政雄 (国立国際医療センター研究所)

9:40 ~ 10:20 座長 西 信雄 (宝塚市立健康センター)

P1-9	1995年市区町村別生命表を用いた寿命地図の作成	牧山 文彦 (春日部秀和病院)
P1-10	茨城県の疾病分布のクラスター分析	岡田 昌史 (筑波大・医学研究科)
P1-11	東京都特別区男性の年齢階級別死亡率と平均寿命	谷口 力夫 (東京都立大院・都市科学研究)
P1-12	地域健診受診者における検査値等の5年後の変移	大坪 浩一朗 (江戸川区小岩保健所)
P1-13	高齢者の転倒と視機能に関する調査(1)	野村 秀樹 (長寿医療研究センター・疫学)
P1-14	身体計測・血圧測定・血液検査の再現性	西 信雄 (宝塚市立健康センター)
P1-15	がん発見前の体重変動の分析	松木 悠紀雄 (高知医大・看・地域看護)
P1-16	日本と中国における花粉症治療とその効果に関する比較研究	方 泓 (昭和大・医・公衛)

10:20 ~ 11:05 座長 橋本 修二 (東京大学大学院医学系研究科疫学予防保健学)

P1-17	健康診査対象者の推計方法の検討	三浦 宣彦 (埼玉県立大)
P1-18	自覚的健康観及び健康格差の健康指標としての有効性	神田 晃 (昭和大・医・公衆衛生)
P1-19	保健医療福祉の地域指標の開発 第5報	林 正幸 (福島医大・看・情報科学)
P1-20	保健医療福祉の地域指標の開発 第6報	宮下 光令 (東大・医・成人看護)
P1-21	YPLLによる疾病評価	内田 博之 (埼玉医大・医・公衛)
P1-22	早死指標(YPLL)からみた山梨県の中老年の死亡状況	小田切 陽一 (山梨県立看護大)
P1-23	身体活動質問紙開発のための日常生活活動の構造分析	原田 亜紀子 (東大院・医・健康増進科学)
P1-24	静岡県における健康指標の総合化の試み	吹野 治 (静岡県総合健康センター)
P1-25	佐世保市における公的介護保険導入に向けての実態把握方策の考案	松尾 幸子 (長崎県佐世保市保健福祉部)

11:05 ~ 11:45 座長 辻 一郎 (東北大学大学院医学系研究科公衆衛生学)

P1-26	保健情報の地域における活用に関する研究	土井 徹 (国立公衆衛生院・保健統計人口)
P1-27	杉並区診断装置管理システムの報告	崎山 紀興 (杉並区杉並保健所)
P1-28	箕面市母子保健情報システム	松尾 高子 (箕面市総合保健福祉センター)
P1-29	医療施設間の緊急医療情報ネットワークの構築	森岡 郁晴 (和歌山医大・衛生)
P1-30	地理情報システムによる国勢調査データを用いた小地区分析(I)	関 明彦 (岡山大・医・公衆衛生)
P1-31	地理情報システムによる国勢調査データを用いた小地区分析(II)	伊藤 武彦 (岡山大・教育・看護教育)
P1-32	仮想健康文化都市-2001PLAN-	森口 博基 (高知県長寿社会政策課)
P1-33	「高知県健康づくり支援情報システム」の開発について	今井 淳 (高知県衛生研究所)

13:30 ~ 14:15 座長 島岡 章 (大分医科大学公衆・衛生医学第2)

P1-34	国保レプト分析結果を市町村全人口に応用する推計法	岡本 悦司 (近畿大・医・公衆衛生)
P1-35	地域における医療費の構成要因について	川島 英敏 (日赤熊本健康管理センター)
P1-36	外来受診の平均通院日数の分析	松浦 和幸 (兵庫県立看護大)
P1-37	診療報酬請求明細書による多・重複受診者の受療行動分析	谷原 真一 (自治医大・公衆衛生)
P1-38	喘息患者の経済的評価に関する研究	栗山 孝雄 (獨協医大・公衆衛生)
P1-39	スギ花粉症の医療経済に関する研究	渡辺 由美 (昭和大・医・公衆衛生)
P1-40	白内障治療費の医療機関較差に関する要因の研究	加藤 清子 (昭和大・医・公衆衛生)
P1-41	インフルエンザ発病患者の検査および治療の費用に関する検討	原 祐一 (九大・医療システム)
P1-42	医薬分業が医療費に与える影響	木下 弘貴 (東大院・医・保健経済学)

14:15 ~ 15:00 座長 平野 亙 (大分県立看護科学大学広域看護学保健管理学)

P1-43	乳がん検診の安心料および不安料推定における競りゲーム法と自由表記法の比較	高塚 直能 (岐阜大・医・公衆衛生)
P1-44	医療用医薬品と市販薬の使用状況に関する比較研究(1)	安藤 富士子 (国立長寿研・疫学)
P1-45	診療情報管理と開示の状況	長谷川 友紀 (東邦大・医・公衆衛生)
P1-46	カルテ開示の賛否とその関連事項	谷本 佐理名 (日本医大・医療管理学)

P1-47	看護記録及び保健婦相談記録の開示の現状と諸問題の検討	中島 和江	(大阪大・医・公衆衛生)
P1-48	保健・福祉研究における倫理指針	長谷川 豊	(国際医療福祉大)
P1-49	病棟看護業務の構成要素についての考察	佐伯 有香	(大阪大・医・保健)
P1-50	タイムスタディに基づく病棟医師、看護業務の実態分析	杉田 塩	(大阪大・医・保健)
P1-51	総合健診受診者における生活習慣と循環器疾患の危険因子との関連	稲田 紘	(東大院・工学)

第2分科会 健康教育・ヘルスプロモーション

口演

第2日 10月21日(木) ビーコンプラザ 3F 国際会議室

9:00 ~ 9:50 座長 中村 正和 (大阪がん予防検診センター)

2-1	中学生に対する喫煙防止教育への取り組み(2)	寺尾 敦史 (高知県中央東保健所)
2-2	中学生の喫煙行動とセルフエスティムの関係	山中 明子 (奈良県葛城保健所)
2-3	「子どもに無煙環境を」の啓発事業の12年	宮崎 恭一 (日本禁煙協会)
2-4	大学生の喫煙意識について	山崎 富子 (神戸商科大)
2-5	事業所の喫煙対策に関する調査	西下 重樹 (兵庫県社保健所)

9:50 ~ 10:40 座長 守山 正樹 (福岡大学医学部公衆衛生学)

2-6	病院、保健所における分煙と禁煙指導の実態	里村 一成 (京都市大・医・公衆衛生)
2-7	喫煙者の禁煙意識とその行動心理について	長岡 正 (神奈川県小田原保健福祉事務所)
2-8	禁煙指導のための指導者トレーニングプログラムの開発	中村 正和 (大阪がん予防検診センター)
2-9	唾液中ニコチン濃度と喫煙状況に関する研究 I	尾崎 哲則 (日本大・歯・衛生)
2-10	超低ニコチン収量タバコ喫煙者のニコチン摂取量および喫煙特性	植田 紀美子 (大阪がん予防検診センター)

10:40 ~ 11:30 座長 尾崎 米厚 (国立公衆衛生院疫学部)

2-11	インターネット禁煙相談(第1報)	阿部 眞弓 (東京女子医大・公衛)
2-12	禁煙による医療費削減効果の推定	廣岡 康雄 (NTTデータ)
2-13	動脈硬化予防教室の効果について(第1報)	黒崎 裕子 (新潟市保健所)
2-14	糖尿病患者教育プログラム「みらい」の評価(第2報)	福田 洋 (順天堂大・医・総合診療科)
2-15	中高年女性の血清脂質改善を認めた健康づくり事業の経済効果の比較検討	仲 眞美子 (東京都健康づくり推進センター)

11:30 ~ 12:20 座長 岡山 明 (岩手医科大学衛生学公衆衛生学)

2-16	地域における健康教育評価の標準化に関する研究 その3	猫田 泰敏 (都保健大・看護)
2-17	保健行動予測態度尺度の信頼性および妥当性の検討	松成 裕子 (大分看科大)
2-18	移動ミジムによる健康運動指導	松沢 フサ子 (石川県能登中部保健所)
2-19	水中運動と陸上油圧式サーキット運動による高齢者のトレーニング効果	竹島 伸生 (名古屋市大・自然科学研究教育センター)
2-20	健康づくりーその35ー 運動教室の一考察	北田 有紀子 (大阪市天王寺保健所)

13:30 ~ 14:20 座長 上畑 鉄之丞 (国立公衆衛生院)

2-21	健康づくりにおける休養教室の検討	根本 和枝 (東京都健康づくり推進センター)
2-22	休養指標としての簡易型ストレスチェック表の開発	小川 敬子 (東京都健康づくり推進センター)
2-23	健康教育の重要性について	永嶋 久美子 (川村短大・生活)
2-24	学童期における肥満の判定と健康教育	西田 智美 (京都市左京保健所)
2-25	女子大学生における減量行動の変容段階と減量や摂食障害に関連した心理・行動要因との関連	涌井 佐和子 (東京医大・衛生公衆衛生)

14:20 ~ 15:10 座長 太田 壽城 (国立健康・栄養研究所健康増進部)

2-26	高コレステロール血症者の意識、知識、行動	鈴木 玲子 (大阪府立成人病センター)
2-27	喫煙の有無からみた血圧、血清脂質変化に及ぼす余暇での運動習慣の影響	久島 公夫 (敬和学園大)
2-28	生活習慣病のスクリーニングにおけるBMIの有用性について	片上 祐子 (神戸市保健所)
2-29	地域在宅高齢者の運動やスポーツの実施に対する意識及び運動・スポーツ活動支援策の検討	中 比呂志 (京都教育大)

15:10 ~ 16:00

座長 谷口 邦子 (大分県地域成人病検診センター)

2-31	インターネットを用いた健康増進プログラムの評価	森 克美 (東大院・医学系研究科)
2-32	成人初期の健康状態に関するリスク得点と自己概念	新城 正紀 (沖縄県立看護大)
2-33	大規模集団に対する健康教育介入試験法の開発	南部 征喜 (兵庫県立成人病臨床研究所)
2-34	骨粗鬆症予防に向けた指導者育成教室の開催から	川崎 英弘 (群馬県太田保健福祉事務所)
2-35	大学生・看護学生の死や末期医療に関する意識	田中 愛子 (山口大・医・公衆衛生)

16:00 ~ 17:00

座長 島内 憲夫 (順天堂大学スポーツ健康科学部健康社会学)

2-36	保健行動の変容に関連する保健婦のヘルスプロモーションの唱道プロセス	西嶋 真理子 (広島大院・医学系研究科)
2-37	松江市での健康なまちづくり活動におけるヘルスポランティアとの関わり	吉田 垂由美 (松江市福祉部)
2-38	都市部における地区組織活動への保健婦の取り組みの分析 パート①	木村 球美 (横浜市中区福祉保健サービス課)
2-39	農山村地域における青年期の健康教育への参加意欲に関する調査	金森 雅夫 (浜松医大・公衆衛生)
2-40	子どもと高齢者が共に楽しく暮らせるまちづくり	本間 直子 (島根県頓原町)
2-41	公衆衛生学実習報告のWeb化	坪田 信孝 (広島大・医・公衆衛生)

示 説

第3日 10月22日(金) ビーコンプラザ BF コンベンションホール

9:00 ~ 9:40

座長 山根 洋右 (島根医科大学環境保健医学第Ⅱ)

P2-1	出雲市健康文化都市プロジェクト(25)	斎藤 茂子 (島根県立看護短大)
P2-2	出雲市健康文化都市プロジェクト(31)	神田 和美 (出雲市健康増進課)
P2-3	健康文化都市形成過程に関する研究(その1)	笠井 喜久雄 (千葉県白井町役場)
P2-4	住民との協働による健康づくり	丸山 素子 (板橋区立赤塚健康福祉センター)
P2-5	生涯現役推進進捗評価研究	星 旦二 (東京都立大)
P2-6	在宅地域高齢者の「生き生きとした暮らし」を規定する要因の構造解析	宮北 隆志 (熊本大・医・衛生)
P2-7	高齢者の住環境の実態と住民の意識	森本 美重 (愛媛県宇和町役場)
P2-8	住民との協働による住環境調査への取り組みとその成果	権田 恭子 (愛媛県宇和町役場)

9:40 ~ 10:20

座長 中村 譲治 (福岡予防歯科研究会)

P2-9	地域保健活動を支援するための情報管理及び広域連携システムの構築に関する研究-第2報	市野 浩司 (熊本県八代保健所)
P2-10	介護保険導入に向けた元気老人対策を考える	飯田 佳代子 (大分県日田玖珠保健所)
P2-11	Midori理論に基づく「くまもと21健康づくりのための食生活指針」策定の取り組み	豊田 由里子 (熊本県山鹿保健所)
P2-12	ブリスト・ブロードモデルを用いた地域栄養活動の評価票の検討第1報	田中 久子 (埼玉県北足立福祉保健総合センター)
P2-13	ブリスト・ブロードモデルを用いた地域栄養活動の評価票の検討第2報	薄金 孝子 (神奈川県鎌倉保健福祉事務所)
P2-14	ブリスト・ブロードモデルを用いた地域栄養活動の評価票の検討第3報	押野 榮司 (石川県南加賀保健所)
P2-15	PRECEDE-PROCEEDmodelの演習プログラムの紹介とその評価	堀口 逸子 (福岡予防歯科研究会)
P2-16	日本における PRECEDE-PROCEEDmodel展開の課題とその克服	藤内 修二 (大分県佐伯保健所)

10:20 ~ 11:05

座長 福島 哲仁 (福岡大学医学部公衆衛生学)

P2-17	禁煙に関連する生活習慣	小笹 晃太郎 (京都府立医大・老化研)
P2-18	実験を主体としたシナ-乱用防止教育の効果持続について	篠原 裕治 (福岡県遠賀保健所)
P2-19	女子大学生のニコチン依存度について	林 和夫 (芦屋大)
P2-20	女子短期大学生の喫煙実態	稲川 千夏 (岐阜県伊奈波保健所)
P2-21	喫煙防止教育の評価	三徳 和子 (岐阜県伊奈波保健所)

P2-22	医学生の喫煙状況	淵上 博司	(埼玉医大・公衆衛生)
P2-23	看護学生に対する喫煙防止教育:喫煙防止教育プログラムの改善とその効果	寺山 和幸	(市立名寄短大・看護)
P2-24	医学生に対する三つの禁煙教育の比較検討	勝又 聖夫	(日本医大・衛生公衛)
P2-25	喫煙者のニコチン摂取	中澤 敦子	(京一日赤健診部)

11:05 ~ 11:55

座長 加地 浩 (産業医科大学産業保健管理学)

P2-26	喫煙が口腔に及ぼす影響	清水 央雄	(北海道かもめ歯科)
P2-27	分煙状況の異なる事業所での尿中ニコチン代謝物測定による受動喫煙状況	野上 浩志	(大阪府立公衆衛生研究所)
P2-28	マスメディアを活用した禁煙サポート	松岡 吏納	(兵庫県社保健所)
P2-29	たばこに関する実態調査	厚東 邦明	(山口県長門健康福祉センター)
P2-30	看護婦が行う「禁煙支援外来」の評価	工藤 朝美	(亀田総合病院)
P2-31	特定機能病院における喫煙対策の実態調査	野網 恵	(京都大・医・公衆衛生)
P2-32	がん・循環器専門病院における禁煙教室の取り組み	小山 洋子	(大阪府立成人病センター・調査部)
P2-33	耳鼻咽喉科外来患者における喫煙行動と意識調査	蓮尾 聖子	(大阪府立成人病センター・調査部)
P2-34	医療機関職員の喫煙意識	石川 はじめ	(筑波大・社会医学系)
P2-35	北海道内の医師の喫煙状況	廣田 洋子	(北海道岩見沢保健所)

9:00 ~ 9:40

座長 山崎 利夫 (鹿屋体育大学スポーツ経営管理学)

P2-36	日常生活での歩数増を目標としたウォーキング教室の降圧効果	大西 郁子	(奈良県河合町保健センター)
P2-37	ガスロマトグラフィーを用いた呼気中ヘンタンの簡便な測定法	武田 伸郎	(杏林大・医・衛生)
P2-38	新体力テストに関しての一考察	武藤 三千代	(日本医大・スポーツ科学)
P2-39	ヘム鉄剤による貧血予防に関する研究・第1報	熊江 隆	(国立公衆衛生院・労働衛生)
P2-40	スポーツ選手用健康調査票THIの活用に関する研究・第1報	小川 正行	(群馬大・教育)
P2-41	スポーツ選手用健康調査票THIの活用に関する研究・第2報	福富 博信	(群馬大・教育)
P2-42	スポーツ選手用健康調査票THIの活用に関する研究・第3報	古川 剛久	(群馬大・教育)
P2-43	視機能の測定と評価に関する研究 プロ野球選手の視能力	杉山 裕美	(大阪大・医・保健)

9:40 ~ 10:20

座長 中村 好一 (自治医科大学保健科学)

P2-44	壮年女性の健康意識に関する研究 第1報	楠永 敏恵	(東大院・医・健康社会)
P2-45	壮年女性の健康意識に関する研究 第2報	柳 在貞	(東大院・医・健康社会)
P2-46	高齢者の生活体力維持増進プログラムの開発 第2報	神野 宏司	(明治生命厚生事業団)
P2-47	高齢者の生活体力維持増進プログラムの開発 第3報	江川 賢一	(明治生命厚生事業団)
P2-48	高齢者の健康づくり長期介入研究つるプロジェクト 第10報	北島 義典	(明治生命厚生事業団)
P2-49	中高年婦人の健康管理	松井 知子	(杏林大・医・衛生)
P2-50	高齢者の体力の実態とその判断基準	桜井 礼子	(大分看科大)
P2-51	高齢者の体力評価指標の検討	八代 利香	(大分看科大)

10:20 ~ 11:00

座長 福渡 靖 (山野美容芸術短期大学)

P2-52	体育学部学生の食生活状況調査	横山 公通	(神奈川県立栄養短大)
P2-53	学生の骨密度と生活習慣	荒巻 輝代	(山口大・医・公衆衛生)
P2-54	食事と運動指導による骨密度変化と骨代謝マーカーとの関係	西岡 茂子	(中京女子大・健康・栄養科学)
P2-55	都市住民の主要食品の摂取頻度とBMI、総コレステロール値、尿酸値との関連	名倉 育子	(大阪府立看護大・医技短)
P2-56	女子大学生の体重に対する満足度(体重観)と日常生活	山澤 和子	(東海女子短大)
P2-57	体重制御願望に関する研究(その2)	伊藤 千代子	(三重県立看護大)
P2-58	企業勤務者を対象にした肥満教室の長期的な効果について	守分 志津江	(大阪府立成人病センター)
P2-59	女子大生の冠動脈疾患危険因子と関係する肥満指標の検討	井上 節子	(文教短大・栄養科・生科学)

11:00 ~ 11:40 座長 高島 豊 (杏林大学医学部公衆衛生学)

P2-60	年齢別食物繊維の供給源	後藤 千穂 (名古屋文理短大)
P2-61	幼児における核料理の摂取頻度と食習慣および排便習慣の検討	吉田 隆子 (浜松医大・公衆衛生)
P2-62	幼児の健康管理のための生活条件(Ⅰ)	前橋 明 (倉敷市立短大)
P2-63	保健推進員活動が家族の生活習慣に及ぼす主観的影響とその関連要因	山本 春江 (青森県立保健大)
P2-64	薬剤師と健康教育	串田 一樹 (昭と薬科大)
P2-65	30歳代女性の健康に対する意識とライフスタイルと血清脂質との関連	和泉 比佐子 (札幌大・保健医療・看護)
P2-66	脳血管障害者のHealth Locus of Control に関する研究	大関 浩美 (茨城県立医療大附属病院)
P2-67	脳卒中の知識教育のあり方に関する一考察	辻本 朋美 (大阪大・医・保健)

11:40 ~ 12:20 座長 角田 透 (杏林大学医学部衛生学)

P2-68	大集団を対象とした対話による健康教育の試み	清田 千種 (熊本市中央保健福祉センター)
P2-69	健康力の調査結果からみた今後の健康づくり	廣尾 真貴子 (奈良県御杖村役場)
P2-70	Eコグラムのタイプ別健康教室の効果	斎藤 保子 (とちぎ健康の森管理センター)
P2-71	自主的な運動習慣獲得に向けた健康運動教室の取り組みとライフスタイル変容を阻害する因子の変化	柳川 真美 (福岡市健康づくりセンター)
P2-72	大学生の平日1日、休日1日、平日と休日のスポーツ時等の各歩数と精神的健康度等との関連	三宅 康弘 (香川医大・人間環境医学)
P2-73	健康、運動習慣の確立を目指して(Ⅱ)	水野 敏明 (中日本自動車短大)
P2-74	FKモデルによる地域健康増進の試み	大野 佳子 (鹿児島女子短大・生活科学)
P2-75	女子学生の健康習慣と疲労感	光岡 攝子 (山口大・医・公衆衛生)

13:30 ~ 14:15 座長 吉田 亨 (群馬大学医学部保健学科医療基礎学)

P2-76	健康教育、健康相談事業の実績と老人診療諸指標との関連(第1報)	新庄 文明 (大阪大・医・公衆衛生)
P2-77	中高年者における運動行動変容の段階	岡 浩一朗 (早稲田大・人間科学)
P2-78	地域の健康づくり「ウエルネス短期大学」の活動と成果	矢島 真菜美 (岐阜県金山町役場)
P2-79	三重県内市町村の健康教育の傾向	佐甲 隆 (三重県四日市保健所)
P2-80	地域における健康教育の受講に関連する要因	武田 文 (日本大・医・公衆衛生)
P2-81	気功後のさわやかさの数量化について	佐伯 七三 (京都市山科保健所)
P2-82	対象者が表出した自発的な食事と行動のイメージ・思考変化の分析	守山 正樹 (福岡大・医・公衆衛生)
P2-83	成人男性の健康意識と健康行動、生活習慣との関連	宮内 清子 (愛媛県立医技短大)
P2-84	Health Belief Modelの改訂による有効性の検討	田中 良明 (国立公衆衛生院)

14:15 ~ 15:00 座長 中瀬 克己 (岡山市保健所)

P2-85	日常生活における健康問題を基準とした体力の至適水準および評価基準の設定	稲垣 敦 (大分看科大)
P2-86	共生の時代の新しい健康パラダイムの研究開発 第一報	丸地 信弘 (信州大・医・公衆衛生)
P2-87	共生の時代の新しい健康パラダイムの研究開発 第二報	張 兵 (信州大・医・公衆衛生)
P2-88	共生の時代の新しい健康パラダイムの研究開発 第三報	山本 美由紀 (信州大・医・公衆衛生)
P2-89	男女労働者の飲酒行動とアセトアルデヒド脱水素酵素の遺伝子多型の関連性	孫 芳 (金沢医大・衛生)
P2-90	高校生のエイズに関する意識と講演会の効果の検討	山田 七重 (山梨医大・保健学Ⅱ)
P2-91	高校生のエイズに関する知識について	新階 敏恭 (埼玉県川越保健所)
P2-92	米国中学生を対象としたSafety Awareness Programの開発と評価	橋本 充代 (獨協医大・公衆衛生)
P2-93	高校生の睡眠・生活意欲に関わる要因	中永 征太郎 (ノートルダム清心女子大)

13:30 ~ 14:20 座長 藤内 修二 (大分県佐伯保健所)

P2-94	看護婦の就職前後の飲酒様態の変化について	田中 隆 (大阪市大・医・公衆衛生)
P2-95	障害者通所施設健康づくり支援	新村 順子 (東京都三鷹武蔵野保健所)
P2-96	精神障害者通所施設健康管理体制づくり	藤本 真弓 (東京都三鷹武蔵野保健所)

P2-97	小3生から中3生にかけての女子の休息行動とHLCの変化	吉田 由美	(東邦大・医療短大)
P2-98	メンタルフィットネスの実践 第四報	梁 洋子	(エヌ・シー・メンテイス)
P2-99	リラクゼーション教室前後における不安測定	百武 正嗣	(神奈川県予防医学協会)
P2-100	共感・共有型健康教育手法としてのピアカウンセリング研修受講者の反応から	中島 信恵	(高知県衛生研究所)
P2-101	保健医療従事者自身のこころを整える	上原 たみ子	(ピーニングサポート・マナ)
P2-102	壮年女性の健康意識に関する研究 第3報	高山 智子	(東大院・医・健康社会)
P2-103	高齢者の健康づくりの継続性に関する検討(第1報)	市村 久美子	(茨城県立医療大)

14:20 ~ 15:05

座長 中川 秀昭 (金沢医科大学公衆衛生学)

P2-104	診察室における患者と医師のコミニケートの実際	嘉悦 明彦	(福岡大・医・公衆衛生)
P2-105	学生の医療面接能力の開発について	宗清 正紀	(福岡大・医・内科健康管理学)
P2-106	模擬患者を介した対話型「コミュニケーション学習」	黒岩 かをる	(福岡SP研究会)
P2-107	学習者主体型地域看護学学習の展開(1)	島田 洋子	(徳島県立看護専門学校)
P2-108	学習者主体型地域看護学学習の展開(2)	武田 道子	(徳島県立看護専門学校)
P2-109	保健婦(士)教育機関における教育実習(養護教諭)の現状と課題	井上 奈美	(都立公衆衛生看護専門学校)
P2-110	学生参加・問題解決型産業保健医学教育	福島 哲仁	(福岡大・医・公衆衛生)
P2-111	大学教育に於けるリハビリテーション	木村 哲彦	(日本医大・医療管理)
P2-112	ストレス健康教育用ホームページのプランニングのための予備調査	原野 悟	(日本大・医・公衆衛生)

第3分科会 保健所・衛生行政

口演

第2日 10月21日(木) ビーコンプラザ BF 小会議室2・3

13:30 ~ 14:20 座長 金森 雅夫 (浜松医科大学公衆衛生学)

3-1	保健所の企画調整機能(2)	二宮 一枝 (岡山県公衆衛生看護学校)
3-2	保健所における企画調整部門の現状 第1報	植田 悠紀子 (県立長崎ソールト大)
3-3	保健所における企画調整部門の現状 第2報	山田 和子 (国立公衆衛生院)
3-4	保健所における母子保健活動の展開	福島 富士子 (国立公衆衛生院)
3-5	地域健康診査の効率的実施について	田中 耕 (岐阜県保健環境研究所)

14:20 ~ 15:10 座長 宮崎 元伸 (福岡大学医学部衛生学)

3-6	政令市・特別区における地域保健体制に関する研究	河原 啓二 (姫路市保健所)
3-7	保健所の機能強化と組織	山口 鶴子 (練馬区保健所光が丘保健相談所)
3-8	東京都北多摩南部保健医療圏におけるエイズ地域連携推進事業(第1報)	前田 秀雄 (渋谷区保健所)
3-9	東京都北多摩南部保健医療圏におけるエイズ地域連携推進事業(第2報)	畠山 明美 (東京都府中小金井保健所)
3-10	「におい」を利用した放浪猫の忌避対策の検討	横井 友香里 (名古屋市西保健所)

15:10 ~ 16:00 座長 津村 智恵子 (大阪府立看護大学)

3-11	保健婦の調査・研究の資質向上に関する研究	丸山 美知子 (国立公衆衛生院・公衆看護)
3-12	保健所の機能強化としての研究事業	川村 吉郎 (長野県大町保健所)
3-13	地域保健関係職員研修成果活用のあり方	古山 綾子 (福島県保健福祉部健康増進課)
3-14	行政機関で働く保健婦の継続教育	志賀 たずよ (大分医科大学)
3-15	自治体保健婦と産業看護職の連携システムづくりに関する研究(1)	杉山 静 (東海大・健康科学・看護)

16:00 ~ 16:50 座長 関 龍太郎 (島根県健康福祉部)

3-16	保健所におけるたばこ対策実施状況	谷畑 健生 (国立公衆衛生院・疫学)
3-17	保健婦学生の食生活への関心と予防的保健行動の関連	山口 忍 (順天堂医療短大)
3-18	高血糖者のデータ分析から県保健所の機能を考える	魚里 明子 (兵庫県三原保健所)
3-19	給食サービス事業における保健所の役割を考える	渡邊 傳枝 (広島県三原保健所)
3-20	阪神・淡路大震災の被災地における健康調査	柳瀬 厚子 (兵庫県健康福祉部健康増進課)

示説

第2日 10月21日(木) ビーコンプラザ BF コンベンションホール

10:45 ~ 11:30 座長 畝 博 (福岡大学医学部衛生学)

P3-1	ベンチマーキングによる健康づくりの行政課題解決を考える(第1報)	野呂 千鶴子 (三重県健康福祉部健康対策課)
P3-2	地域保健活動展開方法選択のための場面の類型化	岩永 俊博 (国立公衆衛生院・公衆衛生行政)
P3-3	保健サービスの費用関数と効率性の推定	武村 真治 (国立公衆衛生院・公衆衛生行政)
P3-4	保健所における健康相談の実態	今道 英秋 (自治医大・地域医療)
P3-5	糖尿病地域ケア	加納 紅代 (富山県砺波保健所小矢部支所)
P3-6	行政における新たなエイズ啓発方法創出の試み(第1報)	栗原 昌恵 (群馬県保健福祉部)
P3-7	行政における新たなエイズ啓発方法創出の試み(第2報)	阿部 成司 (群馬県保健福祉部)
P3-8	横浜市神奈川区における災害時の飲み水確保対策	上野 秀紀 (横浜市神奈川保健所)

11:30 ~ 12:10

座長 佐藤 玉枝 (大分県福祉保健部福祉保健課)

P3-10	看護管理者のもつ大学への期待	松下 光子 (岐阜県健康福祉環境部)
P3-11	住民主体の考え方を基礎とした地域看護学実習の取り組み	野中 伸子 (長崎保健看護学校)
P3-12	保健所・保健センターにおける訪問看護実習の意義	片岡 陽子 (帝京平成短大)
P3-13	医学部学生の保健所実習について	竹村 美知子 (大阪市此花保健所)
P3-14	自治体の公衆衛生従事者教育におけるディベート演習導入の評価	曾根 智史 (国立公衆衛生院)
P3-15	保健婦研修会における課題研究導入の評価	桐 時子 (東京都衛生局・医療計画部)
P3-16	効果的な医療監視への一考察	新蔵 隆 (宮崎県都城保健所)
P3-17	集団給食施設自主管理体制の整備事業に伴う意識調査について	國府 雅子 (千葉県木更津保健所)

9:00 ~ 9:45

座長 坂田 清美 (和歌山県立医科大学公衆衛生学)

P3-18	地域での保健と医療・福祉の連携に関する研究(その1)	福永 一郎 (香川医大・人間環境医学)
P3-19	地域での保健と医療・福祉の連携に関する研究(その2)	田所 昌也 (香川医大・人間環境医学)
P3-20	地域での保健と医療・福祉の連携に関する研究(その3)	笠井 新一郎 (香川医大・人間環境医学)
P3-21	地域での保健と医療・福祉の連携に関する研究(その4)	直島 淳太 (香川医大・人間環境医学)
P3-22	地域での保健と医療・福祉の連携に関する研究(その5)	實成 文彦 (香川医大・人間環境医学)
P3-23	地域での保健と医療・福祉の連携に関する研究(その6)	石川 裕治 (香川医大・人間環境医学)
P3-24	地域での保健と医療・福祉の連携に関する研究(その7)	鈴木 啓 (香川医大・人間環境医学)
P3-25	「徘徊老人SOSネットワークシステム」(その1)	門松 真由美 (神奈川県厚木保健福祉事務所)
P3-26	「徘徊老人SOSネットワークシステム」(その2)	岩室 紳也 (神奈川県厚木保健福祉事務所)

9:45 ~ 10:30

座長 神品 実子 (大分県臼杵保健所)

P3-27	保健所の機能強化をめざして	土屋 久幸 (鴻巣保健所)
P3-28	保健所の情報機能強化と職員の資質向上のあり方	新山 徹二 (西条中央保健所)
P3-29	全国市町村の保健情報化の実態	尾島 俊之 (自治医大・公衆衛生)
P3-30	メールを用いた情報発信の試み	田井 欽一 (埼玉県狭山保健所)
P3-31	母子保健における効果的な支援の検討	森岡 圭子 (徳島県池田保健所)
P3-32	「地域づくり型保健活動」による小規模町村等保健活動推進支援事業の取り組み(第2報)	梅田 弥生 (徳島県池田保健所)
P3-33	福祉事務所と連携した保育所巡回指導を実施して	堤 秀子 (大分県佐伯保健所)
P3-34	保健所保健婦による市町村支援活動の特徴と支援の意義	田中 妙 (大分医大・医・看護)
P3-35	母子保健事業からみた市町村に対する保健所の役割	内山 弘子 (福岡県遠賀保健所)

10:30 ~ 11:10

座長 小林 雅與 (栃木県安足健康福祉センター)

P3-36	介護システム整備のための計画行政圏域の策定及び資源再配分に関する研究	大坪 浩一 (国立公衆衛生院・保健統計人口学)
P3-37	保健福祉統合組織の状況報告	中川 昭生 (島根県木次健康福祉センター)
P3-38	高齢者の食生活支援における保健所の役割	柴田 雅子 (大阪府泉大津保健所高石支所)
P3-39	障害者歯科保健医療ネットワーク構築に向けて 第1報	足立 マリ子 (東京都衛生局)
P3-40	障害者歯科保健医療ネットワーク構築に向けて 第2報	山田 善裕 (東京都衛生局)
P3-41	保健と福祉の連携のよりよい方策の探求(第1報)	岡田 尚久 (島根県出雲健康福祉センター)
P3-42	保健と福祉の連携のよりよい方策の探求(第2報)	新田 則之 (島根県松江健康福祉センター)
P3-43	保健と福祉の連携のよりよい方策の探求(第3報)	永岡 秀之 (島根県出雲健康福祉センター)

第4分科会 地域保健・地域医療

口 演

第2日 10月21日(木) ビーコンプラザ 1F 中会議室

9:00 ~ 9:50 座長 多田 學 (島根医科大学環境保健医学第1)

- | | | |
|-----|-------------------------------|---------------------|
| 4-1 | ポイスメールを使用した保健相談システム | 小粥 紀子 (保健同人社) |
| 4-2 | 地域における相談機能強化のための検討 | 市塚 真由美 (石川県能登中部保健所) |
| 4-3 | 在宅健康管理システム導入に伴う高齢者の健康意識・行動の変容 | 真鍋 芳樹 (香川医大・環境保健科学) |
| 4-4 | 郡部住民の暮らしの豊かさに関する研究 | 佐藤 みつ子 (山梨医大・医・看護) |
| 4-5 | 郡部住民の障害者観に関する研究 | 森 千鶴 (山梨医大・医・看護) |

9:50 ~ 10:40 座長 馬場園 明 (九州大学健康科学センター)

- | | | |
|------|--------------------------------|-------------------------|
| 4-6 | 高血圧・消化器疾患の持病をもつ者の心身の自覚症状 | 得津 健太郎 (群馬大・医・公衆衛生) |
| 4-7 | 宮窪町住民の生活習慣の現状、及び、高血圧に関連する要因の検討 | 新盛 史子 (愛媛県今治中央保健所) |
| 4-8 | 加齢による同一個人での食習慣の変容 | 飯野 充代 (大阪府立成人病センター集検1部) |
| 4-9 | 追跡調査による生活習慣状況別の転帰 | 岡村 智教 (大阪府立成人病センター集検1部) |
| 4-10 | 高知市民健康福祉実態調査結果(第1報) | 神崎 明子 (高知市保健所) |

10:40 ~ 11:30 座長 飯田 恭子 (富山県高岡保健所)

- | | | |
|------|-------------------------------|-------------------------|
| 4-11 | 健康に関する基本健診受診者の意識 | 沖 壽子 (佐賀医大・地域保健・老人看護) |
| 4-12 | 行政と医療機関の連携による高血圧管理体制(システム)の効果 | 杉山 朱実 (岐阜県高山保健所) |
| 4-13 | 高血圧要治療者の受療状況と交通アクセスに関する研究 | 高野 真由美 (岐阜県多治見保健所) |
| 4-14 | 国保医療費からみた対策の効果 秋田県井川町における分析 | 佐藤 眞一 (大阪府立成人病センター集検1部) |
| 4-15 | 秋田県井川町における脳卒中予防対策35年の成果 | 飯田 稔 (大阪府立成人病センター集検1部) |

11:30 ~ 12:20 座長 鈴木 一夫 (秋田県立脳血管研究センター)

- | | | |
|------|------------------------------|-------------------------|
| 4-16 | 地域における脳卒中発症者の3次予防に関する研究(その2) | 後藤 順子 (山形県立保健医療短大・看護) |
| 4-17 | 機能訓練事業の効果に関する研究 | 安村 誠司 (山形大・医・公衆衛生) |
| 4-18 | 地域における機能訓練参加者から見た参加効果の特性 | 鷹居 樹八子 (大分医大・地域・老年看護) |
| 4-19 | 大腿骨頸部骨折患者の術後の生活に関する研究 | 大須賀 恵子 (愛知県立看護大・公衆衛生看護) |
| 4-20 | 尿失禁と尿路感染症との関連 | 土屋 紀子 (自治医大・看護短大) |

13:30 ~ 14:20 座長 宮尾 克 (名古屋大学大学院多元数理科学研究科)

- | | | |
|------|--|---------------------|
| 4-21 | 日常生活行動圏からみた高齢者の保健・医療サービス利用の特性 | 角田 厚子 (福島医大・付属看護学校) |
| 4-22 | 町民による健康な町創りを支援して | 小谷 玲子 (大阪府松原保健所) |
| 4-23 | 保健医療福祉の総合的活動が高齢者の死亡前1年間の施設利用にもたらした効果について | 高木 史江 (東大・医・国際地域保健) |
| 4-24 | 小地域健康福祉ネットワークの形成 | 中島 聖子 (松江市川津地区) |
| 4-25 | 保健と福祉の固有性と共通性 | 今井 睦子 (千葉県医技大) |

14:20 ~ 15:10 座長 福島 道子 (日本赤十字看護大学)

- | | | |
|------|----------------------------------|--------------------------|
| 4-26 | 在宅療養者と家族を中心に据えたケア資源活用の方法 | 安田 貴恵子 (長野県看護大・地域看護学) |
| 4-27 | 在宅療養者の最期の場所を自宅に決定する要因 | 木下 由美子 (大分看護大) |
| 4-28 | 在宅サービス利用者の客観的ニーズ評価の関連要因 | 古賀 且子 (福岡県久留米保健所) |
| 4-29 | 24時間ケア開始前後での地域の変化 | 村嶋 幸代 (東大・医・地域看護学) |
| 4-30 | 離島(藍島・馬島)における保健福祉サービス供給支援グループの形成 | 木村 祥子 (北九州市小倉北区保健福祉センター) |

15:10 ~ 16:00		座長 和田 秀隆 (大分市保健所)	
4-31	ケア資源の利用に係わる介護家族と保健婦の意識の比較検討	北山 三津子	(長野県看護大・地域看護学)
4-32	市町村保健婦の訪問指導の実態と評価(第1報)	西村 洋子	(山口県立大・看護)
4-33	市町村保健婦の訪問指導の実態と評価(第2報)	藤村 孝枝	(山口県立大・看護)
4-34	地域保健における保健婦の活動展開方法に関する研究	河原 智江	(厚生省)
4-35	健診データの分析結果を保健婦活動に活かそう	前田 美紀	(明石市立総合福祉センター)

16:00 ~ 16:50		座長 成瀬 優知 (富山医科薬科大学医学部看護学科)	
4-36	現任教育を通して臨床と大学との協働についての一考察	杉山 厚子	(札幌医大・保健医療)
4-37	町村実習付加による保健婦の理解の進展	高屋 順子	(千葉大・看護・地域看護学)
4-38	健診データ分析を取り入れた演習の取り組みについて	高橋 千枝	(岡山県公衆衛生看護学校)
4-39	地域看護実習の実習目標到達度に関する考察	丁野 八重子	(吉備国際大・地域看護学)
4-40	男性参加者を募った公開講座の評価	結城 瑛子	(横浜市立大・看護短大部)

第3日 10月22日(金) ビーコンプラザ 1F 中会議室

9:00 ~ 9:50		座長 寺尾 敦史 (高知県中央東保健所)	
4-41	地域の問題解決に保健所の果たす役割	藤原 里美	(徳島県穴吹保健所)
4-42	保健医療ニーズに対する質的調査としてのフォーカス・グループ・ディスカッション法の有用性	中村 安秀	(東大・医・国際地域保健)
4-43	コミュニティミーティングの成果と課題	金子 仁子	(筑波大・医療技術短大部)
4-44	地域における住民組織の主体性に関するアセスメント指標の検討	坪川 トモ子	(新潟県新津保健所)
4-45	住民参加型の健康づくり推進事業の評価	平原 照代	(行橋市健康づくり推進課)

9:50 ~ 10:40		座長 阪本 州弘 (兵庫医科大学衛生学)	
4-46	災害復興住宅住民の健康と社会活動	松田 宣子	(神戸大・医・保健)
4-47	一地域住民における昨冬のインフルエンザ様疾患罹患状況	吉田 祐子	(東京都老人総合研究所・地域保健)
4-48	離島におけるC型肝炎対策	上田 房代	(兵庫県家島町保健センター)
4-49	大阪市における肝疾患検診について	中尾 昌弘	(大阪市東淀川保健所)
4-50	胃がん検診受診状況、未受診理由、検診発見がんの予後認識に関する調査	川妻 由和	(大阪がん予防検診センター)

10:40 ~ 11:30		座長 青木 伸雄 (浜松医科大学衛生学)	
4-51	「平均移動距離」による地域医療の利便性評価	藤本 真一	(広島女子大・生活科学)
4-52	診療科別の連携ネットワーク及び連携に要する情報	古井 祐司	(三菱総合研究所)
4-53	救急車利用の関連要因	石井 敏弘	(国立公衆衛生院)
4-54	医療計画の推進について	渡部 豪	(徳島県保健福祉政策課)
4-55	都道府県医療計画における第3次医療法改正の行政効果について	奥村 二郎	(厚生省健康政策局指導課)

11:30 ~ 12:20		座長 岸本 拓治 (鳥取大学医学部衛生学)	
4-56	市町村医療費と保健サービスの関連について	工藤 啓	(宮城大)
4-57	健保法改正が市町村の老人医療費に与える影響	濱井 妙子	(静岡県立大・看護)
4-58	高額な医療費に係わるライフスタイル	郡島 久美子	(産業医大)
4-59	健康づくり活動、ライフスタイルと医療費	高岡 典代	(産業医大)
4-60	かかりつけ医師に対する大阪府民の意識	高野 隆	(大阪府医師会調査委員会)

示 説

第2日 10月21日(木) ビーコンプラザ BF コンベンションホール

9:00 ~ 9:40

座長 岩永 俊博 (国立公衆衛生院公衆衛生行政学部)

P4-1	住民主体の地域健康づくりをめざして	藤社 芳美 (静岡県引佐町健康環境課)
P4-2	地域組織活動の活性化と強化に関する研究13	斉藤 進 (日本子ども家庭総合研究所)
P4-3	地域組織活動の活性化と強化に関する研究14	小山 修 (日本子ども家庭総合研究所)
P4-4	住民参加型の地域保健活動への取り組みにあたっての既存資料の分析	岡野 初枝 (岡山大・医・保健)
P4-5	地域住民の総合的健康度評価	樹本 妙子 (京都府立医大・医技短大)
P4-6	天草元気島計画	大倉 香澄 (熊本県天草保健所)
P4-7	天草元気島計画	土井 千穂 (熊本県天草保健所)
P4-8	保健医療分野における住民組織活動の構造モデルに関する一考察	横森 喜久美 (横浜市戸塚保健所)

9:40 ~ 10:15

座長 安達 国良 (大分県竹田保健所)

P4-9	住民参画の町づくり3か年の取り組み	上中 雪子 (広島県世羅西町)
P4-10	住民参加型地域保健活動の取り組みと評価	鈴木 晶子 (東京都村山大和保健所)
P4-11	住民とスタッフの意識の変化を探る	山口 康代 (国立公衆衛生院)
P4-12	生涯現役のまちづくりをめざして(第1報)	口石 愛 (臼杵市役所)
P4-13	上越市健康回復5か年計画-第7報-	宮川 恵美子 (上越市役所)
P4-14	Y県住民における豊かな暮らしに関する検討	渡邊 タミ子 (山梨医大・看護)
P4-15	Y県居住学生における'暮らし'に関する検討	飯島 久美子 (山梨医大・看護)

10:15 ~ 10:50

座長 有澤 孝吉 (長崎大学医学部衛生学)

P4-16	保健活動の課題を生活習慣病リスク分類から考える	吉崎 京子 (奈良県広陵町保健センター)
P4-17	健診未受診者における日常生活習慣	福田 英輝 (大阪大・医・公衆衛生)
P4-18	政府管掌健康保険の成人病健診事業による財政効果に関する研究	神山 吉輝 (昭和大・医・公衆衛生)
P4-19	基本健康診査個別検診受診者の受診動向	岩木 康生 (広島市佐伯保健センター)
P4-20	住民検診からみた生活習慣と健診成績との関連	藤野 善久 (産業医大・臨床疫学)
P4-21	静岡県N町K村における昭和60年健診コホート10年の生命・生活予後(3)	野尻 雅美 (千葉大・看護・保健)
P4-22	基本健康診査後に行う結果説明会への参加の有無と生活習慣	宮城 常子 (摂津市保健センター)

10:50 ~ 11:30

座長 今中 雄一 (亀田総合病院医療システム研究部)

P4-23	総合相談窓口体制の実施状況	田中 久恵 (山梨県立看護大)
P4-24	救命のルーの充実にむけて	森田 哲夫 (兵庫県山崎保健所)
P4-25	救急医療施設の機能とその評価	粕谷 聡 (埼玉県狭山保健所)
P4-26	小児科2次救急医療確保の試み	戸部 勝代 (埼玉県狭山保健所)
P4-27	在宅高齢者の薬剤適正使用	奥野 純子 (筑波大・社会医学)
P4-28	外来患者における服薬コンプライアンス関連要因の検討	辻 聡子 (大阪大・医・保健)
P4-29	山村における民間薬と健康保持法に関する調査	松浦 賢長 (京都教育大・衛生学)
P4-30	スキ花粉の飛散予測について	田中 博子 (滋賀県立衛生環境センター)

11:30 ~ 12:10

座長 稲岡 司 (熊本大学医学部公衆衛生学)

P4-31	地域社会における療育事業の関係機関との連携について(第1報)	鈴木 保弘 (杉並区立子ども発達センター)
P4-32	地域社会における療育事業の関係機関との連携について(第2報)	斎藤 みどり (杉並区立子ども発達センター)
P4-33	大都市近郊母子世帯の保健福祉課題	瀧澤 利行 (茨城大・教育・公衆衛生)
P4-34	個別健診方式による乳幼児健康管理の研究	岩政 琢 (産業医大・医療科学)
P4-35	小児肥満予防のための地域看護的介入に関する基礎的研究	斎藤 好子 (三重大・医・看護)

P4-36	市町村母子保健計画に基づく評価の取り組み	菊地 とも子 (福島県北保健所)
P4-37	地域児童を対象とした交流の試み	大内 隆 (飯田女子短大)
P4-38	祖父母の健康を支える孫の役割に関する研究	助友 裕子 (順天堂大・スポーツ健康科学)

13:30 ~ 14:10 座長 末永 隆次郎 (久留米大学医学部環境衛生学)

P4-39	大阪府泉佐野保健所管内における脳卒中予防対策の展開(第一報)	梅本 愛子 (大阪府泉佐野保健所)
P4-40	大阪府泉佐野保健所管内における脳卒中予防対策の展開(第二報)	野村 早苗 (大阪府泉佐野保健所)
P4-41	自立に向けた支援の一考察	新谷 清樹 (石川県美川町役場)
P4-42	自立支援について考える	土井上 幹 (石川県美川町役場)
P4-43	在宅脳卒中患者のQOLの評価	斎藤 泰一 (北海道江別保健所当別支所)
P4-44	地域在住肢体不自由者のQOLとそれに関連する要因	岩井 浩一 (茨城県立医療大)
P4-45	在宅障害者のために最適なADL評価法の検討	吉川 ひろみ (広島大・医・公衆衛生)
P4-46	身体障害者の障害起因疾患調査	齋藤 千賀 (大田区蒲田保健福祉センター)

14:10 ~ 14:50 座長 小林 春男 (川崎医療福祉大学医療福祉学)

P4-47	地域介護システムの現状	村上 則子 (埼玉県狭山保健所)
P4-48	在宅サービスシステム試行の成果	富士 光恵 (福井県金津保健所)
P4-49	日常生活用具給付事例にみられる生活の変化過程	米増 直美 (岐阜県健康福祉環境部)
P4-50	在宅におけるターミナルケアに関する調査	滝下 幸栄 (京都府医大・医短大部)
P4-51	訪問リハビリテーションサービスにおける医師の指示と実施内容	奥田 昌之 (山口大・医・公衆衛生)
P4-52	山口県大島郡における訪問リハビリテーションの需要推計	東 玲子 (山口大・医・公衆衛生)
P4-53	訪問リハビリテーションに対するケアスタッフの意識変化	金山 正子 (山口大・医・公衆衛生)
P4-54	24時間巡回型民間介護サービスの利用時間に関連する要因	飯島 佐知子 (東大・医・保健経済学)

14:50 ~ 15:30 座長 杉本 正子 (東京都立保健科学大学地域看護学)

P4-55	市町村の寝たきり老人用家庭訪問記録に関する研究	杉山 真澄 (静岡県立厚生保育専門学校)
P4-56	ひとり暮らし高齢者に対する訪問の効果と背景要因	鳩野 洋子 (国立公衆衛生院)
P4-57	在宅高齢者に対する食事・移送ボランティアグループの発展過程	吉本 照子 (千葉大・看護・看護実践センター)
P4-58	在宅高齢者に対する食事・移送ボランティア活動者が活動により得たもの・めざすもの	波川 京子 (大分医大・医・看護)
P4-59	高齢者在宅生活支援事業における配食サービスの有効性について	酒元 誠治 (宮崎県都城保健所)
P4-60	高齢者の身上監護の実態	大井川 裕代 (SPNネットワーク)
P4-61	在宅医療の実態状況	逢坂 文夫 (東海大・医・地域保健学)
P4-62	在宅酸素療法患者の居住環境	武田 謙治 (横浜市大公衛)

15:30 ~ 16:05 座長 中本 稔 (山口大学医学部衛生学)

P4-63	中高年におけるサクセスフルエイジングに向けての準備行動に関する研究(3)	大西 早百合 (京都府立医大・医技短大部)
P4-64	中高年におけるサクセスフルエイジングに向けての準備行動に関する研究(4)	阿部 登茂子 (同志社女子大・生活科学)
P4-65	中高年におけるサクセスフルエイジングに向けての準備行動に関する研究(5)	福間 和美 (京都府立医大・医技短大部)
P4-66	中高年におけるサクセスフルエイジングに向けての準備行動に関する研究(6)	谷垣 静子 (京都市大・医技短大部)
P4-67	住民の保健行動に影響を及ぼす要因(第1報)	織田 初江 (金沢大・医・保健)
P4-68	住民の保健行動に影響を及ぼす要因(第2報)	茅山 加奈江 (石川県南加賀保健所)
P4-69	インターネットを活用した自己健康管理システム「やまだの健康」の利用実態	大野 昌美 (富山医薬大・地域老人看護学)

16:05 ~ 16:35 座長 後藤 朗 (大分県日田玖珠保健所)

P4-70	山谷地域におけるホームレスの生活状況と健康意識	的場 由木 (慶応義塾看護短大)
P4-71	高齢者のヘルスニーズと意識に関連する諸要因の分析	岸田 理恵 (大阪大・医・地域看護学)
P4-72	市町村の3歳児齲蝕の状況と関連要因について	青山 旬 (国立公衆衛生院・疫学)

P4-73	歌登町における地域歯科保健の取り組み(第2報)	小松 久憲 (北海道大・歯・第1保存)
P4-74	市町村別「歯の健康づくり得点」の町民健康づくりへの応用	安藤 彰悟 (山岡町国保診療所歯科)
P4-75	歯科診療所・歯科医師の地域分布とその要因分析	大川 由一 (千葉県立衛生短大)
P4-76	歯科健診時における検査者の疲労について	佐野 祥平 (鶴見大・歯・予防)

第3日 10月22日(金) ビーコンプラザ BF コンベンションホール

13:30 ~ 14:05 座長 佐藤 真一 (大阪府立成人病センター-集団検診1部)

P4-77	保健・福祉サービスとの診療連携に関する検討 その1	武田 則昭 (香川医大・医療管理学)
P4-78	地域保健医療システムの推進に関する研究(1)	神保 会里 (都立保健科学大・看護)
P4-79	地域保健医療システムの推進に関する研究(2)	松本 弘子 (都立保健科学大)
P4-80	地域保健推進に係る調査研究研修の実施について	菊地 芳和 (とちぎ健康の森管理センター)
P4-81	機構改革後に意識化された保健所保健婦(士)の役割	宮崎 美砂子 (千葉大・看護・地域)
P4-82	民間委託方式の在宅福祉サービス利用者の要望と保健婦(士)の役割	山田 洋子 (千葉大・看護・地域)
P4-83	家庭訪問時と前の保健婦の意図による援助の特質	田村 須賀子 (千葉大院・看護学)

14:05 ~ 14:35 座長 島内 節 (東京医科歯科大学医学部保健衛生学科)

P4-84	地域づくりをめざした保健福祉活動の展開	大谷 美佐恵 (岡山県勝英保健所)
P4-85	市町村における新任保健婦の業務遂行上の課題	村山 正子 (愛知県立看護大)
P4-86	地域づくりにおける保健婦の役割	藤原 麻貴 (和泉市役所)
P4-87	C.A.R理論を活用した地区活動演習の評価(1)	仲村 秀子 (聖隷クリストファー看護大)
P4-88	地域住民のニーズに対する総合的支援体制の構築に向けて	清水 洋子 (日赤看護大・地域看護)
P4-89	地域保健・福祉領域における理学療法士・作業療法士の実態調査	永原 久栄 (日本理学療法士協会)

14:35 ~ 15:10 座長 萩原 明人 (九州大学大学院医学研究科医療システム学)

P4-90	保健婦養成課程(1年課程)における教育の質的評価	山路 真佐子 (埼玉医大・短大専攻科)
P4-91	地域看護の授業への実践現場からの参加	佐伯 和子 (札幌医大・保健医療・看護)
P4-92	保健婦学生の訪問実習における在宅サービス導入への援助	松田 祐子 (宮城県総合衛生学院)
P4-93	リハビリテーション専門職専攻学生の進路選択	山田 弘幸 (香川医大・人間環境医学)
P4-94	循環器疾患での死亡についての二次医療圏別の疾病地図の作成	藤田 利治 (国立公衆衛生院・疫学)
P4-95	東京都特別区別直腸がんSMR経年変化及び大腸がんSMRと人口・社会経済因子との関連に関する研究	梶井 康子 (東京家政学院短大)
P4-96	標準化死亡比(ベース推定値)	平子 哲夫 (厚生省統計情報部人口動態統計課)

13:30 ~ 14:05 座長 青木 一雄 (大分医科大学公衆・衛生医学第2)

P4-97	受動喫煙の有無と栄養摂取状況	原 めぐみ (佐賀医大・医・地域保健科学)
P4-98	地域における栄養指導ネットワーク事業(第5報)	谷貝 遊雲子 (茨城県竜ヶ崎保健所)
P4-99	宮崎県県民健康・栄養調査の概要	米良 良子 (宮崎中央保健所)
P4-100	宮崎県における中・高校生の食生活状況調査	興梠 郁子 (宮崎県都城保健所)
P4-101	若年女性の食教育推進事業の取り組み第1報	小松 洋子 (大阪府健康増進課)
P4-102	若年女性の食教育推進事業の取り組み第2報	清水 多實子 (大阪府泉大津保健所)
P4-103	若年女性の食教育推進事業の取り組み第3報	西村 節子 (大阪府貝塚保健所)

14:05 ~ 14:40 座長 大神 貴史 (大分県宇佐高田保健所宇佐保健部)

P4-104	出雲市健康文化都市プロジェクト(33)	石飛 美緒 (出雲市健康増進課)
P4-105	広島市における糖尿病予防対策事業について	石川 直子 (広島市中保健センター)
P4-106	保健所の機能強化	市原 恭子 (大分県臼杵保健所)
P4-107	離島における糖尿病対策の一試み	本田 砂智子 (新潟県村上保健所)
P4-108	保健所の機能強化	森下 昌勅 (大分県臼杵保健所)

P4-109 産業保健と地域保健の連携における保健所の役割

小野 喜代子 (福島県北保健所)

P4-110 大分県における先駆的な地域保健活動の実施状況についての検討

佐藤 玉枝 (大分県福祉保健部福祉保健課)

14:40 ~ 15:10

座長 舟谷 文男 (産業医科大学医療科学)

P4-111 介護保険制度施行に向けた一先機関での取り組み

高木 一男 (岩手県花巻保健所)

P4-112 市区町村における介護保険業務と保健婦(士)の関わりについての実態調査

金川 克子 (東大・医)

P4-113 出雲市健康文化都市プロジェクト(25)

山根 洋右 (島根医大・環境保健医学Ⅱ)

P4-114 介護意識に関する奈良県下2自治体の比較検討

石橋 真理子 (大阪大・医・地域看護学)

P4-115 在宅支援対策の検討

深沢 幸枝 (早川町役場福祉保健課)

P4-116 機能訓練事業全国調査報告

澤 俊二 (茨城県立医療大)

第5分科会 難病・医療福祉

口演

第2日 10月21日(木) ニューライフプラザ 2F 視聴覚室

15:10 ~ 16:00 座長 中里 興文 (大分県三重保健所)

5-1	障害者の社会参加 その1	藤城 有美子 (東邦大・医・公衆衛生)
5-2	障害者の社会参加 その2	平部 正樹 (東邦大・医・公衆衛生)
5-3	ALS医療の現状と課題	濃沼 信夫 (東北大・医・医療管理)
5-4	在宅人工呼吸療法(HMV)ALS患者の現状と人口呼吸療法(MV)への姿勢	澤田 甚一 (大阪難病医療情報センター)
5-5	ALS療養支援からの一考察	木崎 美穂 (大分市保健所)

16:00 ~ 16:50 座長 澤田 甚一 (大阪難病医療情報センター)

5-6	神経線維腫症1(NF1)の定点モニタリングに関する研究	縣 俊彦 (東京慈恵医大・環境保健医学)
5-7	パーキンソン病・全身性エリテマトーデス・潰瘍性大腸炎3疾患の地域主治医必要度に関する比較検討	奥野 聖子 (奈良県郡山保健所)
5-8	特定機能病院を受診する外来患者の保健福祉サービスに対する認知度とその関連要因	当日 雅代 (大阪府立看護大・修士課程)
5-9	老人福祉施設等における高齢者のインフルエンザ対策への新しいアプローチ	出口 安裕 (大阪府福祉部高齢介護室)
5-10	住宅改善実施後の評価	上住 津恵 (三重県伊賀県民局保健福祉部)

示説

第2日 10月21日(木) ビーコンプラザ BF コンベンションホール

9:00 ~ 9:40 座長 山下 剛 (大分県中央保健所)

P5-1	視覚障害者へのインタビュー調査方法の検討	井上 晴豪 (福岡大・医・公衆衛生)
P5-2	通所・入所施設利用の知的障害者の健康状態の現状と課題	建部 久美子 (皇学館大・社会福祉)
P5-3	障害児者の障害発見時期及び診断時期と年齢階級別分析	谷掛 千里 (大阪大・医・公衆衛生)
P5-4	難病患者に対する支援の検討	家元 昌代 (奈良県桜井保健所)
P5-5	在宅神経難病患者のQOLと家族支援の関係	西川 芳子 (京都府向陽保健所)
P5-6	難病患者の実態把握とニーズ調査のまとめ	繁田 節子 (岡山市保健所・保健課)
P5-7	厚生省特定疾患治療研究対象疾患の見直しに関する調査報告	黒沢 美智子 (順天堂大・医・衛生学)
P5-8	介護保険における若年特定疾病者の実態調査	瀧口 俊一 (宮崎県小林保健所)

9:40 ~ 10:20 座長 瀧口 俊一 (宮崎県小林保健所)

P5-9	難病患者の地域ベース・コホート研究	川南 勝彦 (国立公衆衛生院・疫学)
P5-10	難病の情報管理とケアプラン策定システム	高木 美佳 (大阪難病医療情報センター)
P5-11	在宅難病患者のQOLに影響する情報通信状況	赤松 智子 (京都大・医療技術短大部)
P5-12	難病患者介護者の情報通信サービス利用状況	谷垣 静子 (京都大・医療技術短大部)
P5-13	住宅改善におけるシネリストへの動機づけと技術移転の方法	鈴木 晃 (国立公衆衛生院)
P5-14	住宅改造後のフォローアップを視野に入れた施行前アセスメントの提案	牧上 久仁子 (東京都豊島区)
P5-15	住宅改造の効果とプロセス	森下 かおり (合臨第3チーム)
P5-16	フォローアップの意義と可能性	寺田 勇人 (合臨第3チーム)

10:20 ~ 10:55 座長 陶山 昭彦 (鳥取大学医学部衛生学)

P5-17	保健所難病ダイヤを実施して	小澤 真由美 (長野県大町保健所)
-------	---------------	-------------------

P5-18	難病患者「ハートの訪問」の報告	山崎 和美	(大阪府吹田保健所)
P5-19	ALS患者への支援を通して保健所保健婦の役割を考える	松坂 育子	(青森県青森保健所)
P5-20	在宅ケアがQOLに及ぼす効果	栗谷 とし子	(島根県立看護短大)
P5-21	神経難病患者及び関係機関の実態調査	古賀 晴美	(千葉県柏保健所)
P5-22	英国の訪問リハビリテーションに携わる専門職の役割	長野 聖	(大阪大・医・公衆衛生学)
P5-23	脳卒中片麻痺患者へのリハビリテーション刺激が局所脳内血液・酸素動態に与える影響	斉藤 秀之	(筑波大・社会医学系)

10:55 ~ 11:25

座長 車谷 典男 (奈良県立医科大学公衆衛生学)

P5-24	大阪府における肺機能障害者等に対する在宅療養者食生活支援(第1報)	鷺田 ゆり子	(大阪府富田林保健所)
P5-25	大阪府における肺機能障害者等に対する在宅療養者食生活支援(第2報)	大西 智美	(大阪府八尾保健所)
P5-26	小児慢性特定疾患医療意見書を用いた受療行動の解析	渡辺 晃紀	(栃木県健康増進課)
P5-27	神経症状読み込み神経系難病の介護度算定ソフトの開発Ⅱ	小松 仁	(長野県松本保健所)
P5-28	滋賀県内における臓器移植コーディネーターの活動状況について	藪内 尚子	(滋賀県保健衛生協会)
P5-29	臓器移植に関する電話調査	城川 美佳	(東邦大・医・公衆衛生)

第6分科会 成人保健 I (循環器疾患)

口 演

第2日 10月21日(木) ニューライフプラザ 2F 視聴覚室

9:50 ~ 10:40		座長 磯 博康 (筑波大学社会医学系地域医療学)	
6-1	壮年男子の動脈硬化性疾患発症に対する白血球数の影響に関する追跡調査	今野 弘規	(大阪成人病センター集検1部)
6-2	血漿ホモシステイン測定の循環器疾患対策としての意義	森山 ゆり	(高知県衛生研究所)
6-3	男女大学生の食習慣と血清脂質、血清脂肪酸の関連	梅村 詩子	(東京文化短大・栄養学)
6-4	動脈硬化とクラミジア感染との関連について	小池 和子	(茨城県立医療大・医科学センター)
6-5	地域住民男性におけるストレス対処行動と24時間血圧との関連	大平 哲也	(筑波大・社会医学)
10:40 ~ 11:30		座長 小西 正光 (愛媛大学医学部公衆衛生学)	
6-6	腕時計型心拍数記録計の健康管理への応用	渡辺 淳子	(横浜市大・医・公衆衛生学)
6-7	中年期における体重および体脂肪増加が血圧および糖質・脂質代謝に及ぼす影響	柴田 清	(名古屋市立大・医・公衆衛生学)
6-8	大洲市コホート調査 第4報	近藤 弘一	(愛媛大・医・公衆衛生学)
6-9	一地域における糖尿病の既往と、脳梗塞、脳出血、くも膜下出血、心筋梗塞のリスクの関係	菊地 正悟	(順天堂大・医・衛生学)
6-10	都市と農村における10年間の身体活動状況の変化に関する疫学研究	内藤 義彦	(大阪府立成人病センター)
11:30 ~ 12:20		座長 鏡森 定信 (富山県医科薬科大学保健医学)	
6-11	高血圧者の生活習慣とその関連要因	川崎 道子	(県立沖繩看護学校)
6-12	脳卒中死亡高率町における高血圧管理について	井上 玲子	(岐阜県大垣保健所)
6-13	大洲保健所管内の脳卒中の状況	富田 直明	(愛媛県大洲保健所)
6-14	秋田県井川町における脳卒中発生状況の推移	山海 知子	(筑波大・社会医学)
6-15	都市近郊住民における脳卒中発症状況と病型の検討	中川 裕子	(大阪成人病センター集検1部)
13:30 ~ 14:20		座長 飯田 稔 (大阪府立成人病センター集団検診1部)	
6-16	秋田県井川町での血圧値、血清総コレステロール値の分布の変化と循環器疾患発症率の推移に関する定量的解析	磯 博康	(筑波大・社会医学)
6-17	心筋梗塞発症者における危険因子集積度別の相対危険度	馬場 俊六	(国立循環器病センター集検部)
6-18	地域住民における虚血性心疾患発症の動向	北村 明彦	(大阪成人病センター集検1部)
6-19	地域における循環器疾患対策の評価	岡田 克俊	(愛媛大・医・公衆衛生学)
6-20	循環器検診への頸部エコー検査の導入について	宇野 充子	(大阪府立成人病センター)
14:20 ~ 15:10		座長 川村 孝 (京都大学保健管理センター)	
6-21	急性心筋梗塞患者の発症危険因子と関連付けた生活習慣に対する認識	笹井 靖子	(大阪大院・医・保健)
6-22	茨城県38市町村における基本健康診査の成績と生命予後との関連	入江 ふじこ	(茨城県保健福祉部)
6-23	循環器疾患予防を目的とした地域における組織的な展開(13)	横田 紀美子	(茨城県協和町)
6-24	循環器疾患予防を目的とした地域における組織的な展開(14)	今井 久美子	(茨城県協和町)
6-25	循環器疾患予防を目的とした地域における栄養改善運動の展開	稲川 三枝子	(茨城県協和町)

第3日 10月22日(金)

ビーコンプラザ BF コンベンションホール

9:00 ~ 9:40		座長 内藤 義彦 (大阪府立成人病センター集団検診1部)	
P6-1	MTHFR遺伝子多型と尿酸の関連	左 明	(神戸大・医・公衆衛生)
P6-2	ゲラジエトゲル電気泳動によるHDL亜分画の簡便分析法	西池 珠子	(兵庫医大・衛生学)
P6-3	緑茶と冠動脈硬化	笹月 静	(九州大院・医・予防医学)
P6-4	茶生産地住民の健康状態と生活習慣の関連性	岩崎 祐子	(静岡県総合健康センター)
P6-5	パーソナリティと白衣効果との関連	寶澤 篤	(東北大・医・公衆衛生)
P6-6	超音波を用いた肥満指標	都築 佳枝	(名大・医・公衆衛生)
P6-7	血圧と血漿leptin濃度との関連性についての検討	長瀬 博文	(金沢大・医・公衆衛生学)
P6-8	免疫能と動脈硬化との関連について	寶 貴旺	(愛媛大・医・公衆衛生学)

9:40 ~ 10:20		座長 児玉 和紀 (広島大学医学部保健学科)	
P6-9	男子大学生におけるライフスタイルと動脈硬化性疾患危険因子の変化に関するコホート調査	小林 敏生	(福島県立医大・医・衛生学)
P6-10	急性冠症候群患者の攻撃性	松島 由美子	(神戸女学院大・人間科学)
P6-11	シミュレーションモデルを用いた脳卒中発症の経年変化について	鈴木 一夫	(秋田県立脳血管研究センター)
P6-12	静岡県N町K村における昭和60年健診コホート10年の生命・生活予後(4)	島田 陽子	(千葉大・医・公衆衛生)
P6-13	中年と老年における心筋梗塞の危険因子	三宅 吉博	(九州大院・医・予防医学)
P6-14	家庭血圧の脳卒中発症予測能	大久保 孝義	(東北大・医・公衆衛生)
P6-15	肥満度の変化及び生活習慣の動脈硬化危険因子への影響	松本 まり	(横浜市衛生局地域保健課)
P6-16	主要冠危険因子保有数と頸部動脈硬化促進との強い関連性	万波 俊文	(国立循環器病センター・集団検診部)

10:20 ~ 11:00		座長 馬場 俊六 (国立循環器病センター集団検診部)	
P6-17	当センターにおける疾病予防を目的とする運動のための活動体力の指標	鈴木 清美	(藤沢市保健医療センター)
P6-18	身体活動量と血清脂質との関連	片根 由美子	(茨城県健康科学センター)
P6-19	脳卒中登録事業と老人入院医療との関連について	村上 茂樹	(大阪大・医・公衆衛生)
P6-20	わが国における高血圧治療の現況と医療費	坂巻 弘之	(国際医療福祉大・総合研)
P6-21	中高年男性の高血圧症既往と生活習慣	西山 悦子	(新潟大・医短・看護)
P6-22	経年的にみた血圧と脈拍数に関する検討	三河 一夫	(大阪大・医・公衆衛生)
P6-23	血圧低下教育プログラムによる地域における介入研究-第1報	長谷川 和美	(小矢部市健康福祉課)
P6-24	血圧低下教育プログラムによる地域における介入研究-第2報	城 美幸	(田辺市健康増進課)

第7分科会 成人保健Ⅱ(悪性新生物)

口演

第3日 10月22日(金) ビーコンプラザ 3F 小会議室31

13:30 ~ 14:20 座長 西住 昌裕 (佐賀医科大学地域保健科学)

7-1	無回答者の有無が既往歴とがんの家族歴の再現性に及ぼす影響	朱 善寛 (名古屋大・医・公衆衛生)
7-2	種類別飲酒量と日本人の主要な癌死亡との関係	横山 和仁 (東大・医・公衆衛生学)
7-3	乳がん検診における超音波法と視触診法の評価調査	高岡 道雄 (兵庫県和田山保健所)
7-4	大腸がん検診偽陰性例の検討	吉井 由利 (名古屋市港保健所)
7-5	PG法陽性者の精密検査受診行動	大井 洋 (足立区衛生部)

14:20 ~ 15:10 座長 秋葉 澄伯 (鹿児島大学医学部公衆衛生学)

7-6	基本健康診査受診者の予後調査による胃がん危険因子の検討	田辺 直仁 (新潟大・医・公衆衛生学)
7-7	胃癌SMRの異なる2地域におけるヘリコバクテリウム感染率、及びヘリコバクテリウム感染に影響を及ぼす因子	青木 一雄 (大分医大・公衆衛生医学Ⅱ)
7-8	胃がん、乳がんの長期生存率の動向	味木 和喜子 (大阪成人病センター調査部)
7-9	胃がんに続発する第2がんの発生頻度とその要因	木下 典子 (大阪成人病センター調査部)
7-10	がんの化学予防に用いられる抗酸化剤の安全性評価	川西 正祐 (三重大・医・衛生学)

示説

第3日 10月22日(金) ビーコンプラザ BF コンベンションホール

11:10 ~ 11:40 座長 古野 純典 (九州大学大学院医学研究科予防医学)

P7-1	飲酒と肝癌の関連に及ぼすアルコール代謝関連酵素の影響	柴田 彰 (久留米大・医・公衆衛生)
P7-2	国民健康保険の悪性新生物年齢調整入院点数とがん検診受診率との関連	後藤 朗 (大分県日田玖珠保健所)
P7-3	石川県地域がん登録事業について	新 広昭 (石川県保健環境センター)
P7-4	石川県における検診発見がん患者の生存率とその関連要因	森河 裕子 (金沢医大・公衆衛生)
P7-5	肝臓癌検診後のフォローにおける課題	藤井 秀樹 (島根県米子保健所根雨支所)
P7-6	名古屋市の老人保健法による胃がん検診の推移について	勝田 信行 (名古屋市西保健所)

11:40 ~ 12:05 座長 菊地 正悟 (順天堂大医学部衛生学)

P7-7	受診間隔からみた子宮頸がん検診成績(第2報)	若井 静子 (新潟県成人病予防協会)
P7-8	扁平上皮癌の血清学的簡易診断(YM抗体)法について	松木 秀明 (東海大・医技短大)
P7-9	症例対照研究の手法を用いた肺がん検診の有効性評価	中山 富雄 (大阪成人病センター調査部)
P7-10	大阪府における男性乳がんの記述疫学像	但馬 直子 (大阪成人病センター調査部)
P7-11	患者ボランティア(ミルクウェイの会)による乳癌術後の下着の工夫	野本 親男 (埼玉県川口保健所)

第8分科会 成人保健Ⅲ(その他の成人病)

口演

第3日 10月22日(金) ビーコンプラザ 3F 小会議室31

9:00 ~ 9:50 座長 吉澤 浩司 (広島大学公医学部衛生学)

8-1	地域における糖尿病対策の新たな保健・医療・福祉システム構築に関する調査研究事業(第1報)	岸本 拓治	(鳥取大・医・衛生学)
8-2	糖尿病の発症に及ぼすインスリン抵抗性の影響に関するHOMA-IRを用いた検討	富永 真琴	(山形大・医・臨床検査医学)
8-3	農村地区住民を対象とした糖負荷試験とセル栄養状態(GPx活性)との関連	小山 洋	(群馬大・医・保健・地域看護)
8-4	市原市基本健康診査における糖尿病2次検診の実態	井上 雄元	(市原市医師会)
8-5	コーヒー飲用と血清GGT値	本荘 哲	(防衛医大・公衆衛生学)

9:50 ~ 10:40 座長 橋本 勉 (和歌山県立医科大学公衆衛生学)

8-6	小・中・高校女生徒の骨密度調査(超音波法)について	斉藤 健司	(秋田県横手保健所)
8-7	大学生の骨密度に関連する要因	吉村 典子	(和歌山医大・公衆衛生)
8-8	地域中高年女性における5年間の骨密度変動についての研究	鈴木 隆雄	(東京都老人総合研究所・疫学)
8-9	骨粗鬆症による椎体骨折と変形性脊椎症が日常生活動作能力に及ぼす影響	吉田 英世	(東京都老人総合研究所・疫学)
8-10	8020達成者の骨密度と口腔内状況との関係	中山 佳美	(北海道北見保健所)

10:40 ~ 11:30 座長 山縣 然太郎 (山梨医科大学保健学Ⅱ)

8-11	異なる測定法の精度の比較 CVは適当ではない	伊木 雅之	(近畿大・医・公衆衛生)
8-12	低酸化還元電位ミネラル摂取による血中尿酸値の変化について	佐藤 稔	(東京家政学院短大)
8-13	人間ドックにおける便潜血検査と問診票との関係	長村 甚彌	(大阪府職員診療所)
8-14	PTAに対する骨量検査結果についての一考察	真鍋 幸子	(大阪市東淀川保健所)
8-15	腰椎と前腕骨の骨密度検診結果の比較	西田 隆司	(鹿児島県民総合保健センター)

11:30 ~ 12:20 座長 藤代 一也 (産業医科大学産業医実務研修センター)

8-16	自覚症状のない集団における緑内障の有病率	吉田 正雄	(杏林大・医・公衆衛生学)
8-17	成人知的障害者の通所作業施設での定期健康診断結果について	寺西 新	(杉並保健所)
8-18	「障害」者健診のアンケートをどう生かすか	上柳 より子	(大阪府大東市健康増進課)
8-19	保健所における福祉用具・住宅改造相談事業を実施して	新谷 アサ子	(能登北部保健所)
8-20	在宅脳卒中片麻痺者の生活満足度	飛松 好子	(東北大院・医・障害科学)

示説

第2日 10月21日(木) ビーコンプラザ BF コンベンションホール

13:30 ~ 14:15 座長 坪田 信孝 (広島大学医学部公衆衛生学)

P8-1	農村地区における生活習慣病Correspondence Analysisから	前原 正法	(宮崎医大・公衆衛生学)
P8-2	糖代謝指標の経年変化規定要因	庄野 菜穂子	(佐賀医大・医・地域保健科学)
P8-3	地域における糖尿病スクリーニング受診者の予後	斉藤 功	(大分医大・公衆衛生医学第1)
P8-4	経年観察による糖尿病の危険因子の検討	三笠 雅昭	(大阪市保健衛生検査所)
P8-5	糖尿病及び境界域の健診受診者の生活習慣に関する考察	加古 真紀	(姫路市西保健所)
P8-6	β_3 -adrenergic receptor遺伝子多型(Trp64Arg)と生活習慣要因との関連性をふまえた糖尿病・耐糖能異常に関するコホート研究	岡田 浩文	(鳥取大・医・衛生学)

P8-7	5年間の肥満度変化と健診データの変化との関連	近藤 高明	(名古屋大・医・公衆衛生)
P8-8	中年男性「固太り」群の検討	鳥居 順子	(愛媛県立医技短大)
P8-9	受刑者の在監中の肥満度の変化	鈴木 英子	(埼玉医大・公衆衛生学)

14:15 ~ 14:50

座長 加須屋 実 (富山医科薬科大学医学部公衆衛生学)

P8-10	中高年婦人の健康管理	田村 ひろみ	(杏林大・医・衛生学)
P8-11	都市住民の健康診査結果からみた高血圧と家族歴の関連	菊川 縫子	(大阪大・医・公衆衛生)
P8-12	宮崎県における都市機能別栄養調査	田上 敬子	(宮崎県小林保健所)
P8-13	生活習慣病患者のライフスタイルと行動変容	大本 久美子	(徳島県鴨島保健所)
P8-14	勤労女性における骨密度と生活習慣、体力指標	吉村 絹代	(川崎市保健衛生事業団)
P8-15	中高生の骨密度に影響を及ぼす因子	北川 郁美	(名古屋聖霊短大)
P8-16	高校生の骨密度と関連する要因について	井手 宏明	(香川医大・人間環境医学)

14:50 ~ 15:35

座長 工藤 修二 (大分県中津保健所)

P8-17	性・年代別にみた自分自身の健康についての意識	羽生田 護	(埼玉県立大)
P8-18	頭部MRIにおける前頭葉白質のpixel intensity(PI)値と脳容量の関連についての検討	武隈 清	(長寿医療研究センター疫学研究部)
P8-19	発表中止		
P8-20	東京都多摩地区における女性の鉄欠乏の状況について	磯貝 スエ子	(東京都衛生研究所多摩支所)
P8-21	食事の脂肪酸バランスの検討(その3)	仲野 裕美	(夙川学院短大・食物栄養)
P8-22	肝機能障害での胆石症合併について(第2報)	増井 秀久	(兵庫医大・公衆衛生)
P8-23	札幌市における慢性肝臓疾患の10年間のすう勢	浜島 泉	(札幌市厚別区保健福祉部)
P8-24	酵素活性測定の実験間差は正GOT・GPT・CK・ALP・GGT	増本 喜美子	(佐賀中部保健所)
P8-25	中高年男性の喫煙	窪山 泉	(東京都多摩小平保健所)

第9分科会 母子保健・学校保健

口演

第2日 10月21日(木) ビーコンプラザ BF 小会議室2・3

9:00 ~ 9:50 座長 加藤 則子 (国立公衆衛生院母子保健学部)

9-1	首都圏一般人口における児童虐待の調査	徳永 雅子 (子どもの虐待防止センター)
9-2	知的障害児を持つ保護者のストレスへの支援	河村 瑞穂 (富山県立総合衛生学院)
9-3	思春期女子の骨の健康づくり事業	吉富 幸江 (佐賀県伊万里保健所)
9-4	低出生体重児出産の背景(母親の特徴)	藤原 裕美子 (福岡市西保健所)
9-5	母乳中のダイオキシン類濃度 1998年度東京都調査結果	中村 好一 (自治医大・保健科学)

9:50 ~ 10:40 座長 足達 淑子 (博多区高齢保健福祉課)

9-6	アトピー性皮膚炎の有病率と関連因子の解析	田中 良知 (横浜市大・医・皮膚科)
9-7	母子保健事業評価事業	森 美佐緒 (広島県東広島福祉保健センター)
9-8	産後の母親の心の健康支援 第1報	鈴宮 寛子 (福岡市博多保健所)
9-9	妊婦の骨密度および胎児発育との関連	米山 京子 (奈良教育大・家政教育)
9-10	父親の子育て参加の現状	吉田 与志子 (岡山市保健所)

10:40 ~ 11:30 座長 小橋 元 (北海道大学大学院医学研究科公衆衛生学)

9-11	東京都におけるSIDS(乳幼児突然死症候群)に関するアンケート調査について	前川 あゆみ (東京都衛生局)
9-12	小・中学生のライフスタイル・ストレスと健康に係わる予防医学的研究(第3報)	福田 早苗 (阪大院・環境医学)
9-13	幼児期における食生活実態調査について	鈴木 静香 (秋田県能代保健所)
9-14	前腕骨における末梢骨用QCTによる骨密度とDXAによる骨密度との関係について	松倉 知晴 (富山県厚生部医務課)
9-15	妊婦から育児期間までの母親の感情状態変化に関する縦断的検討	田辺 恵子 (高知医大・看護)

11:30 ~ 12:20 座長 高石 昌弘 (大妻女子大学人間生活科学研究所)

9-16	東京都における母子保健事業評価システムの紹介	原田 美江子 (東京都母子保健サービスセンター)
9-17	保健所における「こころのホームドクター」支援事業報告	梶 美恵子 (石川県石川中央保健所)
9-18	小学生における食生活・運動習慣と抑うつとの関連	溝上 美代子 (佐賀中部保健所)
9-19	産後1ヶ月前後の母親に対する家庭訪問の効果と意義の検討	都筑 千景 (東大・医・地域看護)
9-20	妊娠届時における面接・相談	保元 明子 (大東市健康増進課)

第3日 10月22日(金) ビーコンプラザ BF 小会議室2・3

9:00 ~ 9:50 座長 福田 吉治 (東京医科歯科大学医学部公衆衛生学)

9-21	児童虐待における保健所の役割	利根川 美智恵 (兵庫県高砂保健所)
9-22	学齢期の小児慢性特定疾患患児における日常生活上の問題と対処方法の実態	水野 貴美子 (愛知県師勝保健所)
9-23	高校生の脛骨皮質骨超音波伝播速度に及ぼす過去の活動性の影響	金子 善博 (東京医歯大・医・公衆衛生学)
9-24	学童期の生活習慣と肥満との関連	杉井 真由美 (福井県丹南保健所鯖江保健部)
9-25	アレルギーに関する情報・知識のキャス状況の実態に関する研究	市場 尚文 (岡山市保健所)

9:50 ~ 10:40 座長 的場 恒孝 (久留米大学医学部環境衛生学)

9-26	ホランティアによるアレルギー予防活動の取り組み	森下 早苗 (岡山県勝央地域保健福祉センター)
9-27	生殖補助医療技術に対する国民の意識	山縣 然太郎 (山梨医大・保健学Ⅱ)

9-28	在宅高度医療児への保健所保健婦の関わり	中西 眞弓 (大阪府保健婦長会)
9-29	母子保健活動充実のための子育て実態調査	島田 美樹子 (熊本市保健所)
9-30	学童におけるアレルギー疾患の実態調査	志村 正子 (鹿屋体育大・健康教育)

10:40 ~ 11:30

座長 村田 勝敬 (帝京大学医学部衛生学公衆衛生学)

9-31	乳児院において多発したアデノウイルス7型感染症の検討	今田 義夫 (日赤医療センター小児科)
9-32	母乳中ダイオキシン類の地域差の異性体パターンによる比較	小田 清一 (厚生省児童家庭局母子保健課)
9-33	国の環境基準レベル以下の二地域の学童児における喘息有病率	佐藤 一博 (福井医大・環境保健学)
9-34	20歳以下における踵骨音響的骨評価装置AOS-100の使用経験	岩崎 哲也 (弘前大・医・公衆衛生学)
9-35	育児支援によるアピ-対策の一考察	津久井 里美 (群馬県太田保健福祉事務所)

11:30 ~ 12:20

座長 和田 安彦 (秋田大学医学部衛生学)

9-36	地域ぐるみの育児サークル支援	臼木 千帆 (北九州市八幡西区役所)
9-37	中・高校生の性意識、性行動の実態調査から	澤田 文江 (岡山市保健所)
9-38	生殖補助医療技術に対する国民の意識と性別役割との関連	北島 智子 (厚生省児童家庭局母子保健課)
9-39	小児期からの生活習慣病予防健診の現状と栄養摂取状況(第7報)	林 辰美 (中村学園大・食物栄養)
9-40	小学校普通学級・特殊学級に在学する障害児の現状と養護教諭の役割	四條 美由紀 (山梨医大・医・看護)

示 説

第2日 10月21日(木) ビーコンプラザ BF コンベンションホール

11:25 ~ 11:50

座長 長瀬 博文 (金沢大学医学部公衆衛生学)

P9-1	若い世代からの骨粗鬆症予防	納富 博子 (佐世保市保健所健康づくり課)
P9-2	虐待への取り組みを考える	山田 昌美 (名古屋市名東保健所)
P9-3	児童虐待における保健所の役割	窪田 和子 (千葉市保健所)
P9-4	被虐待児の援助と予防に関する研究	三輪 眞知子 (静岡県立大・短大部)
P9-5	母子保健の推進と虐待予防	藤尾 静枝 (練馬区石神井保健所)

11:50 ~ 12:20

座長 北田 実男 (大阪府立成人病センター-集団検診1部)

P9-6	児童・生徒(中学校)とその保護者の生活習慣等に関する相互調査法結果 その2	戸谷 誠二 (香川医大・医療管理学)
P9-7	南会津地域の飲酒意識調査とその対策事業について	湯田 友子 (福島県南会津保健所)
P9-8	児童の自覚症状に対する家庭内喫煙の影響	由良 晶子 (近畿大・医・公衆衛生学)
P9-9	たばこ広告の媒体別にみた動向に関する研究	尾崎 米厚 (国立公衆衛生院・疫学)
P9-10	大学1年生の健康行動と健康学習の経験	浅川 和美 (山梨大院)
P9-11	小中学生のライフスタイルと血清脂質及び血圧との関係についての検討	譚 鳳珠 (鳥取大・医・衛生学)

13:30 ~ 14:10

座長 牛島 廣治 (東京大学大学院医学系研究科発達医科学)

P9-12	日本における人工妊娠中絶の現状	後藤 あや (山形大・医・公衆衛生学)
P9-13	乳幼児の発達と環境因子との検討2	中山 美由紀 (東大院・医・国際保健)
P9-14	ハイリスク母子支援に関する保健婦活動の試み	田中 倫代 (鹿児島県鹿屋保健所)
P9-15	NICU退院児のフォローアップ	永井 晶子 (杏林大・保健・母子保健学)
P9-16	働く女性の育児における精神的問題点の検討	小林 正子 (国立公衆衛生院・母子保健)
P9-17	産後の母親の心の健康支援 -第2報-	立石 繁美 (福岡市博多保健所)
P9-18	産後の母親の心の健康支援 -第3報-	田中 恵子 (福岡市博多保健所)
P9-19	既婚教師における育児の協力意識と子育てに関する意識調査	塩崎 智章 (京都教育大・衛生学)

14:10 ~ 14:55

座長 後藤 俊夫 (大分市保健所)

P9-20	出雲市健康文化都市プロジェクト(27)	伊藤 智子 (国際医療福祉総合学院)
P9-21	三歳児健診を受診した子どもに見られる問題と父母の育児、家族機能の評価	和田 紀子 (京都府宮津保健所)
P9-22	1~2歳児を持つ父親の育児参加への意識と育児行動に関する研究	五十嵐 久人 (山梨医大・地域・老人看護学)
P9-23	育児グループ参加者の子育てにおける夫の育児参加	山口 三重子 (川崎医療福祉大)
P9-24	親のニーズからみた育児支援活動	細川 律子 (大阪府大東市健康増進課)
P9-25	出雲市健康文化都市プロジェクト(28)	梶谷 泰子 (出雲市健康増進課)
P9-26	出雲市健康文化都市プロジェクト(29)	高井 美紀子 (島根県立看護短大)
P9-27	大阪市西区における子育て支援の取り組みについて	山森 晶子 (大阪市西保健所)
P9-28	おやこクラブのもつ育児支援機能についての質的調査	作野 祐子 (岡山市保健所)

14:55 ~ 15:40

座長 小林 美智子 (県立長崎シールドホルト大学看護栄養学部)

P9-29	母親教室受講者の食生活について	太田 美穂 (名古屋市の中川保健所)
P9-30	多周波数インピーダンス法による大学生の身体組成の評価	山本 貴志子 (広島大院・医学)
P9-31	女子短大生の体格及び体格意識に関する研究	小松田 万里 (飯能市保健センター)
P9-32	大学学生相談室における性に対する関心と活動の現状	新郷 歩 (国立公衆衛生院・専門課程)
P9-33	看護大学で養成する養護教諭への期待	石井 康子 (岐阜県健康福祉環境部)
P9-34	小児のアレルギー疾患の実態・コース	石山 直子 (東京都衛生局)
P9-35	アトピー性皮膚炎の子どもをもつ母親の育児不安に関する研究(第2報)	金井 智子 (神奈川県立衛生短大)
P9-36	アトピー性皮膚炎の子どもをもつ母親の育児不安に関する研究(第3報)	落合 賀津子 (神奈川県立衛生短大)
P9-37	児童の健康とその保持増進に関する研究	有田 宏子 (宇部短大)

15:40 ~ 16:25

座長 佐藤 加代子 (国立公衆衛生院母子保健学部)

P9-38	思春期児童の骨密度と運動関連指標	山上 孝司 (北陸予防医学協会)
P9-39	小学校低学年児の脛骨皮質超音波伝播速度と子どもの生活習慣	平山 倫子 (東京医歯大・医・公衆衛生学)
P9-40	学童の生活状況が肺機能に及ぼす影響	仁田 善雄 (千葉大・医・公衆衛生学)
P9-41	小学校4年生における総コレステロール値と生活習慣の関連	大橋 道子 (神奈川県逗子市役所)
P9-42	小学2年生を対象としたコホート研究からみた肥満者における食生活および生活スタイルの特徴	岡本 幹三 (鳥取大・医・衛生学)
P9-43	小児肥満と両親の体格	関根 道和 (富山医薬大・保健医学)
P9-44	管内小中学校の肥満傾向分析	池田 典子 (千葉県茂原保健所)
P9-45	小児期からの生活習慣病の予防	北田 実男 (大阪府立成人病センター集検1部)
P9-46	高校生の生活習慣に関する意識調査	野村 美千江 (愛媛県立医療技術短大)

13:30 ~ 14:05

座長 早川 和生 (大阪大学大学院医学系研究科保健学科)

P9-47	石川県における妊産婦の健康管理実態調査	古保 志保 (石川県厚生部健康推進課)
P9-48	大阪府の乳幼児死亡(その1)	佐藤 拓代 (大阪府富田林保健所)
P9-49	大阪府の乳幼児死亡(その2)	毛受 矩子 (大阪府吹田保健所)
P9-50	小学校における朝食摂取状況と不定愁訴に関する検討 その2	川田 久美 (香川医大・医療管理学)
P9-51	「キレル」と言われる中学生の実態	守 彰一郎 (富津市役所)
P9-52	保健所における学校域精神保健に関する検討(その3)	星川 洋一 (香川県丸亀保健所)
P9-53	周産期における医療事故被害者のPTSD	石井 トク (岩手県立大・看護)

14:05 ~ 14:45

座長 別所 遊子 (福井医科大学医学部看護学科)

P9-54	肥満度判定のための小・中学生の標準身長体重曲線	大木元 繁 (徳島県徳島保健所)
P9-55	北海道・東北の幼児は大柄である	金子 俊 (文教大・栄養学)
P9-56	摂食機能を含む身体機能の発達-第2報	佐藤 豊 (明海大・歯・口腔衛生学)
P9-57	低出生体重児増加の背景因子	神宮 純江 (福岡市西保健所)

P9-58	乳児集団健診受診後の育児自信に関連する要因	炭谷 靖子	(高岡市医師会訪問看護ステーション)
P9-59	最近10年間の乳幼児期の事故について	内山 有子	(杏林大・保健・母子保健学)
P9-60	チャイルドシート着用推進に向けた取り組み	矢崎 よし哉	(山梨県塩山市保健課)
P9-61	子どもの事故防止プログラムの開発	石井 博子	(国立公衆衛生院・母子保健)

14:45 ~ 15:30

座長 前田 泰久 (大分県宇佐高田保健所高田保健部)

P9-62	子育て支援関係機関と共に取り組んだ母子保健ニーズ調査	後藤 牧子	(熊本市中央保健福祉センター)
P9-63	津久井町母子保健計画(その5)	水越 久美子	(神奈川県津久井町)
P9-64	津久井町母子保健計画(その6)	伊原 真弓	(神奈川県津久井町)
P9-65	佐伯保健所管内の地域療育の取り組みについて	藤沢 さとみ	(大分県佐伯保健所)
P9-66	地域の母子保健調査10年の歩み	根津 直美	(山梨県塩山市保健課)
P9-67	福井県における学校保健と地域保健の連携のあり方を考える	斎藤 博子	(福井県福井保健所)
P9-68	子育てを支える保健所の役割を考える 第2報	越智 みゆき	(大阪市住吉保健所)
P9-69	保健所からみた母子保健事業の市町村移譲	野網 祥代	(京都大・医・公衆衛生)
P9-70	広域的・効率的を中心とする母子保健モデル	花井 恵美子	(三重県熊野保健所)

15:30 ~ 16:05

座長 宮川 幸昭 (長野県木曾保健所)

P9-71	ツ反・BCG接種技術向上対策	遠藤 晋介	(佐世保市保健所健康づくり課)
P9-72	効果的な新生児等訪問の一考察	谷本 文代	(広島市東保健センター)
P9-73	乳幼児事故情報収集・発信システムについて	菅原 由香里	(石川県能登中部保健所)
P9-74	富山県衛生研究所における染色体分析の現状と最近の問題①	林 美貴子	(富山県衛生研究所)
P9-75	富山県衛生研究所における染色体分析の現状と最近の問題②	本田 幸子	(富山県衛生研究所)
P9-76	多胎児家庭へのフォーマルサポートのあり方	伊藤 直子	(西南女学院大)
P9-77	双胎第2子が死産の場合の第1子の早期新生児死亡に関する検討	加藤 則子	(国立公衆衛生院・母子保健)

16:05 ~ 16:30

座長 小林 臻 (東京大学大学院医学系研究科発達医科学)

P9-78	沐浴技術修得における評価方法の検討	二村 良子	(三重県立看護短大)
P9-79	高校生の健康レベルおよび関連因子に関する研究	大野ゆう子	(大阪大・医・保健)
P9-80	高校生における心身健康レベルの妥当性検討	浦野 友子	(大阪大・医・保健)
P9-81	中学生・高校生の裸眼視力にかかわる遺伝要因・生物学的要因の解析	大木 秀一	(山梨医大・保健学Ⅱ)
P9-82	高校生における学年、進路別にみた健康とライフスタイルの特性	村田 加奈子	(大阪大・医・保健)

第10分科会 老人保健

口 演

第2日 10月21日(木) ビーコンプラザ 3F 小会議室31

9:00 ~ 9:50		座長 丸地 信弘 (信州大学医学部公衆衛生学)	
10-1	住民の健康づくり対策の諸問題 第三報	三ツ矢 隆重 (三重大・教育・学校保健)	
10-2	基本健康診査受診者の眼疾病の実態と対処方法	山岸 春江 (山梨医大・看護・地域老人看護)	
10-3	農村高齢者の健康管理に対するセルフエフィカシー、ソーシャルサポートの追跡調査	横川 吉晴 (信州大・医・衛生学)	
10-4	寒冷地域の高齢女性の保健福祉とセルフケア行動に関する研究	大藪 七重 (福島県立医大・看護)	
10-5	寝たきり老人ゼロ作戦支援事業による訪問指導の現状	後閑 容子 (群馬県立医療短大)	
9:50 ~ 10:40		座長 豊嶋 英明 (名古屋大学大学院医学系研究科公衆衛生学)	
10-6	高齢者の安静時心拍数を変化させる身体活動量閾値	木村 朗 (社会医学技術学院)	
10-7	高齢期における至適血清総コレステロールレベル	渡辺 修一郎 (東京都老人総合研究所)	
10-8	病棟におけるFIM得点と介助時間実測値の検討	山本 隆一 (藤田保健衛生大七葉サナトリウム・内科)	
10-9	高齢者の栄養評価に関する一調査	西明 眞理 (県立長崎シボルト大)	
10-10	中高年女性の冬季ビタミンD代謝物(25-hydroxyvitamin D)	中村 和利 (新潟大・医・衛生学)	
10:40 ~ 11:30		座長 武田 則昭 (香川医科大学医療管理学)	
10-11	老人の介護内容と医療費の関連研究(その6)	山路 雄彦 (群馬大・医・保健)	
10-12	身体活動度と同居居の関連	甲斐 一郎 (東大・医・健康科学)	
10-13	Katzによる日常生活動作(ADL)測定尺度の3段階加算点数化の有用性	田宮 菜奈子 (南大和老人保健施設)	
10-14	在宅要介護高齢者のADLによる生きがいと保健福祉サービスの利用状況	阿曾 洋子 (大阪大・医・保健)	
10-15	大都市における在宅高齢者のADLの実態とADL阻害例の経年的変化	佐々木 夏枝 (東京医歯大・難治研・社会医学)	
11:30 ~ 12:20		座長 田島 和雄 (愛知県がんセンター研究所疫学部)	
10-16	高齢者の心身の自覚的健康度と健康習慣との関連性	牛島 一成 (西九州大)	
10-17	長寿地域における在宅高齢者のライフスタイルと健康	芳賀 博 (東北文化学園大・医療福祉)	
10-18	高齢者のライフスタイルとQuality of Life(第1報)	垂水 公男 (産業医大・実務研修センター)	
10-19	高齢者のライフスタイルとQuality of Life(第2報)	一色 百合子 (大阪大院・医・環境医学)	
10-20	高齢者のライフスタイルとQuality of Life(第3報)	江副 智子 (大阪大院・医・環境医学)	
13:30 ~ 14:20		座長 中西 範幸 (大阪大学大学院医学系研究科公衆衛生学)	
10-21	老人大学参加者の生きがいの実態	林 裕栄 (埼玉県立大・短大部・看護)	
10-22	地域高齢者における活動的余命の延長に向けた目標体力水準の設定	新開 省二 (東京都老人総合研究所)	
10-23	地域在宅高齢者の老化遅延をめざした介入研究	熊谷 修 (東京都老人総合研究所)	
10-24	要介護高齢者出現頻度に所得水準が与える影響の研究	近藤 克則 (日本福祉大・社会福祉)	
10-25	高齢者の転倒と視機能に関する調査(2)	新野 直明 (長寿医療研究センター・疫学)	
14:20 ~ 15:10		座長 柴田 博 (東京都老人総合研究所社会福祉部門)	
10-26	在宅要介護高齢者の虐待に関する研究(その3)	上田 照子 (関西医大・公衆衛生学)	
10-27	企業健保における高齢被扶養者への訪問指導調査結果と在宅介護の今後の課題	吉井 珠代 (大阪城南女子短大)	
10-28	在宅介護者の安らぎ	近藤 裕子 (香川医大・医・看護)	
10-29	訪問看護ステーションの利用期間と本人の生活状態および介護者の変化	八幡 裕一郎 (長崎大・医・公衆衛生学)	

15:10 ~ 16:00

座長 山岸 春江 (山梨医科大学医学部看護学科)

10-31	佐倉市における訪問機能訓練の現況と今後の課題	西村 仁雅 (千葉県佐倉市健康管理課)
10-32	佐田町ヘルシータウンプロジェクト(6)	塩飽 邦憲 (島根医大・環境保健Ⅱ)
10-33	老人性痴呆の予防対策事業	津田 早百合 (群馬県渋川保健福祉事務所)
10-34	「マニュアル」を活用した継続看護 第1報	上原 ます子 (大阪府立看護大)
10-35	「マニュアル」を活用した継続看護 第2報	中村 裕美子 (川崎医療福祉大)

16:00 ~ 16:50

座長 吉本 照子 (千葉大学看護学部付属看護実践研究指導センター)

10-36	特別養護老人ホームにおける痴呆の発症と死亡に関する検討	森田 明美 (近畿大・医・公衆衛生学)
10-37	在宅要介護老人の施設入所要因研究と調査対象の特性	藤野 達也 (淑徳大)
10-38	Y県内の老人保健施設の現状(第1報)	太田 真里子 (山梨医大・看護)
10-39	Y県内の老人保健施設の現状(第2報)	山崎 洋子 (山梨医大・看護)
10-40	要介護高齢者の全身状態および口腔内状態と咽頭細菌数との関係	石川 昭 (浜松市健康増進課)

示 説

第3日 10月22日(金) ビーコンプラザ BF コンベンションホール

10:45 ~ 11:25

座長 波川 京子 (大分医科大学医学部看護学科地域・老人看護学)

P10-1	女子短大生の介護保険制度に対する認識	松鶴 甲枝 (聖マリア学院短大)
P10-2	リハビリテーション専門職の公的介護保険に対する意識	小嶋 裕 (高知リハビリテーション学院・理学療法)
P10-3	介護保険下の行政の保健婦(訪問看護指導)の役割	尾崎 真美 (豊島区保健福祉センター)
P10-4	出雲市健康文化都市プロジェクト(26)	金築 真志 (出雲市)
P10-5	介護保険体制整備に関する研究	安齋 ひとみ (福島県立医大・看護)
P10-6	高齢者の在宅サービス利用に関連する因子の検討	延原 弘章 (岡山県立大・保健福祉)
P10-7	訪問リハビリテーションにおけるQOLの評価	大西 律子 (山口県柳井環境保健所)
P10-8	訪問リハビリテーションによって自立度、要介護度は変化するか	小野原 利子 (山口県柳井環境保健所)

11:25 ~ 12:00

座長 野尻 雅美 (千葉大学看護学部地域看護学)

P10-9	在宅サービスを利用する介護者の特性と介護負担感	北園 明江 (岡山県立大・保健福祉)
P10-10	2次元マップによる自己介護イメージの認識深化とその変化	柴田 和典 (福岡大・医・公衆衛生学)
P10-11	在宅療養高齢者家族の肯定的介護体験の関連要因	佐々木 明子 (埼玉県立大)
P10-12	家族介護者の介護の継続意向の要因に関する検討	國崎 ちはる (東大・医・地域看護)
P10-13	脳卒中意識調査に基づく高齢者における生活習慣の意識と実際	三浦 早苗 (大阪大院・医学)
P10-14	山間部高齢者の生活習慣	森岡 聖次 (和歌山県湯浅保健所)
P10-15	70歳健康老人の生活習慣と地域特性との関連について	北池 正 (千葉大・看護・保健)

9:00 ~ 9:45

座長 長田 久雄 (東京都立保健科学大学保健科学部)

P10-16	超高齢化地域の高齢者のADL、QOLとその関連要因	池辺 淑子 (大分医大・公衆衛生1)
P10-17	高齢者の生活自立度からみた地域づくり	宮川 美智子 (大田村住民課)
P10-18	後期高齢者の身体活動量とADL及び健康度との関係	中村 和彦 (山梨大)
P10-19	高齢者の基本動作能力を評価する機能的動作尺度の作成	臼田 滋 (群馬大・医・保健)
P10-20	超高齢地域と若年型地域の高齢者の日常生活活動能力と認知障害状態の検討	山田 嘉明 (宮城大・看護)
P10-21	地域在宅高齢者において抑うつ状態が日常生活機能に及ぼす長期的影響	渡辺 文真 (大阪医大・衛生・公衆衛生)

P10-22	お達者度に関連する因子の分析	洲濱 扶弥	(広島大・医・保健)
P10-23	地域高齢者の生活満足度の変化とその関連要因	蔡 淑娟	(琉球大・医・保健・保健社会)
P10-24	高齢者のクオリティ・オブ・ライフとソーシャル・サポートの検討	星野 和実	(三重県立看護大)

9:45 ~ 10:25

座長 錦戸 典子 (聖路加看護大学地域看護学)

P10-25	「つどいの場」参加者のエンパワメントと支える住民のネットワークづくり(第1報)	有馬 和代	(大阪市感染症対策室予防課)
P10-26	「つどいの場」参加者のエンパワメントと支える住民のネットワークづくり(第2報)	藤田 真実	(大阪大・医・地域看護)
P10-27	地域高齢者にとっての「集まり」の現状と意味	本田 垂起子	(東大院・医・地域看護)
P10-28	健康づくり事業に参加する高齢者の体力・食生活・活動の特徴	岡山 寧子	(京都府立医大・医技短)
P10-29	寝たきり発症予防をめざした高齢期の健康づくり事業の取り組み-第1報-	吉田 朝美	(五色町健康福祉総合センター)
P10-30	竜王町における高齢者寝たきり零作戦	松永 絹子	(竜王町役場保健課)
P10-31	老人保健事業の効果に関する研究	川辺 伊公子	(三重県上野保健所)
P10-32	老人保健事業におけるがん検診の有用性について一考察	小幡 満重	(大分県玖珠町役場)

10:25 ~ 11:10

座長 星 旦二 (東京都立大学都市研究所)

P10-33	在宅要介護高齢者の日常生活状況と精神的健康に及ぼす要因(Ⅰ)	藤田 峯子	(京都府立医大・医療短大)
P10-34	在宅要介護高齢者のインフォーマル・サポートに及ぼす要因(Ⅱ)	上野 範子	(京都府立医大・医療短大)
P10-35	新規に作成した高齢者用ソーシャルサポート尺度の妥当性等の検証ならびに交流頻度との関係	原田 さおり	(琉球大・医・保健・保健社会学)
P10-36	高齢者のソーシャル・サポート尺度の作成	柳澤 理子	(三重県立看護大)
P10-37	単独世帯及び高齢者世帯の高齢者における社会的支援と日常生活活動能力、うつ状態との関連	斉藤 恵美子	(東大・医・地域看護学)
P10-38	全国市町村による高齢者の社会活動支援事業の実施状況	高橋 美保子	(埼玉医大・公衆衛生学)
P10-39	寒冷地域における在宅脳卒中後遺症者の行動量と行動リズムの季節変動	前田 明	(秋田大・医・公衆衛生学)
P10-40	漁村部高齢者の抑うつ症状と地域保健の課題	福澤 陽一郎	(島根県立看護短大)
P10-41	高齢者虐待の生活環境要因についての研究	小野 ミツ	(佐賀医大・医・看護)

13:30 ~ 14:15

座長 村嶋 幸代 (東京大学大学院医学系研究科健康科学・看護学)

P10-42	24時間在宅介護サービスの質的評価に関する研究	湯浅 孝男	(秋田大・医・公衆衛生学)
P10-43	老人保健事業における寝たきり訪問指導の有効性に関する事例対照研究	中林 美奈子	(富山医薬大・地域老人看護学)
P10-44	訪問看護ステーションによる訪問及び老人保健法に基づく訪問に関する意識調査	中山 文子	(茨城県水海道保健所)
P10-45	ニーズ及びサービス利用の有無とケアマネジメントの質との関連	岡本 玲子	(神戸大・医・保健・地域看護学)
P10-46	石川市在宅要援護高齢者のケアニーズとサービス活用の現状	古謝 安子	(琉球大・医・地域看護)
P10-47	自立度判定基準によるランク・Aの在宅高齢者の自立度変化とその関連要因の検討	蘭牟田 洋美	(山形大・医・公衆衛生学)
P10-48	通所事業に関する一考察	村井 千賀	(石川県リハビリテーションセンター)
P10-49	住居環境の整備にかかわる看護の役割について	森 仁実	(訪問看護ステーション和光)
P10-50	阪神淡路大震災から被害を受けた地区の高層集合住宅に居住する高齢者を対象とした健康調査	齋藤 太	(京都教育大)

14:15 ~ 15:00

座長 芳原 達也 (山口大学医学部公衆衛生学)

P10-51	成人双生児を対象とした知的老化度と痴呆に関与する健康指標の研究	加藤 憲司	(大阪大・医・保健)
P10-52	地域における痴呆予防活動とその評価(第2報)	天野 宏紀	(島根医大・環境保健医学1)
P10-53	痴呆発症に関わるリスクの早期把握について(第一報)	清水 絵里子	(新潟県上越保健所)
P10-54	千葉市における痴呆性高齢者支援に関する調査研究(第1報)	瀧口 起美代	(千葉市保健所)
P10-55	千葉市における痴呆性高齢者支援に関する調査研究(第2報)	古屋 晴子	(千葉市保健所)
P10-56	千葉市における痴呆性高齢者支援に関する調査研究(第3報)	中野 正孝	(三重大・医・看護)
P10-57	痴呆性高齢者グループホームの地域ケアサポートシステム(2)	永田 久美子	(東京都老人総合研究所)

P10-58 在宅痴呆性高齢者の地域ケア活動の成果の評価

花山 邦子 (福井県奥越保健所)

P10-59 在宅痴呆性老人の死因に関する解析(第3報)

長沢 澄雄 (福井医大・環境保健学)

13:30 ~ 14:05

座長 中田 まゆみ (北里大学看護学部地域看護系)

P10-60 施設高齢者の生きがい感とQOLとの関連について

山下 昭美 (大阪市立大・医・公衆衛生)

P10-61 施設高齢者におけるQOLについて

近藤 亨子 (大阪市立大・医・公衆衛生)

P10-62 老人保健施設入所者の退所に関する特徴

仁科 昌久 (大阪大・医・公衆衛生)

P10-63 老健施設入所者の追跡調査による家庭復帰の実態について

渡辺 美鈴 (大阪医大・衛生・公衆衛生)

P10-64 特別養護老人ホーム・老人保健施設入所者の車いす利用に際しての問題点の現状

東野 定律 (国立医療・病院管理研究所)

P10-65 高齢者向けサービス付集合住宅の居住環境と居住者の精神健康

右田 玲子 (筑波大・社会医学)

P10-66 高齢者と子どもとの継続的世代間交流活動にみられる特養入居者への影響

緒方 泰子 (東大・医・保健経済)

14:05 ~ 14:40

座長 井原 一成 (東邦大学医学部公衆衛生学)

P10-67 高齢者の暑熱適応における体温調節とR-R間隔変動のモデル化の試み

高橋 美加 (国立公衆衛生院)

P10-68 在宅介護者の続柄からみた身体活動量

渡部 月子 (神奈川県立衛生短大)

P10-69 高齢者に適用できる体力診断バッテリーテスト

木村 みさか (京都府立医大・医技短)

P10-70 高齢者の血中脂肪酸組成に関連する要因について(第2報)

瀬古 知永子 (昭和大・医・衛生学)

P10-71 地域高齢者のヘモグロビンA1c値と知的能動性(3)

天野 秀紀 (都老人総合研究所・情報科学)

P10-72 高齢者の味覚識別能と日常生活習慣

吉川 洋子 (島根県立看護短大)

P10-73 高齢者の摂食・嚥下障害スクリーニングのための簡易質問票の開発に関する研究

本橋 豊 (秋田大・医・公衆衛生学)

14:40 ~ 15:10

座長 渡辺 能行 (京都府立医科大学付属脳・血管系老化研究センター)

P10-74 地域在住高齢者における転倒調査の方法論的検討

藤本 弘一郎 (愛媛大・医・公衆衛生学)

P10-75 地域高齢者の生活体力に関する縦断的研究

永松 俊哉 (明治生命厚生事業団)

P10-76 地域高齢者の家族形態と生命予後、活動的余命について

本間 善之 (富山医薬大・保健医学)

P10-77 寄与率からみた医療費増の背景

山下 真宏 (兵庫県立看護大)

P10-78 衛生統計の分析の基づいた高齢者ケアシステムの日豪比較

小林 理恵子 (長野県看護大)

P10-79 高齢者の循環器系疾患とがん死亡者の生存率曲線による要因の疫学的検討

阪本 尚正 (兵庫医大・衛生学)

第11分科会 精神保健

口 演

第3日 10月22日(金) ビーコンプラザ 3F 国際会議室

9:00 ~ 9:50

座長 影山 隆之 (大分県立看護科学大学精神看護学)

11-1	保健所での家族支援活動報告	吉田 知可 (大分県中央保健所)
11-2	職親・就労支援体制に関する調査結果	熊越 祐子 (滋賀県立精神保健総合センター)
11-3	精神保健職業リハビリテーション制度利用者調査結果	佐藤 美由紀 (滋賀県立精神保健総合センター)
11-4	精神障害者を地域で支えるネットワークづくりと保健所の役割	鎌田 久美子 (福岡県八女保健所)
11-5	精神保健福祉業務における保健所の役割(第3報)	大谷 真理子 (兵庫県明石保健所)

9:50 ~ 10:40

座長 東保 みづ枝 (大分県精神保健福祉センター)

11-6	精神障害者の社会参加に関する症例対照研究	櫻井 裕子 (栃木県県西健康福祉センター)
11-7	精神障害者及び支援者の「生活と活動の場」に関するニーズ調査	加来 理香 (大分県宇佐高田保健所)
11-8	在宅精神障害者の支援体制づくり	加藤 恵子 (愛知県知多保健所)
11-9	在宅精神障害者の生活支援ネットワークづくりを旨として	平田 敦子 (岡山県倉敷保健所)
11-10	精神障害者の地域生活を支援するために	山根 幸子 (慈恵病院)

10:40 ~ 11:30

座長 藤林 武史 (佐賀県精神保健福祉センター)

11-11	精神障害者ホームヘルプモデル事業の評価に関する研究	眞崎 直子 (福岡県精神保健福祉センター)
11-12	地域における在宅介護者に対するストレスマネジメントプログラムの効果	水野 恵理子 (東京医歯大・保健計画・管理学)
11-13	住民と共に進めるメンタルヘルス	江口 昌克 (東京都豊島区池袋保健所)
11-14	日韓メンタルヘルス懇話会からの学び 第2報 その16	山城 久典 (東邦医短大)
11-15	長期入院の慢性精神分裂病患者に対するMMPI-2有用性の再検討	新開 淑子 (旭川医大・看護)

11:30 ~ 12:20

座長 三野 善央 (岡山大学医学部衛生学)

11-16	育児能力に障害をもつ精神保健事例のまとめ(第2報)	田中 秀子 (大阪府藤井寺保健所)
11-17	公的機関における児童・思春期精神保健の取り組み	大場 清隆 (北九州市立精神保健福祉センター)
11-18	シナ等薬物乱用予防教室(中学校)の取り組み	大友 みゆき (北九州市立精神保健福祉センター)
11-19	AC自助グループに対する精神保健福祉センターの関わり	片平 久美 (宮崎県精神保健福祉センター)
11-20	心理的ストレス負荷をおこす医療環境による患者の心理的变化	高柳 和江 (日本医大・医療管理学)

示 説

第2日 10月21日(木) ビーコンプラザ BF コンベンションホール

9:00 ~ 9:30

座長 小野 妙子 (大分県精神保健福祉センター)

P11-1	精神保健ボランティア講座終了後の取り組みについて	宇都宮 仁美 (大分県佐伯保健所)
P11-2	老人精神保健相談実務担当者会議13年間の経過と展望	今村 イヨエ (兵庫県西宮保健所)
P11-3	痴呆性老人の支援チェック票のシステム化に関する検討	渡邊 美佐江 (福井県福井保健所)
P11-4	地域保健と学校保健の連携による思春期相談の動向調査結果	持田 真理子 (福井県福井保健所)
P11-5	思春期～青年期にかけてひきこもる若者の家族教室を実施して	瀧 恵子 (静岡県東部健康福祉センター)
P11-6	保育所ガス爆発事故後の幼児・母親に対する心のケア	大見 広規 (北海道江別保健所)

9:30 ~ 10:10

座長 高橋 滋 (群馬県精神保健福祉センター)

P11-7	精神障害者のケアによる社会復帰の現状	小野 妙子	(大分県精神保健福祉センター)
P11-8	精神障害者グループホームにおける生活援助の現状と課題	丸山 由香	(東京大・医・健康社会)
P11-9	精神障害者へのホームヘルプサービス推進に向けての保健所の役割	青陰 純子	(愛媛県大洲保健所)
P11-10	精神保健福祉分野における保健所の役割について考える	寺添 千恵子	(三重県四日市保健福祉部)
P11-11	精神保健 健康増進事業 ヘルスアップ教室	蒲田 廣子	(大阪府豊中保健所)
P11-12	東京都内における精神障害者のセルフヘルプ・グループの実態	守田 孝恵	(国立公衆衛生院)
P11-13	受療中の精神障害者に対する電話相談について	高橋 滋	(群馬県精神保健福祉センター)
P11-14	精神分裂病患者の再入院の要因に関する研究	鈴木 友理子	(山形大・医・公衛)

10:10 ~ 10:45

座長 夏目 誠 (大阪府立こころの健康総合センター)

P11-15	企業従業員の心理社会ストレスに関する調査(第2報)	三浦 康司	(エヌ・シー・メンテイス)
P11-16	職場のメンタルヘルスの取り組み	永田 耕司	(長崎大・医・公衆衛生)
P11-17	従業員の精神障害による受診状況	河島 美枝子	(大分看科大)
P11-18	都市部および山間部における中高年者のうつ病の頻度	川上 憲人	(岐阜大・医・公衆衛生)
P11-19	日本人成人男女における周期性四肢運動障害様症状、restless leg様症状、睡眠時頻尿の有症率	影山 隆之	(大分看科大)
P11-20	原爆被爆による精神的影響に関する調査	本田 純久	(長崎大・医・原研)
P11-21	震災ストレスによる包括的健康影響評価に関する予防医学的研究(第19報)	丸山 総一郎	(大阪大院・医・環境医学)

第12分科会 歯科保健

口演

第3日 10月22日(金) ビーコンプラザ 3F 国際会議室

13:30 ~ 14:20 座長 田中 一秀 (大分県歯科医師会)

12-1	小学生のフッ化物配合歯磨剤使用への関連要因について	佐々木 健 (北海道室蘭保健所)
12-2	家庭内フッ素洗口推進の取り組み	長島 聡美 (神奈川県平塚保健所)
12-3	歯牙喪失と空腹時血糖値との関連について	曾山 善之 (金沢医大・公衛)
12-4	口腔・食事の問題の有無と心身状況・療養状況との関連	飯田 恭子 (名古屋市中保健所)
12-5	地域高齢者の咀嚼機能と生活習慣との関連性	三浦 宏子 (東大院・医・国際保健計画)

14:20 ~ 15:10 座長 新庄 文明 (大阪大学大学院医学系研究科公衆衛生学)

12-6	施設入所者の歯科保健・医療ニーズについての実態調査	浅野 英一 (大分県歯科医師会)
12-7	山県郡(岐阜県)の在宅療養者の口腔保健に関する実態調査結果	土田 治 (岐阜県歯科医師会)
12-8	在宅高齢者への訪問歯科診療における訪問看護ステーションの役割に関する研究	吉河 靖 (日本大・医・医療管理学)
12-9	要介護女性高齢者の口腔ケア・ケアに関する地域潜在能力に関する一検討	岩瀬 哲也 (香川医大・医療管理学)
12-10	心身障害児(者)の口腔保健のあり方を考える	大内田 由香 (福岡県久留米保健所)

示説

第2日 10月21日(木) ビーコンプラザ BF コンベンションホール

13:30 ~ 14:20 座長 尾崎 哲則 (日本大学歯学部衛生学)

P12-1	乳児を対象とした歯科保健事業の在り方に関する研究	加藤 佐知子 (豊中市立保健センター)
P12-2	「8020」を目指す むし歯ゼロの町づくり(第1報)	守友 靖子 (石川県田鶴浜町)
P12-3	城山町保健計画(その17)	池田 幸代 (城山町保健福祉センター)
P12-4	問題追求表現型 学校歯科保健活動について	臼本 鏡子 (大阪府歯科衛生士会)
P12-5	富士宮市における住民の歯科保健行動の変容	中川 礼以子 (富士宮市保健センター)
P12-6	枚方市における成人歯科保健事業について(第2報)	大野 榮 (枚方市歯科医師会)
P12-7	歯周疾患検診結果と基本健康診査結果との関連	橋本 壽美 (神戸市保健福祉局保健所)
P12-8	鹿児島県における成人歯科疾患実態調査について	日野 陽一 (鹿児島大・歯・予防歯科学)
P12-9	宮之城保健所管内の8020運動の方向について	中原 厚子 (鹿児島県宮之城保健所)
P12-10	宇佐市の歯科保健について	竹尾 広子 (大分県宇佐市保険予防課)

14:20 ~ 15:05 座長 今西 秀明 (大阪府保健衛生部)

P12-11	1歳6か月児ならびに2歳児における保健行動と3歳児のう蝕発生について	永井 裕子 (三重県志摩町保健センター)
P12-12	幼児の咀嚼発達教室を通じた歯科保健活動の体制づくり	粟井 由美子 (岡山県勝央保健福祉センター)
P12-13	幼児期からのむし歯予防習慣の確立に向けて	金治 有紀 (兵庫県竜野保健所)
P12-14	「親子で歯の健康教室」における歯科保健教育の試み	續 美佐子 (福岡市健康づくりセンター)
P12-15	成長期の咬合に影響する身体要因の検討	原 修一 (筑波大・社会医学)
P12-16	視聴覚(ビデオ)教育媒体を用いた学童の虫歯等の認識に関する検討その3	合田 恵子 (香川医大・人間環境医学)
P12-17	11歳児の咬合機能・身体組成変化	鷲野 嘉映 (岐阜大・医・衛生学)
P12-18	高校生のう蝕有病状況と生活習慣	小澤 亨司 (朝日大・歯・社会口腔保健学)
P12-19	大学生の顎の痛み	宮村 季浩 (山梨大・保健管理センター)

15:05 ~ 15:50

座長 小泉 信雄 (群馬県高崎保健福祉事務所安中支所)

P12-20	宮崎県抜歯の原因調査について	森木 大輔	(宮崎県保健薬務課)
P12-21	中高年者における歯周病と糖尿病との関連について	多田 章夫	(千葉市保健所)
P12-22	基本健康診査結果と口腔内状況との関連について	河本 幸子	(岡山市保健所保健課)
P12-23	集団歯科健康診査と歯科保健意識の変容について	水谷 博幸	(北海道医療大・歯・口腔衛生)
P12-24	職域歯科保健の参加状況と歯科医療費との関係	市橋 透	(ライオン歯科衛生研究所)
P12-25	特別養護老人ホームにおける介護職員の口腔ケアに対する認識調査	谷口 敏代	(岡山県立大・短大部)
P12-26	要介護女性高齢者における生活および口腔諸機能に関する検討	江草 正彦	(岡山大・歯・特殊歯科治療部)
P12-27	要介護女性高齢者における口腔清掃等の関連ケア状況	森 貴幸	(岡山大・歯・特殊歯科治療部)
P12-28	要介護女性高齢者における口腔歯科保健・衛生状況	梶原 京子	(岡山大・歯・特殊歯科治療部)

第13分科会 感染症

口 演

第2日 10月21日(木) ニューライフプラザ 2F 第1・2研修室

9:00 ~ 9:50

座長 渡辺 英宣 (大分県臼杵保健所)

- | | | |
|------|-------------------------------|-------------------------|
| 13-1 | 高知県結核対策実態調査(その1) - 菌検査結果 | 岩崎 昭子 (高知県安芸保健所) |
| 13-2 | 高知県結核対策実態調査(その2) - 接触者検診 | 岡田 耕輔 (高知県窪川保健所) |
| 13-3 | 在宅高齢者に対する結核接触者定期外検診の経験 | 田中 啓嗣 (埼玉県比企福祉保健総合センター) |
| 13-4 | 結核の接触者検診の実施状況とその関連要因 | 成田 友代 (練馬区保健所) |
| 13-5 | 結核診療に関するアンケート調査等より保健所の結核対策を探る | 榎本 理恵 (大阪府和泉保健所) |

9:50 ~ 10:40

座長 徳留 修身 (鹿児島県伊集院保健所)

- | | | |
|-------|------------------------------|-------------------|
| 13-6 | 結核患者管理システム再構築事業 | 藤本 準子 (広島県三原保健所) |
| 13-7 | 大阪市の結核の現状と今後の取り組み | 巽 陽一 (大阪府環境保健局) |
| 13-8 | 大阪市西成区あいりん地域における結核患者の実態(その3) | 西本 儀正 (大阪市中央保健所) |
| 13-9 | 外国人結核患者への保健所保健婦援助の課題 | 松井 朋美 (山梨県甲府保健所) |
| 13-10 | 中国帰国家族の検診を実施して | 田谷 奈津世 (東大阪市中保健所) |

10:40 ~ 11:30

座長 廣田 良夫 (大阪市立大学医学部公衆衛生学)

- | | | |
|-------|---------------------------|-------------------|
| 13-11 | 結核集団発生事例の報告 | 古川 智代 (福岡市早良保健所) |
| 13-12 | 特別養護老人ホームにおける結核同時多発事例から | 小林 美香 (長野県長野保健所) |
| 13-13 | 結核患者の治療成績と菌検査の現状と課題 | 村上 誠子 (神戸市保健所) |
| 13-14 | PZAの使用状況調査 | 山内 裕子 (宮崎県日南保健所) |
| 13-15 | 1998年に分離されたアデノウイルス7型の抗原変異 | 太箸 全孝 (名古屋市衛生研究所) |

11:30 ~ 12:20

座長 相澤 好治 (北里大学医学部衛生学公衆衛生学)

- | | | |
|-------|--------------------------------|---------------------|
| 13-16 | BCG 針痕数の相関解析(於長崎県) | 木下 博史 (長崎県西彼保健所) |
| 13-17 | 短期大学地域看護学専攻科における結核教育のあり方 | 工藤 節美 (聖マリア学院短大) |
| 13-18 | 短期大学地域看護学専攻科学生の結核に対する知識とその関連要因 | 増田 容子 (聖マリア学院短大) |
| 13-19 | 保健婦養成機関における結核教育の現状 | 國分 恵子 (福井県立大・看護短大) |
| 13-20 | 看護学生の麻疹・風疹・水痘・ムンプスの抗体保有率 | 片山 由加里 (京都府立医大・医技短) |

13:30 ~ 14:20

座長 北村 勝彦 (横浜市立大学医学部公衆衛生学)

- | | | |
|-------|---|---------------------|
| 13-21 | HIV医療における医師の専門カウンセラーとの連携に関する意識と依頼行動に関する研究 | 山中 京子 (東京都衛生局医療福祉部) |
| 13-22 | シミュレーションモデルを用いたHIV予防対策の効果予測 | 大重 賢治 (横浜市大・医・公衆衛生) |
| 13-23 | 横浜市内A病院におけるHIV感染症の動向 | 宇宿 秀三 (横浜市衛生研究所) |
| 13-24 | HIV抗体検査・相談の感染予防における意義 | 中瀬 克己 (岡山市保健所) |
| 13-25 | 高校生へのエイズ学習会を実施して | 反田 邦子 (広島県可部保健所) |

14:20 ~ 15:10

座長 津田 徹 (産業医科大学呼吸病態生理学)

- | | | |
|-------|--|--------------------|
| 13-26 | 新潟県の高齢者施設におけるインフルエンザワクチン接種の現状とその効果に関する検討 | 関 奈緒 (新潟大・医・公衆衛生) |
| 13-27 | 新潟県内高齢者施設におけるインフルエンザ流行とワクチン効果 | 斎藤 玲子 (新潟大・医・公衆衛生) |
| 13-28 | 高齢者施設入所者のインフルエンザワクチン予防接種は効果があるか? | 輪田 順一 (老人保健施設 陽光苑) |

13-29	インフルエンザウイルスと急性脳炎・脳症のかかりについて	永田 紀子 (茨城県衛生研究所)
13-30	インフルエンザ発生動向調査データの全国的レベルでの分析	中村 信也 (静岡県環境衛生科学研究所)

15:10 ~ 16:00 座長 日高 良雄 (宮崎県延岡保健所)

13-31	1998年11月に分離したA7連型インフルエンザウイルスの血清疫学的検討	尾西 一 (石川県保健環境センター)
13-32	就学時定期予防接種状況とポリオ抗体保有状況	藤田 万里子 (群馬県太田保健福祉事務所)
13-33	回虫感染の実態把握について	本田 靖 (筑波大・体育科学)
13-34	Beutin培地による腸管出血性大腸菌の簡易スクリーニング法について	倉本 早苗 (石川県石川中央保健所)
13-35	抗菌性スポンジにおける有効性について	坂口 武洋 (川村短大・生活)

16:00 ~ 16:50 座長 榎田 裕之 (九州大学大学院医学研究科衛生学)

13-36	腸管出血性大腸菌感染症集団発生時の保健婦の役割	大角 晴美 (岡山県倉敷保健所)
13-37	O-157保育園での集団発生の要因について	樫野 茂子 (岡山県倉敷保健所)
13-38	保育園児の赤痢集団発生と保健婦活動	峰村 純子 (東京都八王子保健所)
13-39	保育園におけるO-157集団感染事例	福原 智子 (福岡市博多保健所)
13-40	O-157集団発生への対応についての一考察	長友 美智子 (宮崎市保健所)

示 説

第3日 10月22日(金) ビーコンプラザ BF コンベンションホール

9:00 ~ 9:40 座長 高鳥毛 敏雄 (大阪大学大学院医学系研究科公衆衛生学)

P13-1	感染症発生動向調査の利用基盤に関する保健情報学的検討	陶山 昭彦 (鳥取大・医・衛生学)
P13-2	感染症発生動向調査に関する検討 第1報	村上 義孝 (大分看科大)
P13-3	感染症発生動向調査に関する検討 第2報	橋本 修二 (東京大院・医・看護学)
P13-4	1998/99年の大阪府下インフルエンザ流行状況	杉田 隆博 (大阪市立環境科学研究所)
P13-5	インフルエンザ脳症-大阪府における15年間の分析-	塩見 正司 (大阪府医師会勤務医部会)
P13-6	尿を材料とした風疹抗体測定の有用性について 第2報	大屋 日登美 (神奈川県立衛生短大)
P13-7	近代日本におけるハンセン病救済活動	T・W・Murphy (山梨医大・保健学Ⅱ)
P13-8	ハンセン病患者の強いられた状況	青木 美憲 (大阪大・医・公衆衛生)

9:40 ~ 10:30 座長 児玉 加代 (福岡県鞍手保健所)

P13-9	静岡県の食中毒・感染症の分子疫学的解析	宮本 秀樹 (静岡県環境衛生科学研究所)
P13-10	11都道府県の比較による感染性胃腸炎発生動向に関する一考察	小風 暁 (杏林大・医・公衆衛生)
P13-11	O-157感染者における便中菌陰性化に要する期間	高尾 総司 (岡山大・医・衛生)
P13-12	肝炎流行地区の予後の検討-24年間の肝疾患死亡の推移-	若山 葉子 (日本医大・衛生・公衆衛生)
P13-13	管内でのC型肝炎予防対策	加茂野 恭子 (石川県能登中部保健所)
P13-14	HCVキャリアに及ぼす常習飲酒の影響	趙 晶 (岐阜大・医・衛生学)
P13-15	埼玉県一般住民におけるクワトスホリジウム抗体調査	河橋 幸恵 (埼玉県衛生研究所)
P13-16	東南アジアにおける寄生虫感染の調査(4)	山本 良二 (兵庫医大・公衆衛生)
P13-17	兵庫県下のA河川におけるクワトスホリジウムオーストの定点検出状況	山本 昇五 (ひょうご環境創造協会)
P13-18	河川水におけるクワトスホリジウムオーストの検出状況	小野 一男 (兵庫県立衛生研究所)

10:30 ~ 11:15 座長 岩室 紳也 (神奈川県厚木保健福祉事務所)

P13-19	エイズ教育における当事者の役割	大石 敏寛 (せかんど・かみんぐあうと)
P13-20	エイズ検査についての意識調査	山根 都見子 (山口県長門健康福祉センター)
P13-21	高校生のエイズに対する意識調査	深谷 明子 (宇都宮市保健所)

P13-22	MSMへの効果的なAIDS情報の広報手段に関する一考察	橋 とも子 (品川区保健所)
P13-23	看護職によるPWA支援環境づくりの取り組み	久米 田鶴子 (大阪府立羽曳野病院)
P13-24	HIV感染者の経済的負担に関する調査	義永 直巳 (国立公衆衛生院)
P13-25	某保健福祉事務所におけるエイズ検査の利用状況(第2報)	岡田 充史 (神奈川県大和保健福祉事務所)
P13-26	男性同性愛者のHIV抗体検査行動	風間 孝 (動くゲイとレスビアンの会)
P13-27	国立感染症研究所における過去12年間のHIV分離検体の検討	海津 雅彦 (国立感染症研究所エイズ研究センター)

11:15 ~ 11:45

座長 松尾 則子 (大分県福祉保健部健康対策課)

P13-28	大阪市の特典区における結核高罹患率の背景とその対策の視点	高島毛 敏雄 (大阪大・医・公衆衛生)
P13-29	結核患者管理検診・定期外検診データベースの開発	菅野 剛 (宮城県立がんセンター)
P13-30	結核医療機関と保健所の連携による地域結核感染拡大防止対策について	辻村 比呂人 (秦野保健福祉事務所)
P13-31	結核新登録患者への初回面接実施時期の調査報告	高橋 洋子 (上板橋健康福祉センター)
P13-32	千葉「結核ダイヤル110番」の検討	白石 智佐子 (結核予防会千葉県支部)
P13-33	大阪市浪速区における評価検討会からの結核患者管理のあり方	撫井 賀代 (大阪市浪速保健所)

11:45 ~ 12:20

座長 水城 まさみ (大分医科大学保健管理センター)

P13-34	中高年結核患者と介護保険サービスとの関連性	柳沢 美智子 (名古屋市南保健所)
P13-35	結核院内感染に関する意識調査	柴川 ゆかり (豊田市保健所)
P13-36	ツベルクリン反応とBCG針痕数からみた郡部の結核予防対策	末松 裕子 (大分県宇佐高田保健所)
P13-37	中学校における結核集団発生	楠瀬 美枝 (高知市保健所)
P13-38	小児結核の動向—減少の特徴と対策上の留意点	大森 正子 (結核研究所)
P13-39	当院の未治療多剤耐性結核の検討	田村 嘉孝 (大阪府立羽曳野病院)
P13-40	薬剤耐性結核患者を発端とした集団感染対策事例と今後の課題	阿彦 忠之 (山形県村山保健所)

第14分科会 公衆栄養

口 演

第3日 10月22日(金) ビーコンプラザ 1F 中会議室

13:30 ~ 14:20

座長 安部 テル子 (大分大学教育福祉科学部)

14-1	生活習慣病に対する理解度と栄養摂取	岩崎 美子 (札幌市保健所)
14-2	日本における食生活変遷の背景の一考察	二瓶 美奈子 (山梨医大・保健学Ⅱ)
14-3	医学教育における公衆衛生学実習の教育効果	北窓 隆子 (香川医大・人間環境医学)
14-4	中年期の栄養摂取状況、生活習慣とストレスとの関連	吹野 洋子 (静岡県立大・食品栄養)
14-5	国立長寿医療研究センター・老化の長期縦断的疫学研究(NILS-LSA)での栄養調査	今井 具子 (国立長寿医療研究センター)

14:20 ~ 15:10

座長 安部 眞佐子 (大分県立看護科学大学生体科学)

14-6	加西保健所管内集団給食施設相互支援ネットワーク構築とその成果	藤本 しげる (兵庫県加西保健所)
14-7	発表中止	
14-8	大学生の生活実態と骨密度第1報	山本 恭子 (京都府田辺保健所)
14-9	大学生の生活実態と骨密度第2報	大原 直子 (京都府田辺保健所)
14-10	岡山県産の食品の ²²⁶ Raの含有量について	清水 光郎 (岡山県環境保健センター)

示 説

第3日 10月22日(金) ビーコンプラザ BF コンベンションホール

11:00 ~ 11:30

座長 石橋 幸子 (大分医科大学栄養管理室)

P14-1	糖尿病予防栄養教育評価の介入研究デザイン	渡辺 満利子 (昭和女子大・食物科学)
P14-2	外食における栄養成分表示に関する研究	角田 智玲 (鳥取県東部健康福祉センター)
P14-3	栄養素摂取量と生活習慣	平尾 智広 (香川医大・人間環境医学)
P14-4	"24時間思い出し法"のための料理別栄養素等成分値のデータベース構築に関する研究(第1報)	伊達 ちぐさ (大阪市立大・医・公衆衛生)
P14-5	料理摂取頻度調査票による栄養素摂取量推定の妥当性	若井 建志 (名古屋大・医・予防医学)
P14-6	半定量食物摂取頻度調査票(FFQW65)の妥当性と再現性の検討	山岡 和枝 (帝京大)

11:30 ~ 12:00

座長 吹野 洋子 (静岡県立大学食品栄養科学部)

P14-7	栄養士を対象とした食事調査による多価不飽和脂肪酸摂取量とその血漿中濃度との関係	栗木 清典 (名古屋市大・医・公衆衛生学)
P14-8	栄養摂取状況と血液中および尿中の生化学的測定値との関連性について	宮川 茂樹 (石川県保健環境センター)
P14-9	勤労者の喫煙習慣と食品摂取パターン	須山 靖男 (明治生命厚生事業団)
P14-10	出雲市健康文化都市プロジェクト(32)	乃木 章子 (島根県女短大)
P14-11	沖縄県北部地域に在住する青年者と高校生の食生活及び身体的自覚症状の比較	伊澤 正利 (服部栄養専門学校)
P14-12	女子学生のやせと摂食行動に関する検討	江崎 一子 (別府大短大部・食物栄養科)

第15分科会 食品衛生・薬事衛生

口 演

第3日 10月22日(金) ビーコンプラザ BF 小会議室 2・3

13:30 ~ 14:20 座長 濱田 稔 (宮崎医科大学衛生学)

15-1	米国の食品衛生管理と監視の現状	小野 正文 (岩手県盛岡保健所)
15-2	家庭用冷蔵庫の自動製氷装置で製造した氷に生息する細菌の増殖特性	熊田 薫 (つくば国際短大・生活科学)
15-3	ビタミンC飲料の連用が肌の諸症状に及ぼす影響(第2報)	三浦 しのぶ (カネホウフーズ)
15-4	原因食品別サルモネラ食中毒の発生に及ぼす気温及び湿度の影響	森 直代 (東大・医・公衆衛生)
15-5	生麺中のBacillus cereusとStaphylococcus aureusの毒素産生性に関する研究	上田 成子 (女子栄養大・衛生)

14:20 ~ 15:10 座長 大下 喜子 (西九州大学家政学部食物栄養学科)

15-6	細菌学的にみた飲食物の安全性について 第三報	川村 綾子 (江東区高齢者在宅サービスセンター)
15-7	うずらのサルモネラ汚染状況について	青木 美枝子 (愛知県岡崎保健所)
15-8	市販かつおだし等のウェルシュ菌汚染状況について	池田 嘉子 (福岡市保健環境研究所)
15-9	横浜市で分離されたSalmonella汚染	松本 裕子 (横浜市衛生研究所)
15-10	学校給食用食肉の腸管出血性大腸菌およびサルモネラ汚染状況	北瀬 照代 (大阪市環境科学研究所)

示 説

第2日 10月21日(木) ビーコンプラザ BF コンベンションホール

15:00 ~ 15:40 座長 井沢 堯 (大分県生活環境部生活衛生課)

P15-1	病院外調理給食施設におけるHACCP試行事業の評価	山岡 正人 (千葉県香取保健所)
P15-2	連続式自動釜により製造されたちりめんの細菌検査結果について	猪飼 薫 (愛知県半田保健所)
P15-3	薬物乱用防止に関する意識調査について	大島 渡 (愛知県一宮保健所)
P15-4	服薬情報の診断の信頼性への貢献	増成 直美 (放射線影響研究所 臨床研究部)
P15-5	ビタミンC飲料の連用が肌の諸症状に及ぼす影響(第1報)	島上 和則 (鐘紡(株)美容研究所)
P15-6	食物中のフッ素濃度について 第1報 穀類	小栗 重統 (岩手医大・医・衛生公衆衛生)
P15-7	学校給食における細菌性食中毒の疫学的研究	山部 秀子 (女子栄養大)
P15-8	細菌学的にみた飲食物の安全性について 第二報	辻 雅子 (日水コン)

15:40 ~ 16:15 座長 江崎 一子 (別府大学短期大学部食物栄養科)

P15-9	福岡県における腸炎ブドウ球菌食中毒の最近の動向について	中山 宏 (福岡県保健環境研究所)
P15-10	二枚貝におけるウイルス汚染	鈴木 博 (日本医大・老研)
P15-11	食中毒事件録からみた原因菌と原因食品等の関連性その4	堀端 薫 (女子栄養大・栄養・給食管理)
P15-12	ホリゾン製剤によって腸管出血性大腸菌O157のShiga-liketoxin(Stx)産生は異なる	平野 順子 (愛知女短大)
P15-13	A群レンサ球菌による食中毒事例について	飯田 明広 (茨城県水戸保健所)
P15-14	群馬県で分離されたO157の分子疫学的検討	黒澤 肇 (群馬県衛生環境研究所)
P15-15	医薬品の規制緩和に対する消費者の意識について	坂井 尚子 (共立薬大・社会薬学)

第16分科会 産業保健

口 演

第3日 10月22日(金) ニューライフプラザ 2F 視聴覚室

13:30 ~ 14:20 座長 深堀 勝 (昭和電工大分工場健康管理センター)

- | | | |
|------|--|----------------------|
| 16-1 | 某事業所における職場ストレスと心身の健康状態について | 伊藤 美季 (古河電工健康保険組合) |
| 16-2 | 気分プロフィールおよび抑うつに関する社会的要因、生活習慣ならびに職業性ストレスの検討 | 小田切 優子 (東京医大・衛生公衆衛生) |
| 16-3 | 交替制勤務者の生活リズムと健康(I) | 松浦 道夫 (桃山学院大) |
| 16-4 | 交替制勤務者の生活リズムと健康(II) | 新沼 正子 (中国電力水島発電所) |
| 16-5 | 交替制勤務者の生活リズムと健康(III) | 高橋 ひとみ (桃山学院大) |

14:20 ~ 15:10 座長 横山 和仁 (東京大学大学院医学系研究科公衆衛生学)

- | | | |
|-------|-------------------------------------|-----------------------|
| 16-6 | 1事業所に勤務する女子交代制勤務者の栄養摂取状況と食事回数 | 須藤 紀子 (国立公衆衛生院) |
| 16-7 | 健康管理におけるBody mass indexの管理基準についての検討 | 中西 範幸 (大阪大・医・公衆衛生) |
| 16-8 | 交代制勤務の心血管系機能に及ぼす影響 | 村田 勝敬 (帝京大・医・衛生公衆衛生) |
| 16-9 | 企業における海外派遣者の派遣前医療・健康管理研修 | 倉林 るみい (労働省産業医学総合研究所) |
| 16-10 | 従業員の生活習慣と消化器潰瘍への影響 | 大島 由美子 (松下健康管理センター) |

示 説

第3日 10月22日(金) ビーコンプラザ BF コンベンションホール

9:00 ~ 9:25 座長 原田 幸一 (熊本大学医学部衛生学)

- | | | |
|-------|---|----------------------|
| P16-1 | 健康増進施設と職域との連携によるアルコール健康教育への取り組み | 菅野 淑江 (仙台市健康増進センター) |
| P16-2 | 労働者のストレスと飲酒-年齢群による比較- | 中尾 久子 (山口大・医・公衆衛生) |
| P16-3 | 健康増進施設と職域との連携による禁煙指導への取り組み(第1報) | 斎藤 トシ子 (仙台市健康増進センター) |
| P16-4 | NIOSH職業性ストレス調査票の心理測定学的特性 | 原谷 隆史 (労働省産業医学総合研究所) |
| P16-5 | 肝障害と尿中 α_2 -Globulin(雄タウハク質)との関係(II) | 佐藤 厚 (高知女子大・生化学) |

9:25 ~ 9:45 座長 寶珠山 務 (産業医科大学環境疫学)

- | | | |
|--------|------------------------------------|---------------------|
| P16-6 | 5級小型船舶操縦士創設(船舶職員法改正)の経緯 | 高柳 泰世 (本郷眼科) |
| P16-7 | 理学療法士における組織文化を規定する要因についての分析 | 岩月 宏泰 (青森県立保健大) |
| P16-8 | 下肢挙上座位での作業における腰部への負担 | 藤村 昌彦 (広島大・医・公衆衛生) |
| P16-9 | 林業振動工具取扱者の聴力 | 田中 かづ子 (福島県医大・医・衛生) |
| P16-10 | エステ・スクール全身美容師の健康調査 | 碧井 猛 (千葉県茂原保健所) |
| P16-11 | 中年期公務員のストレス自覚および生活習慣と高血圧との関連に関する検討 | 堀 容子 (名古屋大・医・公衆衛生) |

10:15 ~ 10:20 座長 久永 明 (福岡県立大学人間社会学部)

- | | | |
|--------|--------------------------------------|----------------------|
| P16-12 | 職域における地域間人事異動に関する基礎的解析 | 階堂 武郎 (大阪府立看護大) |
| P16-13 | 農業従事者用疲労調査票の開発と検討(その2) | 会田 敬志 (農村生活総合研究センター) |
| P16-14 | 職域定期健診データの有効活用 | 一色 亜希子 (理化学研究所) |
| P16-15 | 同一企業内労働者の健康意識と健診結果の検討 | 中谷 利夫 (兵庫県予防医学協会) |
| P16-16 | 大阪府吹田保健所における小企業従事者の健康診断に対する意識調査(第2報) | 島本 太香子 (大阪府吹田保健所) |

10:20 ~ 10:45

座長 日隈 哲男 (大分産業保健推進センター)

- | | |
|---|----------------------|
| P16-17 企業従業員のライフスタイル・健康意識と医療支出について(第4報) | 小西 良子 (健保連大阪連合会) |
| P16-18 企業従業員のライフスタイル・健康意識と医療支出について(第5報) | 片岡 久実子 (健保連大阪連合会) |
| P16-19 大分県内の一運送業社における生活習慣調査の結果報告 | 江口 美和 (大分労働衛生管理センター) |
| P16-20 職域一般定期健診の有所見率上昇要因に関する調査 | 寶珠山 務 (産医大・環境疫学) |
| P16-21 中企業における海外派遣労働者の心身のストレスについて | 松田 理恵 (大阪大・医・保健) |

第17分科会 環境保健

口 演

第3日 10月22日(金) ニューライフプラザ 2F 第1・2研修室

9:00 ~ 9:50

座長 町田 和彦 (早稲田大学人間科学部)

- | | | |
|------|------------------------------------|---------------------|
| 17-1 | 化学物質過敏症(シックハウス症候群を含む)に関する相談の実態について | 村山 留美子 (国立公衆衛生院) |
| 17-2 | シックハウス症候群と自覚症状(不快な臭い)の有無 | 松下 裕子 (東邦大医療短大) |
| 17-3 | 住宅における揮発性有機化合物に関する実態調査(その2) | 熊谷 一清 (国立公衆衛生院) |
| 17-4 | ハップサンプリャーによる室内空気中のVOC測定 | 山口 貴史 (群馬県衛生環境研究所) |
| 17-5 | 大学新入生の住まいとVOCs濃度 | 浅川 富美雪 (倉敷芸科大・人間環境) |

9:50 ~ 10:40

座長 小泉 直子 (兵庫医科大学公衆衛生学)

- | | | |
|-------|---------------------------|-----------------------|
| 17-6 | 過去21年間のビル室内空気質 | 品川 泰徳 (東京都食品環境指導センター) |
| 17-7 | 家屋内ダニ類の誘引効果(1) | 吉川 翠 (東京都立衛生研究所医動物) |
| 17-8 | アレルギー不活化剤の効果 | 庭田 茂 (足立区足立保健所) |
| 17-9 | 家庭用空気清浄機の性能評価(続) | 入江 建久 (国立公衆衛生院) |
| 17-10 | ベリリウム投与マウスにおける脾細胞亜集団比率の変動 | 坂口 早苗 (川村学園女子大・教育) |

10:40 ~ 11:30

座長 安藤 正典 (国立医薬品食品衛生研究所)

- | | | |
|-------|----------------------------------|--------------------|
| 17-11 | 簡易給水施設の受水槽内における生物、微生物調査 | 佐々木 淳 (宮城県大崎保健所) |
| 17-12 | 中国農村地域における胃がん死亡率の異なる3地域の飲料水水質の比較 | 趙 文元 (大分医大・公衆衛生) |
| 17-13 | 水道水中有機汚染物質と原水との関係 | 町田 和彦 (早稲田大・人間科学) |
| 17-14 | トリハロメタン前駆物質の高度処理に関する基礎研究 | 川崎 直人 (近畿大・薬学) |
| 17-15 | 硝酸性窒素による地下水汚染調査 | 中島 二夫 (静岡県環境衛生科学研) |

11:30 ~ 12:20

座長 兜 真徳 (国立環境研究所)

- | | | |
|-------|---|----------------------|
| 17-16 | 茨城県内産野菜及び畑土壌中の人工放射性核種濃度について | 橋本 和子 (茨城県公害技術センター) |
| 17-17 | 県内1湖沼の各種試料中における ⁹⁰ Srの放射能 | 三宅 定明 (埼玉県衛生研究所) |
| 17-18 | ダイオキシン問題と保健婦活動 | 井上 春美 (大阪府池田保健所能勢支所) |
| 17-19 | 地表大気中 ⁷ Be濃度の変動 | 今村 博香 (鹿児島県環境センター) |
| 17-20 | 野外空気中の ⁶⁰ Coの増減におよぼす降雨、強風の影響 | 相川 勝弘 (神奈川県衛生研究所) |

13:30 ~ 14:20

座長 石井 勲 (第一工業大学)

- | | | |
|-------|--------------------------------------|--------------------|
| 17-21 | A火力発電所運転開始に伴う周辺地域住民の健康状況の推移(第一報) | 藤田 稔 (熊本県健康センター) |
| 17-22 | 米の元素濃度の炊飯過程による変化 | 千葉 百子 (順天堂大・医・衛生学) |
| 17-23 | フィルターに於ける小型合併処理浄化槽の塩素消毒に関する実態調査と啓発活動 | 立花 俊治 (兵庫県加西保健所) |
| 17-24 | 美容所における洗髪液の使用形態と細菌検出状況について | 伊藤 靖之 (名古屋市千種保健所) |
| 17-25 | ELISA法による陰イオン界面活性剤の高感度検出と定量 | 高橋 淳子 (食品薬品安全センター) |

示 説

第2日 10月21日(木) ビーコンプラザ BF コンベンションホール

9:00 ~ 9:40 座長 奥田 昌之 (山口大学医学部公衆衛生学)

P17-1	鳩への内分泌攪乱物質の影響(1)	関 比呂伸 (東京都衛研・環境衛生研)
P17-2	ヒトにおける精子数と遺伝的素因の関連	新家 利一 (徳島大・医・公衆衛生)
P17-3	フタル酸エステルの精巣障害に関する基礎的・予防医学的研究	石原 勝 (香川医大・人間環境医学)
P17-4	妊娠に及ぼすスレンの影響	二宮 ルリ子 (兵庫医大・公衆衛生)
P17-5	表面改質炭素材料によるビスフェノールAの除去	棚田 成紀 (近畿大・薬・公衛)
P17-6	活性炭およびキサン類による鉄イオンの除去	中村 武夫 (近畿大・薬・公衛)
P17-7	洗浄排水のエマルジョンの挙動 第2報	戴楽 正邦 (昭和女大短大・食物科学)
P17-8	アザリ中腸腺によるトリクロロエチレン及びテトラクロロエチレンのトリクロロ酢酸への代謝	後藤 政幸 (宇部短大・環境衛生)

9:40 ~ 10:25 座長 伊規須 英輝 (産業医科大学環境中毒学)

P17-9	住環境の向上に果たす保健所の役割について	西出 恵里 (石川県石川中央保健所)
P17-10	北陸の住宅環境の実態調査	北西 陽一 (石川県南加賀保健所)
P17-11	冬季の地下駐車場における空気環境の現状	佐藤 泰仁 (東京都立衛生研究所)
P17-12	医学部学生の解剖実習におけるホルムアルデヒド曝露による身体症状軽減のための試み	水城 まさみ (大分医大保健管理センター)
P17-13	大気中浮遊粒子状物質の粒径別濃度に関する一検討	須那 滋 (香川医大・人間環境医学)
P17-14	ディーゼル排気微粒子(DEP)がF344雄ラットの生殖器系に及ぼす影響について	鈴木 明 (国立環境研究所)
P17-15	バンコクの大気汚染の健康影響(1)	田村 憲治 (国立水俣病研)
P17-16	バンコクの大気汚染の健康影響(2)	苅田 香苗 (帝京大・医・衛生公衆衛生)
P17-17	カンボジア・プノンペン市の大気汚染	鹿島 勇治 (横浜市大・医・衛生学)

10:25 ~ 11:05 座長 櫻田 尚樹 (産業医科大学衛生学)

P17-18	航空機騒音曝露と幼児の感冒症状	渡久山 朝裕 (沖縄県立看護大)
P17-19	航空機騒音曝露と血圧・尿酸濃度の関連	松井 利仁 (旭川医大・衛生)
P17-20	航空機騒音曝露と低出生体重児出生率の関連	平松 幸三 (武庫川女子大)
P17-21	交通騒音の健康影響に関する研究	星山 佳治 (昭和大・医・公衆衛生)
P17-22	送電線周辺家屋内の超低周波電磁界レベルの測定結果について	新田 裕史 (国立環境研究所)
P17-23	食物にとりこまれた放射性核種の化学的存在状態について	山口 一郎 (国立公衆衛生院)
P17-24	住民の生活環境保全に関する意識を育てるための学習プログラムの開発(第1報)	小川 千寿子 (国立公衆衛生院・専門専攻)
P17-25	住民の生活環境保全に関する意識を育てるための学習プログラムの開発(第2報)	増岡 雅子 (国立公衆衛生院・専門専攻)

11:05 ~ 11:50 座長 松岡 雅人 (産業医科大学環境中毒学)

P17-26	学童の3週間にわたるピークフロー値の自己測定と血清IgE及びECP値に関する検討	安藤 道子 (千葉大・医・公衆衛生)
P17-27	中国本溪市における小児喘息調査	西村 雅晴 (獨協医大・医学情報)
P17-28	アレルギー性疾患が実験小動物の呼吸器に及ぼす影響 第7報	荒川 はつ子 (国立公衆衛生院)
P17-29	アンケート調査による臭気質の快・不快度固有値の特徴	高原 康光 (岐阜県畜試)
P17-30	犬の苦情件数の増加と地震の関連 第3報	嶋村 清志 (滋賀県健康対策課)
P17-31	保健所の環境保全行政への取り組みのあり方(市町村アンケートから)	藤原 靖 (徳島大・医・公衆衛生)
P17-32	廃棄物の不法投棄防止対策モデル事業について	佐藤 壯彦 (山梨県身延保健所)
P17-33	高校生、大学生のゴミ分別行動と環境教育の関連性	関 健介 (杏林大・保健)
P17-34	環境行動と性格傾向の関連性	藤野 法子 (杏林大・保健)

第18分科会 国際保健

口 演

第2日 10月21日(木) ニューライフプラザ 2F 視聴覚室

9:00 ~ 9:50

座長 竹本 泰一郎 (長崎大学医学部公衆衛生学)

18-1	モンゴルにおける健康政策の改革	アヌード・エルデムビレグ (島根医大・環境保健医学Ⅱ)
18-2	マラウイ共和国ムアンガ郡における性感染症対策の現状と問題点	木本 絹子 (大阪大院・医・公衆衛生)
18-3	タイ山岳民族授乳婦の信念や慣習が乳幼児の健康に与える影響	大森 絹子 (金沢大・医・保健)
18-4	パラグアイにおける看護スタッフへの妊産婦保健研修の取組み	大西 真由美 (ホスト大・修士・国際保健)
18-5	中国における保健医療領域の現状と課題	胡 飛躍 (国立国際医療センター研究所)

示 説

第2日 10月21日(木) ビーコンプラザ BF コンベンションホール

11:15 ~ 11:40

座長 溝上 哲也 (産業医科大学臨床疫学)

P18-1	中国における人口高齢化の動向と政策	高 同強 (島根医大・環境保健医学Ⅱ)
P18-2	都市化に伴う中国モンゴル民族地域住民の健康諸問題に関する研究(その3)	嘉 夫 (東京医歯大・医・公衆衛生)
P18-3	中国江西省における癌・循環器疾患罹患とライフスタイルに関する研究(第二報)	邱 冬梅 (国立公衆衛生院・疫学)
P18-4	中華人民共和国における高齢者の生活と健康に関する看護職の意識調査	藤田 啓子 (東邦大医療短大)
P18-5	中華人民共和国における看護職からみた高齢者への介護意識とその現状に関する調査	小林 恵理 (東邦大医療短大)

11:40 ~ 12:10

座長 杉田 聡 (大分医科大学医学部看護学科基礎看護学)

P18-6	中国天津の死亡状況	馮 彦茹 (埼玉医大・公衆衛生)
P18-7	途上国のMMR(妊産婦死亡率)	坂本 なほ子 (国立国際医療センター研究所)
P18-8	パキスタン・カラチ地区におけるHIV意識調査について	西尾 治 (国立公衆衛生院・衛生微生物)
P18-9	滞日日系ブラジル人の健康と健康習慣	朝倉 隆司 (東京学芸大・保健学)
P18-10	健康都市プロジェクトのプロセス評価	中村 桂子 (東京医歯大・医・公衆衛生)
P18-11	在日外国人の医療問題に関する医学生の意識	長松 康子 (順天堂大・医・公衆衛生)